

平成4年度

# 教授要目

小樽商科大学



平成4年度 1992/1993 CALENDER

4月	日	月	火	水	木	金	土	10月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	⑩
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	⑲	30				25	26	27	28	29	30	31
5月	日	月	火	水	木	金	土	11月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2		1	2	③	4	5	6	7
	③	④	⑤	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	⑳	24	25	26	27	28
	<del>24</del> 31	25	26	27	28	29	30		29	30					
6月	日	月	火	水	木	金	土	12月	日	月	火	水	木	金	土
											1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12	13		6	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19	20		13	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26	27		20	21	22	⑳	24	25	26
	28	29	30						27	28	29	30	31		
7月	日	月	火	水	木	金	土	1月(5年)	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4							①	2
	5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	⑮	16
	19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30	31			<del>24</del> 31	25	26	27	28	29	30
8月	日	月	火	水	木	金	土	2月(5年)	日	月	火	水	木	金	土
							1				1	2	3	4	5
	2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	⑪	12	13
	9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27
	<del>23</del> 30	<del>24</del> 31	25	26	27	28	29		28						
9月	日	月	火	水	木	金	土	3月(5年)	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5				1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12		7	8	9	10	11	12	13
	13	14	⑮	16	17	18	19		14	15	16	17	18	19	⑳
	20	21	22	⑳	24	25	26		21	22	23	24	25	26	27
	27	28	29	30					28	29	30	31			

太数字は休業日、○印は祝日及び休日

平成4年度 行事予定

	期日・期間	内容
前	4月9日(木)	入学式
	4月10日(金)～4月11日(土)	新入生オリエンテーション
	4月13日(月)	授業開始及び成績票交付
	4月27日(月)	履修届締切日
	5月中旬	定期健康診断
	5月25日(月)～5月29日(金)	履修確認期間
	6月8日(月)～6月9日(火)	} 半期制科目中間試験期間
	6月11日(木)～6月12日(金)	
	7月7日(火)	創立記念日
	7月15日(水)～7月24日(金)	履修科目取消期間(通年及び前期開講科目)
7月22日(水)～7月28日(火)	夏季集中講義	
7月22日(水)～8月31日(月)	夏季休業	
9月12日(土)	前期授業終了	
9月14日(月)	臨時休業	
9月16日(水)～9月30日(水)	前期定期試験	
後	10月1日(木)	後期授業開始
	11月5日(木)	研究指導オリエンテーション
	11月9日(月)～11月30日(月)	研究指導募集選考期間
	11月26日(木)～11月27日(金)	} 半期制科目中間試験期間
	11月30日(月)～12月1日(火)	
	12月2日(水)	研究指導内定者発表
	12月9日(水)～12月18日(金)	履修科目取消期間(後期開講科目)
	12月16日(水)～12月22日(火)	冬季集中講義
	12月16日(水)～1月10日(日)	冬季休業
	1月25日(月)	学科・課程所属オリエンテーション
	1月26日(火)～1月29日(金)	学科・課程所属指導期間
	1月29日(金)	卒業論文提出締切日
	2月1日(月)～2月5日(金)	学科・課程所属募集期間
	2月13日(土)	後期授業終了
	2月15日(月)～3月2日(火)	後期定期試験
3月12日(金)	卒業判定会議(予定)	
3月19日(金)	卒業式	



目次

I	平成4年度開講科目	1
II	卒業に必要な単位一覧表	5
III	科目履修と単位修得	7
1	一般教育科目の履修方法	7
2	外国語科目の履修方法	7
3	保健体育科目の履修方法	15
4	基礎教育科目の履修方法	15
5	専門教育科目の履修方法	15
6	教職科目の履修方法	15
7	単位の互換制度	20
8	平成3年度以前入学者の履修上の注意事項	21
9	進級に必要な単位	22
IV	科目試験受験に際しての注意事項	24
V	卒業論文執筆要領	25
VI	平成4年度開講科目(昼間コース)の講義要目	29
VII	平成4年度開講科目(夜間主コース)の講義要目	147
VIII	平成4年度ゼミ教室配置図	161

昼間コース

I 平成4年度開講科目

〔一般教育科目等〕

区分	授業科目	単位数	必修科目		配当年次	実施期間	担当教官	備考	
			平成4年度以前入学者	平成3年度以前入学者					
一般教育科目	哲学	4			I	通年	渡辺	31	
	倫理学	4			II	通年	渡辺	31	
	心理学	4			I	通年	和田	31	
	歴史学	4			I	通年	荻野	32 A・B2クラス	
	日本文学	4			I	通年	村山	32 A・B2クラス	
	外国文学							非開講	
	英文学							非開講	
	ドイツ文学	4			II	通年	中川	33	
	フランス文学							非開講	
	中国文学							非開講	
	ロシア文学							非開講	
	社会科学系	社会学	4			I	通年	宝福	33
	社会思想史	4			I	通年	倉田	33 A・B2クラス	
	教育学							非開講	
政治学	4			I	通年	坪井	34		
*社会科学特別講義I	2			I・II	冬季集中	桑原	34		
*社会科学特別講義II							非開講		
自然科学系	物理学	4			I	通年	原田	35	
化学	4			I	通年	片岡	35 A・B2クラス		
生物学	4			I	通年	金沢	36 A・B2クラス		
自然科学概論							非開講		
外国語科目	英語I(講読A)	2	○	◎	I	通年	P.9別表参照	37	
	英語I(講読B)	2	○	◎	I	通年			
	(会話・作文)	2	○	◎	I	通年			
	英語II(講読)	2	○	◎	II	通年	P.9別表参照	44	
	(講読)	2	○	◎	II	通年			
	英語III	2	○	◎	III	通年	P.9別表参照	48	
	英語以外の外国語	ドイツ語	2	○	○	I	通年	ドイツ語 P.11別表参照 フランス語 P.13別表参照 中国語 木之内・裴・陳 スペイン語 山田 ロシア語 匹田	51
		フランス語	2	○	○	I	通年		
		中国語	2	○	○	II	通年		
		スペイン語	2	○	○	II	通年		
ロシア語	2	○	○	III	通年		60		
保健体育科目	保健体育理論	2	◎		I	前期	浅沼・花輪・中川	61 A・B2クラス	
	体育講義	2		◎	II	後期	浅沼・花輪・中川	62 A・B2クラス	
	体育実技	2	◎	◎	I	通年	藤江・田野・花輪・中川	63 前期・後期のいずれかを履修	
				II	前・後	杉山・中島・山本・大沼			
基礎科目	経済学概論	4	○	○	I	通年	A船津 B今・栗田	66 経済学科 所属者必修	
	商学概論	4	○	○	I	通年	A片桐・篠崎・渡辺 B中・小田・高宮城	68 商学 所属者必修 商業学科(商学コース)	
	法学概論	4	○	○	I	通年	猪股・神田	71 企業法学科 所属者必修 商業学科(経営法学コース) 商業教員養成課程	
	*社会情報学概論	4	○	○	I	通年	A杉本・中村・沼田 B中村・杉本・沼田	72 社会情報学科 所属者必修 管理科学科	
	数学	4	○	○	I	通年	兼岩・池田	73 4クラス	

(注) 1. 授業科目名の前に\*印が付いている科目を修得した場合、入学年度によって科目名を読み替えることになるので、21頁の注意事項を参照すること。  
2. 必修科目欄の◎は必修科目、○は選択必修科目を示す。  
3. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。



〔専門教育科目〕

Table with columns: 区分 (Division), 授業科目 (Course), 単位数 (Credits), 所属別選択必修科目 (Departmental elective/required courses), 当次配年 (Current year/level), 実施期間 (Duration), 担当教官 (Instructor), 備考 (Remarks). Rows include Economics (経済学) and Business (商業学) subjects.

Table for Business Courses (〔商学コース〕科目). Columns: 区分, 授業科目, 単位数, 所属別選択必修科目, 当次配年, 実施期間, 担当教官, 備考. Rows include Accounting (簿記), Law (法), and Management (経営) subjects.

Table for Business Law Courses (商業学(経営法学コース)科目). Columns: 区分, 授業科目, 単位数, 所属別選択必修科目, 当次配年, 実施期間, 担当教官, 備考. Rows include Law (法) subjects.

Table for Management Science Courses (管理科学科目). Columns: 区分, 授業科目, 単位数, 所属別選択必修科目, 当次配年, 実施期間, 担当教官, 備考. Rows include Management Science (経営学) subjects.

(注) 1. 授業科目の前に\*印が付いている科目を修得した場合、入学年度によって科目名を読み替えることとなるので、21頁の注意事項を参照すること。
2. 所属別選択必修科目欄の○は所属学選択必修科目、△は他学選択必修科目。
3. Eは経済学、Cは商業学、Sは経営学、Mは管理科学、Kは商業教員養成課程を示す。



夜間主コース

〔一般教育科目等〕

区分	授業科目	単位数	必修科目	配当年次	実期 施間	担当教官	備考	
一般教育科目	人文学系	哲学	4		I 通年	渡辺(祐)	149	
	心理学	4		I 通年	渡辺(誠)	149		
	歴史学						非開講	
	日本文学						非開講	
	外国文学系	英文学						非開講
		ドイツ文学	4		I 通年	中川	149	
		フランス文学						非開講
		中国文学						非開講
	社会科学系	ロシア文学						非開講
		社会学						非開講
		社会思想史	4		I 通年	倉田	149	
		教育学						非開講
	自然科学系	政治学						非開講
		物理学						非開講
化学							非開講	
生物学		4		I 通年	金沢	150		
外国語科目	英語 I	(I-A)	2	◎	I 通年	P.10別表参照	151	
		(I-B)	2	◎	I 通年			
	英語 II (講読) (会話・作文)		2	◎	II		非開講	
			2		II			
	英語以外の外国語	ドイツ語 I	4	○	I 通年	鈴木・大塚	152	
		フランス語 I	4	○	I 通年	尾形	152	
中国語 I		4	○	I 通年	木之内	152		
保健体育科目	保健体育理論	2	◎	I 前期	浅沼・田野	154		
	体育実技 (2)	◎	I 通年 (II) (前・後)	花輪・中川	155	(前期・後期いずれかを履修)		
基礎科目	経済学概論	4	○	I 通年	篠塚・中村	157	経済学科 所属者必修	
	商学概論	4	○	I 通年	片桐・高橋・渡辺	158	商学科 所属者必修	
	法学概論	4	○	I 通年	渡辺・和田	158	企業法学科 所属者必修	
	社会情報学概論	4	○	I 通年	沼田・加藤・山本	159	社会情報学科 所属者必修	
	数学	4	○	I 通年	池田	160		

- (注) 1. 必修科目欄の◎は必修科目, ○は選択必修科目を示す。  
 2. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。  
 3. 体育実技は2年継続授業のため, 平成5年度に前期・後期のいずれかを履修した分を併せて2単位を与える。



共通科目

〔教職科目〕

区分	授業科目	単位数	商業教員養成課程 所属者必修科目		配当 年次	実施 期間	担当教官	備考
			平成4年度 入学者	平成3年度 以前入学者				
教職に関する科目	*教育基礎論 I	4	◎	◎	II	通年	上野	116
	*教育基礎論 II A		◎	◎				非開講
	*教育基礎論 II B		◎	◎				非開講
	*教職演習	2	◎	○	III	後期	土屋	116
	商業科教育法	2	◎	◎	III・IV	前期	横川	116
	英語科教育法	4			III・IV	通年	高井	117
	道徳教育の研究	2			III・IV	後期	広川	117
	*教育実践論 I	2	◎	○	III	前期	土屋	118
	教育実践論 II	2	◎	○	III	後期	土屋	118
	教育実習	3	◎	◎	III・IV		E: 佐竹 C: 福島、李 L: 渡辺 M: 山本 K: 上野、土屋 英語: 君羅	
教科に関する科目	職業指導	4	◎	◎	III	通年	松田	118
	言語学概論							非開講
	英語学概論	4			II~IV	通年	下村・津曲	119
	*英語学 I							非開講
	*英語学 II	4			II~IV	通年	山本	119
	英語学 III							非開講
	英文学史							非開講
	英文学概論	4			II~IV	通年	永原・菊池	120
	*英文学 I							非開講
	*英文学 II	4			II~IV	通年	君羅	120
英文学 III	4			II~IV	通年	杉村	120	
英会話・英作文	4			II~IV	通年	Carr	120	
英語コミュニケーション							非開講	
比較文化							非開講	
研究指導	12			III・IV	2年 継続	永原・君羅 杉村・山本	143 144	

- (注) 1. 授業科目名の前に\*印が付いている科目を修得した場合、入学年度によって科目名を読み替えることになるので、21頁の注意事項を参照すること。  
2. 商業教員養成課程所属者必修科目欄の◎は必修科目、○は選択必修科目。  
3. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。

昼間コース

II 卒業に必要な単位一覧表

〔一般教育科目等〕

区分	平成4年度入学者		平成3年度以前入学者	
	単位数	備考	単位数	備考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上	4以上 1科目以上	
	社会科学系	4以上 1科目以上	4以上 1科目以上	
	自然科学系	4以上 1科目以上	4以上 1科目以上	
	計	24 6科目以上	24 6科目以上	
外国語科目	20	6科目中から2科目選択 各々I全クラス(6単位)、 IIのうち1クラス(2単位) は必修	18	英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目) のうちいずれか1科目 選択必修
保健体育科目	4	理論・実技共必修	4	講義・実技共必修
基礎教育科目	12	*必修科目を含め3科目 以上	12	*必修科目を含め3科目 以上
合計	60		58	

(注) 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。  
3. \*印を記してある必修科目については、平成4年度開講科目表の備考欄を参照すること。

〔専門教育科目等〕

所属	経済学科、商業学科(商学コース・経営法学コース)、管理学科		商業教員養成課程			
	単位数	備考	平成2年度以降入学者		平成元年度以前入学者	
区分	単位数	備考	単位数	備考	単位数	備考
所属学科(コース)・課程科目	40	所属学科(コース) *選択必修4科目	41	*選択必修6科目 (24単位)		
他学科(コース)科目	24				44	*選択必修6科目 (24単位)
教職科目			23	*必修8科目	20	*必修6科目
研究指導	12	原則として所属学科(コース)から履修 履修しない者は所属学科(コース)科目 12単位を充足履修	12	教職以外の研究指導 全て履修可能 履修しない者は専 門教育科目12単位 を充足履修	12	他学科(コース)履修 履修しない者は他 学科(コース)科目 12単位を充足履修
合計	76		76		76	

(注) 1. 平成3年度以前入学の商業教員養成課程以外に所属する学生は、他学科(コース)選択必修科目から2科目(管理科学科の場合は1科目)の修得を要する。  
2. 平成4年度入学生の教職科目は単位数の変更はないが、必修科目数は9科目になる。  
3. 教科に関する科目(英語科)の研究指導の履修は、平成3年度以前入学者のうち商業教員養成課程に所属する学生で英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限る。  
4. \*印を記してある必修、選択必修科目については、平成4年度開講科目表の所属別選択必修科目欄を参照すること。



## 夜間主コース

### 〔一般教育科目等〕

区 分	単位数	備 考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	24 1科目以上
外国語科目	12	英語（Ⅰ・Ⅱ）必修 英語以外の外国語（3科目）のうち いずれか1科目選択必修
保健体育科目	4	理論・実技共必修
基礎教育科目	12	*必修科目を含め3科目以上
合 計	52	

(注) 1. 一般教育科目（人文科学系）のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。  
2. \*印を記してある必修科目については、平成4年度開講科目表の備考欄を参照すること。

### 〔専門教育科目〕

区 分	単位数	備 考
所属学科科目	32	
他学科科目	40	
研究指導	4	所属学科から履修 履修しない者は所属学科科目4単位を 充足履修
合 計	76	

(注) 社会情報学科以外の学生で研究指導を4単位を超えて修得した場合、超えた単位については所属学科専門教育科目の単位に算入する。

## Ⅲ 科目履修と単位修得

本学の全課程を修了するためには、4年間以上在学し、次の事項に示された科目を履修し、単位を修得することによって全課程修了が認定され、卒業資格が与えられます。

卒業所要単位数は昼間コースが136単位（平成3年度以前入学生は134単位）、また、夜間主コースは128単位となっており、その履修方法については授業科目区分、学科毎に定められていますが、各入学年度及び各自が所属している学科（コース）・課程によって異なりますので十分注意を要します。

本学の教育課程は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、基礎教育科目、専門教育科目及び教職科目の区分で構成されていますので、それぞれの履修方法に従って履修計画を立ててください。

### 1. 一般教育科目の履修方法

一般教育科目は、人文、社会、自然科学の三分野に分かれており、これらの科目はそれぞれの配当基準年次に沿って履修すればよいことになっている。

また、当該年次に修得しておかないと、翌年以降に履修を希望しても、専門教育科目と時間が重なったりして履修のできない場合が起こるので、配当年次どおり履修することが望ましい。

卒業要件は各分野から最低1科目4単位を含め合計24単位を修得しなければならない。

### 2. 外国語科目の履修方法

#### 【昼間コース】

外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語及びロシア語の6か国語が開設されている。

外国語の授業は毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする（学則第14条の2参照）。

外国語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）は各外国語ともそれぞれ1年次に毎週6時間6単位、2年次に毎週4時間4単位、3年次に毎週2時間2単位、合計12単位が開設される。そのうちから2外国語20単位を選択必修とする。1年次に上記6外国語のうちから2か国語を選びそれぞれ6単位ずつ12単位を履修し、2、3年次にすでに修得した外国語の中から8単位を選択履修することとする。配当年次及び履修方法は次のとおりである。

配当年次	外国語①	外国語②	履修方法
Ⅰ	6	6	1年次に2外国語各6単位計12単位必修 2年次に2外国語各2単位計4単位必修
Ⅱ	4	4	
Ⅲ	2	2	
計	12	12	20単位必修



ただし、いずれの外国語とも、Ⅲの2単位を履修するためにはⅡから2単位以上を履修しなければならないものとする。したがって、1, 2年次の2外国語について10単位ずつ、計20単位を修得するか、あるいは1外国語につき12単位、他の外国語を8単位、計20単位を修得するかのいずれかになる。

なお、英語以外の5外国語は同一年次配当のクラスを同じ時間帯に開設しているため、同一年度において同一配当年次の2つの外国語を履修することはできない。

また、平成3年度以前入学生の履修方法は従前どおりとする。

【夜間主コース】

外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語及び中国語の4か国語が開設されている。

外国語の授業は毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする（学則第14条の2参照）。

英語（Ⅰ・Ⅱ）はⅠ・Ⅱとも毎週4時間4単位、合計8単位が必修である。

英語以外の外国語（Ⅰ）はいずれか1か国語を選択必修とし、毎週4時間4単位を修得しなければならない。

★ 英語

【昼間コース】

- 平成4年度の英語のクラス配置は別表のとおりである。
- 別表のうちEで始まる3桁の数字と記号は英語のクラス別を表す。3桁目の1, 2, 3は履修基準年次で、それぞれ1年次、2年次及び3年次配当のクラスであることを示す。英語Ⅰに関しては、残りの2桁と記号でクラスを表す。英語Ⅱ及びⅢに関しては2桁目は教科の種別を示し、0.1は文学作品の講読、2, 3は評論、伝記、語学書等の文学作品以外の講読であることを示す。
- 英語Ⅰは別表の講読Aより2単位、講読Bより2単位、英会話・作文より2単位、合計6単位を必修とし、所定のクラス・時間帯で履修すること。
- 英語Ⅱ・Ⅲに配当されているクラスを選択履修すること。ただし、英語Ⅲを履修する学生は英語Ⅱのうちから1クラス2単位以上を履修しなければならない。

なお、同一年次配当の同一教官のクラスを2つ履修することはできない。

別表

平成4年度英語クラス

昼間コース		
英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ
講読A E101A 津曲 E102A 大島 E103A 永原 E104A 杉村 E105A 片山 E106A 下村 E107A 津曲 E108A 杉村 E109A 高井 E110A 大島 E111A 片山	文学作品 講 E201 {前:菊池 後:永原 E202 豊国 E203 君羅 E204 杉村 E205 西村 E206 横尾 E207 三浦 E208 三浦	E301 永原 E302 豊国 E303 杉村 E304 {前:伊藤(義) 後:布施 E305 宮町
講読B E101B 豊国 E102B 君羅 E103B 山本(久) E104B 上野(之) E105B 佐藤(幸) E106B 豊国 E107B 横尾 E108B 西村 E109B 宮町 E110B 上野(之) E111B 佐藤(幸)	評論・伝記・語学書等 講 E221 菊池 E222 下村 E223 {前:津曲 後:下村 E224 津曲 E225 山本(久) E226 浪田 E227 根本 E228 根本 E229 下宮 E230 下宮 E231 鈴木(良) E232 鈴木(良) E233 坪谷 E234 坪谷	E321 菊池 E322 下村 E323 山本(久) E324 津曲 E325 Carr E326 浪田
英会話・作文 E141C Carr E142C Carr E143C Carr E144C Carr E145C Carr E146C Toskar E147C Toskar E148C Toskar E149C Grose E150C Grose E151C Grose E152C MacGregor E153C MacGregor E154C MacGregor E155C Becraft E156C Becraft E157C Becraft		
文法 E161 下村		

片山  
上野  
片山  
上野  
佐藤  
横尾  
西村  
宮町  
トスカ  
クロス  
マクグ  
セーグ  
三浦  
浪田  
根本  
下宮  
鈴木  
坪谷  
前)伊藤  
後)布施



【英語共通試験実施要領】

英語 I 講読 A クラスの履修と単位認定について

- (1) 英語 I は講読 A, B からそれぞれ 1 クラス 2 単位, 英会話・作文から 1 クラス 2 単位, 合計 6 単位を必修とする。
- (2) 英語 I 講読 A クラスの履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行う。
- (3) 英語共通試験は前期及び後期の各定期試験期間中に行う。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。
- (4) 講読 A の各クラスの単位は, クラスでの成績と共通試験の成績とにより, 英語クラス担当教官が認定する。
- (5) 課外テキスト  
海江田進・中村駿夫共著『詳解英文法』昇龍堂出版
- (6) 平成 3 年度以前入学生のうち, 英語 I の単位未修得者の履修方法は平成 4 年度生の履修方法に準ずる。なお, 英語 I の単位未修得者は, 講読 A のクラスにかえて E161 を選択することができる。ただし, 講読 A のクラスを選択する場合は, 必ず共通試験を受験しなければならない。

【夜間主コース】

平成 4 年度の英語クラス配置は別表のとおりである。

- (1) 別表のうち, E で始まる 2 桁の数字と記号は英語のクラス別をあらわす。
- (2) 英語 I は講読 4 単位, 英語 II は講読 2 単位, 英会話・作文 2 単位, 合計 8 単位が必修である。

別表 平成 4 年度英語クラス

夜間主コース	
英語 I	英語 II
E11A 西村 E12A { 前:伊藤(義) 後:布施	(平成 4 年度は 開設しない)
E11B 宮町 E12B 坪谷	

★ ドイツ語

【昼間コース】 ※夜間主コースは後掲

1. クラス編成と授業担当者

	ドイツ語 I	ドイツ語 II
火	A スリベンスキー	A スリベンスキー
	B 大塚	B 大塚
	C 鈴木	C 中川
	D 瀬尾	D 瀬尾
	E 加納	E 加納
水	1 (前)中川・(後)未定	
	2 大塚	
	3 鈴木	
木	A 鈴木 木	A 大塚
	B 吉岡	B 吉岡
	C 神竹	C 神竹
	D 大塚	D (前)神・(後)未定
	E (前)神・(後)未定	E 鈴木 木

2. クラス説明

(1) ドイツ語 I

- (a) ドイツ語 I の履修者は, I A ~ I E (火・木曜) 並びに I 1 ~ I 3 (水曜) のクラスに同時に所属する。
- (b) I A は, 木曜日には日本人教師による文法の授業 (火曜日のドイツ人の講師による授業をある程度踏まえる) を, 火曜日にはドイツ人講師による会話主導の授業を行う。
- (c) I B・C・D・E は, 文法主体の授業を行う。
- (d) I 1・2・3 は易しい講読 (主として文法知識の応用的訓練) を行う。

(2) ドイツ語 II

- (a) II A は, 木曜日には日本人教師による文法主導の授業 (内容は前年度の続き) を, 火曜日にはドイツ人講師による会話 (木曜日の日本人教師による授業に基づく) を行う。
- (b) II B・C・D・E は, 火曜, 木曜とも講読を行う (ただし応用的訓練を主とすることもある)。いずれも日本人教師が担当する。

3. 履修方法

- (1) 各履修者は, A ~ E のクラスの授業に週 2 回, 加えて I は 1 ~ 3 の授業に週 1 回出席しなければならない (一人が二つのクラスに所属していた 6 年前までの方式は行わないので, 61 年度以前入学者は注意すること)。



- (2) ドイツ語 I・IIとも、Aクラスには希望者のみ所属でき、それ以外のクラスは所属指定である。なお、クラスの所属は4.による
- (3) IA・IIAとも履修者数を教室の都合上30名までとする。これを越えた場合には抽選によって履修者を決定する。なお、どちらも特別の申込届を必要とする。これについては授業で説明する。
- (4) IIAの履修は、原則としてすでにIAを修得済の者に限られる。ただし、ドイツ語Iで優の成績を収めた者については、クラスの人数に余裕がある場合のみ例外として履修を許可する。
- (5) IA・IIAの同時履修は許されない。その他のクラスについてもI・IIの同時履修は出来るだけ避けること。それが止むを得ぬ場合にも、Iが不合格であればIIも不合格となるので厳に注意すること。

#### 4. クラス所属

学生番号に従って下表のようなクラス配属となる。この要領は全学年共通である。

	ドイツ語 I (平成4年度入学生)	ドイツ語 I (平成3年度以前入学生) ドイツ語 II
A クラス	希望者	希望者
B クラス	1番~126番	1番~106番
C クラス	127番~252番	107番~212番
D クラス	253番~378番	213番~318番
E クラス	379番~最終番	319番~最終番
1 クラス	1番~168番	
2 クラス	169番~336番	
3 クラス	337番~最終番	

#### 5. 注意事項

- 授業出席を重視する。各学期 $\frac{1}{3}$ 以上欠席したものには、原則として各定期試験の受験資格を与えない。
- ドイツ語Iのオリエンテーションを4月14日(火)9時30分より210番教室において行うので、ドイツ語I履修希望者は必ず出席すること。
- 辞書の紹介は、オリエンテーションで行う。
- 所属クラスの教科書は、最初の授業までに本学生協で必ず購入しておくこと。すぐに品切れになることが多いので早目に購入すること。
- ドイツ語およびドイツ語の授業に関する質問や要望があれば、遠慮なく本学専任のド

イツ語教官の研究室を訪ねること。

### ★ フランス語

【昼間コース】 ※夜間主コースは後掲  
フランス語の授業は下記のクラス編成で行われる。

	フランス語 I			フランス語 II		
火	A	梶	野	A	梶	野
	B	江	口	B	高	橋
	C	尾	形	C	江	口
	D	高	橋			
水	1	尾	形			
	2	高	橋			
	3	江	口			
木	A	江	口	A	高	橋
	B	尾	形	B	江	口
	C	高	橋	C	デュボワ	
	D	デュボワ				

#### 注意

- フランス語IIのクラス編成は前年度履修したフランス語Iに同じ。
- IDは会話を中心とした少人数編成(定員25名前後)のクラスで、自由選択制であるが、授業内容はハードであるから、よく考えて選ぶこと。希望者多数の場合は抽選で決定する。  
IDを選択しなかった1年生を3クラスに分けIA, IB, ICを編成する。学生番号順が原則であるが、詳しくは、後日指定する日時に行うオリエンテーションで指示するので必ず出席すること。
- I1, I2, I3は1年生全員を学生番号順に3クラスに分ける。
- 再履修者は過去履修したものと同一のクラスに所属することを原則とする。  
ただし、IDへの再履修は認めない。



★ 中国語

【昼間コース】 ※夜間主コースは後掲

授業担当者

	中国語 I		中国語 II	
火	A	木之内	A	木之内
	B	裴	B	裴
水	A	木之内		
	B	裴		
木	A	裴	A	裴
	B	陳	B	陳

注意

- (1) 中国語 II のクラス編成は前年度履修した中国語 I に同じ。
- (2) 中国語 I A・I B は、学生番号順によるクラス分けを行う。所属クラスは追って指示する。
- (3) 中国語 I を昨年度までに修得していない学生が再履修する場合は火曜日と水曜日で履修することになるが、所属クラスについては授業開始時に別に指示する。
- (4) 一年次生は、4月最初の授業に必ず出席して、必要な指示を受けること。

★ ドイツ語

★ フランス語

★ 中国語

【夜間主コース】

授業担当者

	ドイツ語	フランス語	中国語
火	鈴木	尾形	木之内
木	大塚	尾形	木之内

3. 保健体育科目の履修方法

保健体育科目の実技2単位については、1年次毎週2時間(2単位の $\frac{2}{3}$ )、2年次前期または後期に毎週2時間(2単位の $\frac{1}{3}$ )の計2単位、理論については、1年次前期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。

4. 基礎教育科目の履修方法

基礎教育科目は、専門の基礎を与えることを目標として開設しているが、専門教育の単なる前段的なものではなく、広義の基礎を与えるとともに、一般教育の充実と統合を図るねらいをもって開設されている。

このため、学科で必修と指定した科目以外の履修も重要である。

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は各学科・課程で指定した選択必修科目(商業教員養成課程は教職科目の必修を含め)のほか研究指導を含め、合計76単位を修得しなければならない。

昼間コースの研究指導は、毎週3時間、3年次から2か年継続授業で12単位(卒業論文を含む)であり、商業教員養成課程以外の学生は、原則として所属する学科の研究指導を履修するものとする。なお、平成3年度以前入学者で英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する科目(英語科)の研究指導を履修することができる(詳細については別表(II)を参照のこと)。

夜間主コースの研究指導は、3年次(I)、4年次(II)、卒業論文の各々4単位で構成されているが、社会情報学科については(II)のみの開設となっている。

履修方法については、各学科によって異なるので学則別表を参照のこと。

研究指導を履修しない学生(いわゆるノンゼミと称する学生)は卒業所要単位に算入される研究指導分の単位をそれぞれ所属する学科・課程の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

6. 教職科目の履修方法

教職科目は、教員免許状取得のために開設されており、商業教員養成課程に所属する学生は「教職に関する科目」<sup>(注)</sup>23単位が卒業所要単位に算入され、他に指定された専門教育科目を併せて修得することにより、高等学校教諭1種免許状(商業)の取得資格が与えられる。

(注)平成元年度以前入学者は20単位。

なお、別表(II)による教科に関する科目の単位数と、教職に関する科目のうち「英語科教育法」を修得すれば高等学校教諭1種免許状(英語)も併せて取得することができる。

商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で上記免許状の取得を希望する者は、別表(I)・(II)の単位をそれぞれの学科の卒業所要単位のほかに修得しなければならない。

また、別表(II)で指定した科目のほか「道徳教育の研究」2単位を修得することにより、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭1種免許状(英語)をも取得できる。



(I) 高等学校教諭1種免許状(商業)取得希望者の単位修得方法  
(商業教員養成課程所属以外の学生)

入学年度	平成2年度以降			平成元年度以前		
区分	単位数	必修科目	選択科目	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)		4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する科目	19	教育基礎論Ⅰ 4 教育基礎論ⅡA 2 教育基礎論ⅡB 2 教職演習 2 商業科教育法 2 教育実践論Ⅰ 2 教育実践論Ⅱ 2 教育実習 3		16	教育基礎論Ⅰ 4 教育基礎論ⅡA 2 教育基礎論ⅡB 2 商業科教育法 2 教育実習 2	教職演習 2 教育実践論Ⅰ 2 教育実践論Ⅱ 2 (2科目選択)
教科に関する科目	20	職業指導 4	統計学, 経済原論Ⅰ, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 経営情報論, 情報処理Ⅰ, 財産法Ⅰ, 会社法 (4科目選択)	20	職業指導 4	統計学, 経済原論Ⅰ, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 経営情報論, 情報処理Ⅰ, 財産法Ⅰ, 会社法 (4科目選択)
合計	43			40		
備考 基礎教育科目の法学概論及び教科に関する科目の選択科目については, それぞれの学科の卒業所要単位と併用できる。 なお, 平成4年度入学生が2年次以降において教科に関する科目を履修する際には, 一部の科目について名称が変更になるので来年度の教授要目を参照すること。						

(II) 高等学校教諭1種免許状(英語)取得希望者の単位修得方法  
イ 平成4年度入学者

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する科目	8	教育の本質及び目標に関する科目 教育に係る社会的, 制度的又は経営的な事項に関する科目	教育基礎論Ⅰ 4
		幼児, 児童又は生徒の心身の発達及び学習の課程に関する科目	教育基礎論ⅡA 2 教育基礎論ⅡB 2
	19	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)に関する科目	教職演習 2
		教科教育法に関する科目 特別活動に関する科目	英語科教育法 4 教育実践論Ⅱ 2
	2	生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	教育実践論Ⅰ 2
		教育実習	教育実習 3
教科に関する科目	8	英語学関係	英語学概論 4 英語学Ⅰ 4 英語学Ⅱ 4 英語学Ⅲ 4
		英米文学関係	英文学史 4 英文学概論 4 英文学Ⅰ 4 英文学Ⅱ 4 英文学Ⅲ 4
	6	英会話・英作文	英会話・英作文 4 英語コミュニケーション 2
		比較文化(外国事情を含む。)	比較文化 2
合計	63		
備考 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。 2. 教職に関する科目のうち「教育基礎論Ⅰ」, 「教育基礎論ⅡA」, 「教育基礎論ⅡB」, 「教職演習」, 「教育実践論Ⅰ・Ⅱ」, 「教育実習」は(I)(II)表両方の場合に併用できる。			



ロ 平成2・3年度入学者

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する科目	21	教育の本質及び目標に関する科目 教育に係る社会的、制度的又は経営的な事項に関する科目	教育基礎論Ⅰ 4
		幼児、児童又は生徒の心身の発達及び学習の課程に関する科目	教育基礎論ⅡA 2 教育基礎論ⅡB 2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)に関する科目	教職演習 2
		教科教育法に関する科目	英語科教育法 4
		特別活動に関する科目	教育実践論Ⅱ 2
		生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	教育実践論Ⅰ 2
		教育実習	教育実習 3
教科に関する科目	40	英語学関係 8	英語学概論 4 英語学Ⅰ 4 言語学概論 4 英語学Ⅱ 4 英語学Ⅲ 4
		英米文学関係 10	英文学史 4 英文学概論 4 英文学Ⅰ 4 英文学Ⅱ 4 英文学Ⅲ 4
		英語コミュニケーション 6	英会話・英作文 4 英語コミュニケーション 2
		比較文化(外国事情を含む。) 2	比較文化 2
			商業英語 4 研究指導 12
合計	65		
備考 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし、基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。 2. 「商業英語」は「英語学Ⅲ」と読み替えることができる。 3. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り履修することができ、修得単位は英語学又は英米文学の単位として換算できる。 4. 教職に関する科目のうち「教育基礎論Ⅰ」、「教育基礎論ⅡA」、「教育基礎論ⅡB」、「教職演習」、「教育実践論Ⅰ・Ⅱ」、「教育実習」は(Ⅰ),(Ⅱ)表両方の場合に併用できる。			

ハ 平成元年度以前入学者

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論(日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する科目	14	教育原理 4 教育心理学 4 英語科教育法 4 教育実習 2	
教科に関する科目	32	英語学関係 8	☆英語学概論 4 ☆言語学概論 4 英語学演習Ⅰ 4 英語学演習Ⅱ 4
		英文学関係 8	☆英文学史 4 ☆英文学概論 4 英文学演習Ⅰ 4 英文学演習Ⅱ 4
		英会話・英作文 4	商業英語 4 研究指導 12
合計	50		
備考 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし、基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。 2. 選択必修科目のうち☆印は各領域からそれぞれ一科目必修。 3. 「商業英語」は「英会話・英作文」又は演習科目と読み替えることができる。 4. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り履修することができ、修得単位は英語学又は英文学の単位として換算できる。 5. 教職に関する科目のうち「教育原理(教育基礎論Ⅰ)」、「教育心理学(教育基礎論ⅡA・ⅡB)」、「教育実習」は(Ⅰ),(Ⅱ)表両方の場合に併用できる。			

教職関係科目開講予定

次のとおり開講するので、履修計画においては充分注意すること。

科目名	平成4年度	平成5年度
教育基礎論Ⅰ	○	○
教育基礎論ⅡA	×	○
教育基礎論ⅡB	×	○
教職演習	○	○
商業科教育法	○	×
英語科教育法	○	○
教育実践論Ⅱ	○	○
教育実践論Ⅰ	○	○
道徳教育の研究	○	×
職業指導	○	○

○印=開講 ×印=非開講



## 7. 単位の互換制度

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北海道大学の特別聴講学生となる。

### (1) 聴講出願対象者

履修方法等に関する規則第6条に規定する〔1,2年次配当科目55単位以上〕を修得した平成4年4月現在の4年次生。

### (2) 聴講科目

授 業 科 目	単 位	担 当 教 官	開 講 期 間
経 済 体 制 論	4	吉 野	前 期
産 業 技 術 論	4	吉 田	後 期
経営学特殊講義 I (産業論)	2	馬 屋	集中講義

① 「経済体制論」は本学の経済学科の専門科目、「産業技術論」、「経営学特殊講義 I (産業論)」は本学の商業学科商学コースの専門教育科目として扱い、卒業所要単位に算入する。

② 1科目につき、20名が限度。

### (3) 聴講期間

聴講科目の開講期間で前期とあるのは、平成4年4月～9月、後期とあるのは、平成4年10月～平成5年3月で、集中講義は平成4年2月3日～7日に行う。

### (4) 授業料 不要

## 8. 平成3年度以前入学者の履修上の注意事項

次表の適用入学年度生においてB欄に掲げている授業科目を履修し、単位を修得した場合は、A欄に掲げている授業科目の単位を修得したことになります。

よって、A欄に掲げている授業科目の単位をすでに修得済の者は、B欄に掲げている授業科目を履修することはできません。

適 用 入 学 年 度	授 業 科 目	
	A 欄	B 欄
平成元年度以前 90	社会科学概論	社会科学特別講義 I 社会科学特別講義 II
	工業経済学	産業経済論
	国際法 I	国際法
	国際法 II	比較法
	英語学演習 I	英語学 I
	英語学演習 II	英語学 II
	英文学演習 I	英文学 I
	英文学演習 II	英文学 II
平成2年度以前 91	経済学特別講義	経済学特別講義 I
平成3年度以前 92	管理科学概論	社会情報学概論
	教育原理	教育基礎論 I
	教育心理学	教育基礎論 II A 教育基礎論 II B
	教育史	教職演習 I } 2科目 教育実践論 I } 選 択 教育実践論 II }



## 9. 進級に必要な単位

### 【昼間コース】

#### (1) 1年次 → 2年次 16単位

1年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 2年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 学科または課程に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

#### (2) 2年次 → 3年次 55単位

2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1・2年次配当科目のうちから55単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 3・4年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 研究指導に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

この55単位の算入については次表のとおりなので、履修上注意すること。

科目	年度	平成4年度生	平成3年度生以前
一般教育科目		24単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		20単位 "	16単位 "
保健体育科目 (理論・実技)		4単位 "	4単位 "
基礎教育科目		12単位 "	12単位 "
専門教育科目		2年次配当科目	2年次配当科目

### 【夜間主コース】

#### (1) 1年次 → 2年次 16単位

1年次終了までに、1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 2年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 学科に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

#### (2) 2年次 → 3年次 42単位

2年次終了までに、1・2年次配当科目のうちから42単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 3・4年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 研究指導に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる。



## IV 科目試験の受験に際しての注意事項

定期試験（前期，後期，半期制科目中間試験）およびこれに準ずる試験を受ける場合，次の注意事項を厳守して，不利益にならないよう十分留意してください。

1. 指定された席に着席すること（試験開始5分前には着席していること）。  
随時行う試験では席を指定しないこともある。
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない（座席の受験番号横におくこと）。
3. 試験時刻に遅れた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了前10分以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，これらをむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借をしてはならない。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 試験において，私語，その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については，学則に照し厳重に処分されるから厳正な態度で受験すること。さらに，不正行為を行った者に対しては，その学期に履修した科目の総ての単位が認定されない。したがって，在学期間が1年以上延期することになる。
10. 配付された答案用紙は必ず提出し，これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させる。

## V 卒業論文執筆要領

卒業論文の作成要領について一般的な原則をのべるが，論文の形式は専攻分野ごとに，用語，文献の引用方式，記号の利用などに差があるので，指導教官の指示に従うこと。

### 1. 提出期限

今年度は，1月29日（金）17時（時間厳守）なので十分留意すること。仮り綴じのうえ，附属図書館で図書返却の確認を受けたのち，製本料を添えて教務係に提出する。仮り綴じのためには，教務係のドリルを使用してもよい。製本料は確定次第掲示で通知する。

表紙のみ，あるいは目次程度，または序章程度といった論文とは認めがたい卒業論文は受理しない。

### 2. 用紙など

和文で執筆する場合には，所定の原稿用紙を使用し，黒またはブルー・ブラックのインクを用いる。油性インクのボールペンは避けた方がよい（鉛筆は不可）。文字は楷書とし，誤字・脱字に注意する。多色にする必要がある場合にも一定の方針をたてて統一し，さらに，必要最低限の多色化にとどめること。

ワード・プロセッサで作成する場合の用紙の規格，体裁及び1ページの文字数等については，指導教官の指示に従うこと（但し，感熱紙の使用は不可）。欧文で執筆する場合には，通常サイズの白地のタイプライター用紙にタイプ印刷する。いずれもオリジナルを提出し，全体をゼロックスコピーしたものは提出しないこと。

### 3. 表紙および裏表紙

表紙と裏表紙は本文と同一の用紙を用いる。表紙には論文のタイトル，学生番号，氏名，ゼミナール名，および提出年度（平成4年度提出）を記し，裏表紙に図書館の返却済確認印を受ける。タイトル等は原簿に記入され，成績証明書，図書館の目録カード，製本後の背表紙の書きこみ等の場合に必要になるので，正確に書くこと。副題をつける場合には，その左右を棒線ではさむ。なお，表紙のタイトル全部を『』でかこんではいけない。

### 4. 「はしがき」と「目次」

「はしがき」（「まえがき」「序」）にはテーマを選択した動機などを書く。指導や助言を受けた人達，調査等に協力した人達に対する謝辞もここに書く。ただし，「はしがき」は省略してもよい。「はしがき」と「あとがき」の両方を書くことは，卒業論文の場合，概して不適当である。

「目次」は「表紙」または「はしがき」の次の用紙に書く。必要に応じて，「表目次」，「図目次」を別につけ加えてもよい。



## 5. 本文

- (1) 文体は「……である」の形とし、なるべく簡潔な文章とする。
- (2) 新しい章は新しいページから始める。
- (3) 章題と文章、あるいは、章題と節題の間は1行あける。
- (4) 章(節)の番号と章(節)題の間は1マスあける。
- (5) 各節の間は2行あける。
- (6) 新しいパラグラフの始めは1マスあける。
- (7) 句読点などは1字とする。ただし、行末の句読点は「ブラサゲ」として、マスの欄外に書き、次行のはじめにはもっていかない。また、句読点の次のマスをあけてはいけない。
- (8) 数式は、かならずしもマスや行にこだわらず、見やすいように余裕をもって書いてよい。
- (9) 文章の中の欧文と算用数字は、原則として2字で1マスとする。
- (10) 欧文イタリック文字は、単語の下または文章の下にアンダーラインを引いて示す。

## 6. 図表

表とグラフは番号と見出しをつけ、本文との対応を明らかにする。原稿用紙と同じサイズになるように、グラフ用紙や集計用紙に書いて、そのまま1ページ分として綴じこむとよい。「別表」として論文の末尾にまとめることもできる。サイズが小さいときは、原稿用紙の当該箇所にはりつけてもよい。計算機のプリントアウトは、サイズがあえばそのまま1ページとしてよい。いずれも、製本のときにヘリを数ミリメートル切り落とすことがあるので、上下左右は十分にマージンをとっておくこと。

図表には、資料の出所を明記しなければならない。他の文献等の図表のコピーをそのまま利用することは、特別の場合を除いて避けるべきである。

## 7. 「注」

説明の補足や引用・参照を示すため注を用いる。注のつけ方としては脚注や後注などがある。指定原稿用紙では「脚注」をつけることができる。ただ1つの注を3ページ以上に分けることは不適當であるから、長い注については工夫が必要である。後注として注を各章の終りにまとめて書いてもよい。このとき注番号は各章ごとに1から始めてよい。なお、注のなかに注をおいてはいけない。

## 8. 引用文献、参考文献、および引用

論文作成において、文献の参照と引用の明示は最も注意すべき点である。文献からの引用には必ず「」(欧文引用のときには“ ”)をつけ、その文献を番号のついた注などで明示する。注番号はたとえば、「……である。(注1)」,「……である(1)」などのように書く。肩付きのできないワードプロセッサのときは、「……である(注1)」としてもよい。なお、原典自体のなかに「」(または“ ”)が含まれる場合には、原典中「」(または“ ”)

を『』(または‘ ’)に代える。

要約して引用するときには、原文の文意を損なわないようにし、更に要約引用の範囲が分るように、出典と引用箇所を(例えば注を用いて)明示する。「孫引き」は、できるだけ避けて、原典にあたってチェックすべきであるが、やむを得ない場合には再引用であることを明記する。

引用文献、参考文献は注番号を明示したうえで、脚注部分に記載するか、または論文末尾(または各章末尾)に一括して記載する。文献記載の原則は次のとおりである。

### 和書

著者名『書名』, 出版社名, 出版年。

または

著者名『書名』(出版社名, 出版年)。

引用ページを明示する場合には、このあとに引用ページを書く。

<例> 小宮隆太郎・天野明弘『国際経済学』, 岩波書店, 1972年, p.10。

藤瀬浩司『資本主義世界の成立』(ミネルヴァ書房, 1980年), 56頁。

翻訳書の場合にも

<例> J. ブーヴィエ(井上隆一郎訳)『ロスチャイルド』(河出書房新社, 1960年), 第3章。

R.A. Mundell, *International Economics*, New York: Macmillan, 1968,  
(渡辺・箱木・井川訳『国際経済学』, ダイヤモンド社, 1971年)。

などが通常の形式である。

和雑誌のなかの論文(および論文集の中の一つの論文)

著者名「論文名」, 『雑誌名』第△△巻, 第△号(発行年)。

著者名「論文名」, 編者名『書名』出版社名, 出版年。

(または, 著者名「論文名」, 『書名』(編者名)出版社名, 出版年)。

などとする。

<例> 関口尚志「イングランド銀行バーミンガム支店」, 『経済学論集』(東京大学)第47巻第2号, ××頁。

岡田純一「近代経済学とスミス」, 経済学史学会編『国富論の成立』, 岩波書店, 1976年, p.345. (複数ページの場合, pp.345~351.)

洋書および洋雑誌のなかの論文

著者名, 書名<sup>(注1)</sup>, 出版地: 出版社, 出版年

著者名, “論文名”, 雑誌名, Vol. 巻数, No. 号数(発行年)

等とする。ただし、出版地: 出版社を( )に入れることもある。また“論文名”, 雑誌名の代りに“論文名”, 雑誌名とすることも多い。著者名はA. Smithとする場合とSmith, A.とする場合の両方があるが、著者名が2つ以上並ぶ(共著の場合)に、2人目以降の人名については、A. Smith(またはAdam Smith)のようにファースト・ネームを先に書くのが一般である。雑誌のNo. 号数はしばしば省略する。また、Vol. およびNo. の代りにvol. お



よび no. とすることも多い。

これらについては、標準的な図書および雑誌を参照して、もっとも適当と思われるものを選択したうえで、統一して使用する。

さらに、op. cit., loc. cit., ibid., (または Ibid.,)注②等もよく利用される。辞書などで意味を調べて、誤用しないことが必要である。

注①) 書名、雑誌名についているアンダーラインはイタリックを使用せよという指示である。

注②) op. cit., loc. cit., ibid., は、引用によってローマン体を使うかイタリック体を使うかによって変わる。

<例> op. cit., (前掲の意味) で前掲が、論文名であればローマン体、前掲が書名、雑誌名であればイタリック体を使用する。

loc. cit., (上記引用文中), ibid., (同上) も同様である。

なお, ibid については, 先頭に来る時は Ibid., のように大文字となる。

#### 参考文献

齊藤孝著『増補学術論文の技法』(日本エディタースクール出版部, 初版1977年, 増補1988年)。

米国現代語学文学協会編(原田敬一訳編)『MLA新英語論文の手引』(北星堂書店, 第2版, 1986年)。

トラビアン著(高橋作太郎訳)『英語論文の書き方』(研究社出版, 1982年)。

## VI 平成4年度開講科目(昼間コース)の講義要目

### 目 次

1 一般教育科目	31
2 外国語科目	37
3 保健体育科目	61
4 基礎教育科目	66
5 専門教育科目	75
6 教職科目	116
7 研究指導	122
8 一般教育ゼミナール	145



## 1 一般教育科目

### 哲 学

教授 渡 辺 祐 邦

現代のような激動の時代においては、確固たる思想的基準をもたない人はたちまち変転する外界の波に吞まれて自己を見失ってしまいます。それがどういう基準であってもいいのですが、哲学は他人の考えをただ正確に記憶して再現すれば良いのではなく、自分の体験を通じて自分の言葉で表現されねばなりません。

本講義はこの目的のために現代最大の思想家と言われるアドルノの著作を読むとともに、皆様にも日常体験した問題について書いたり、しゃべったりしてもらいます。たとえば、昨年度、学生が自主的に選んだテーマには、環境破壊、臓器移植、脳死問題、大学生イコール遊ぶ人か？、人生のうちの時間の価値などでした。

こういう問題について年間3回以上の発表をおこない、学年末には自分の考えをきちんと筋道を立てて話すことができるように、また他人の発表を聞いて、疑問点をまとめて質問したり、反対意見を堂々と言えるように訓練します。

テキスト：テオドール・W・アドルノ著、渡辺祐邦訳、『三つのヘーゲル研究』  
(河出書房新社)

### 倫 理 学

教授 渡 辺 祐 邦

アリストテレスのテキストを読みながら、人間の共同存在の難しさと在るべき姿について考える。今回は『政治学』をテキストとして、これを単にギリシャの古典として訓古学的に読むのではなく、現代における人間の在り方を考える出発点とする。あわせて今日全世界で起こっている出来事の意味を全員で考える。また、独裁制、寡頭制、民主制など現代語にもなっている言葉の真の意味を理解するために、前期のはじめに簡単なギリシャ語文法を学ぶ。

テキスト：ギリシャ語文法のテキストは無料配付するが、辞書に代るものとして下記の教科書を推薦する。アリストテレスの原文テキストは、ギリシャ語の学習が十分であると認められた者にのみ配付する。原文の読解には下記の翻訳が非常に役に立つので、買っておくとい。 (講義では、その一部分のコピーのみを配付。)

アリストテレス『政治学』山本光雄訳、岩波文庫  
田中美知太郎・松平千秋『ギリシャ語入門』岩波全書

### 心 理 学

教授 和 田 完

現代心理学の特質を、歴史的な成立の過程を通して検討する。行動主義的な方法の導入、力動的な考え方などが特に強調されよう。また、動機づけ、学習実験、認知、ことに知覚の問題、パーソナリティ論等が話題とされる。

なお、精神病理学、文化人類学等の隣接領域について、しばしば触れるであろう。



テキスト：和田完・馬場雄二著『人間行動の諸相』明玄書房

## 歴史学 A

助教授 荻野 富士夫

大教室の講義です。

本年度の前半は、「日本近現代史への新視角」と題し、一週一テーマを原則に、最近の新しい研究で開拓された分野の諸問題を取りあげます。女性史、生活史、社会史などを基軸に「受験の歴史」とは異なった歴史像の一端を明らかにしていきます。

後半は、「北海道史」をテーマに、近世以降の、北海道特有の問題をあつかい、従来の中央・国家の歴史を相対化します。北方史の概念、アイヌの人びと、「半植民地」としての近代化、北の思想と文化、開拓・開発を担った人びと、小樽の変遷、小樽高商の歴史、強制連行された朝鮮人・中国人など。

評価の方法は、㉔日本近現代史に関する自由研究——400字詰原稿用紙30枚以上、㉕日本近現代史上における古典的著作ないし研究書（新書程度）に対する批評的レポート——同30枚以上、のいずれか選択と定期試験、および月一回程度実施するアンケートの提出状況とします。いうまでもなく、レポート類はオリジナルなものに限ります。

## 歴史学 B

助教授 荻野 富士夫

少人数による日本近代史の演習形式の授業です。

今年度も昨年度に引きつづき、「『小樽新聞』の研究」をテーマとします。『小樽新聞』は1894（明治27）年創刊の新聞で、1942年、『北海タイムス』などと合併して現在の『北海道新聞』になるまで、道内の有力新聞として、政治・経済・文化面で大きな影響力をもっていました。図書館所蔵のマイクロ・フィルムを用い、参加者が各自の課題を設定し、調査・考察のうえで発表・討論をおこないます。

10人程度が好都合なので、第1週目と第2週目に連続して出席することを科目登録の条件とします。この授業の評価は、発表内容と毎回の討論への参加状況によって、判断します。

## 日本文学 A・B

教授 村山 出

日本文学はAとBでは授業形態が違いますので、どちらかを選んで受講して下さい。

### 日本文学 A

講義形式のクラスで、『万葉集』を取り上げます。今年度は万葉の歴史について講義します。万葉歌が作られたおよそ130年にわたる歌風の変遷を、代表的な歌人の作品と、歴史的文学的背景との関連で見ると見えます。必要に応じて万葉歌の表現の特色についても触れるつもりです。

テキストは試験を受ける時にも使用します。

テキスト：村山 出編『万葉集—表現と歴史—』丘書房

### 日本文学 B

演習形式のクラスです。自分も発言し、楽しく実のある勉強をしたい人は履修して下さい。

今年度は万葉歌人の山上憶良の作品を読みます。順次発表してもらいます。評価は発表内容と平時の出席を重視します。

年度の最後に、研究論文をまとめてもらいます。テーマは憶良に限定せず、日本の文学について研究するのであればよいことにします。

テキストはプリントを用意します。

参考書：中西 進編『山上憶良 人と作品』桜楓社

村山 出著『憂愁と苦悩 大伴旅人と山上憶良』新典社

## ドイツ文学

教授 中川 勇治

ドイツ文学の歴史的な変遷をたどりながら、それぞれの時代の代表的作品を取上げ、解説します。受講者の便宜を考え、なるべく日本語訳のある作品を選ぶつもりですから、受講者各自が実際に読まれることを強く要望します。また、開講時に読書体験について調査いたしますので、出席される方は自分の愛読書や読書傾向について考えを整理しておいて下さい。参考文献は、講義の中で随時紹介しますが、さしあたり岩波文庫に入っている『ドイツ文学案内』（手塚富雄著）を手頃な一本として挙げておきます。

## 社会学

助教授 宝福 則子

「第三世界」、開発途上国ともよばれている発展途上国の諸問題を中心に講義をすすめる。近年、累積債務や熱帯林の破壊が、新聞・テレビ等のマス・メディアによって、しばしば報道されている。これらの報道によって、発展途上国の問題が私たち日本人にとっても身近なものであると考えられ始めてきた。また、湾岸戦争や旧ソ連邦の崩壊等により、民族問題に関心をもち始めた学生諸氏も増えてきた。身近な問題に関心を抱くことから出発し、何故、「発展」途上国であるのか？ という疑問に答えるために、個々の問題や個々の国・地域の具体例を、歴史・政治・経済・社会的側面からのアプローチによって分析・説明する。

そして、その中から私たちの生きている日本社会のことを考えて欲しい。発展途上国の諸問題を概観するために下記の参考書を読んでおいて欲しい。第一講目に、各人が関心のある問題について文を書いてもらう。

なお、受講者にはグループを組織してもらう。各グループ毎に、ないしは各個人に一回、講義の記録をとることを義務づける。又、後期は、各グループ毎に関心のあるテーマについてレジュメを作成・発表してもらう。最終的には、それは個人別に学術小論文にまとめて提出することを義務づける。各問題別の詳しい参考文献表は、一講目に配布する。

参考書：川田 侃・石井摩耶子編『発展途上国の政治経済学』（東京書籍）1991年（第3刷）¥1,800円

## 社会思想史 A

教授 倉田 稔

講義形式で行う。大人数クラスである。今年度は昨年度の継続なので、1930年代からの社会思想史となる。したがって、授業内容は次の予定である。



序

1. 中央ヨーロッパ  
特に権力掌握以後のナチズム
2. 西欧とアメリカ
3. ソ連  
特にスターリニズム確立以降
4. アジアと日本
5. 第2次世界戦争

ただし、進行具合では途中で終ることもありうる。

参考テキストとして

拙書『社会経済思想史文献(2)』

## 社会思想史 B

教授 倉田 稔

演習形式の少人数クラスで行う。したがって多数の申し込みがあった場合は参加人数が制限されるので注意願いたい。理想は10人程度がよいと見ている。第1回目の授業での申し込みが必要になると思われる。

自由課題の研究を行い、その口頭発表をし、最後にその成果を学術論文に仕上げたことを課題とする。

## 政治学

非常勤講師 坪井主税  
(札幌学院大学助教授)

国際政治の場において、重大な問題を武力や戦争に依らず、平和的に解決することは可能か。今年度もまた、この課題を中心に据えます。しかし、やり方を変えます。私がまず、平和的解決の基調である平和主義について、その思想や政治的手段として運用された実例、そしてその結果などに亘って紹介します。そして次に、それを基礎にして、時宜的な問題を取り上げて討論します。平和主義を、「一國平和主義」という言葉でしか理解していなかった人、あるいはまた「平和的解決なんてありえない。武力は必須だ」と固く信じて疑わない人積極的に参加して下さい。ただし、講座への出席条件や評価基準などが今年是一段と厳しいことを覚悟しながら。その詳細は、第1講義日に。一年経って、ふと気がつくところある政治問題について、たとえ私の意見とは違っていても、自分の意見を論理的に説明できる、そんなあなたになって下さい。

## 社会科学特別講義 I (冬季集中)

非常勤講師 桑原昌宏  
(新潟大学教授)

「日本法文化論」というテーマで講義をする。最近、外国のロー・スクールで講義をする機会がふえたので、外国人へ日本の法文化を説明するために構想した内容である。

第1章 比較法方法論。外国の法文化を学ぶことは自国法の認識と創造に寄与する。

第2章 外国法の継承。大化改新時代の中国法、明治維新時の大陸法、そして第二次大戦敗戦後のアメリカ法、などの継承がもたらした日本法へ影響がうかがわれる。

第3章 社会と法。外国法継承が必ずしも現実的必要性に基づかなかったこともあって「生きた法」が存在する。その例として労使協議制、私人間契約、犯罪をあげる。

第4章 法典主義と裁判官法。法典の完結性を前提とする制度であるため、時代の流れによって新しく生じた事件の解決に判例理論が生れる。解雇制限論、知る権利など。

第5章 法的紛争処理。判決外の紛争処理方法について私人間紛争、組織間紛争、外国企業との紛争に分けて検討する。裁判官関与和解、公的機関関与調停、仲裁、斡旋。

第6章 公害紛争処理と労使紛争処理、公害加害者企業、国と被害者間の紛争を熊本水俣病を例にする。使用者と労働組合間の紛争をJR不当労働行為事件を例にする。

第7章 国際取引とその紛争処理。日本の企業が外国企業と取引をする場合の、日本企業の法的諸問題を検討する。契約上のみならずガットによる規制にふれる。

比較の対象としては、カナダとアメリカを適時とりあげる。カナダはケベック州でフランス法、その他の州でイギリス法とアメリカ法の影響を受けている。

※教科書はないので講義形式になるが、参考書としては次のものがあるので一読をすすめる。田中成明「現代日本法の構図」筑摩書房、ジョン・オー・ヘイリー「裁判嫌いの神話」(上)、(下)判例時報902号14頁、907号13頁(1978年)、アーク・ラチガイヤー「法と経済学」(弘文堂)1990年

## 物理学

教授 原田 稔

「現代の物理学の基盤となっている考え方はどのようなものなのか?」、「現在どのようなことが問題となっていて、どの方向に進もうとしているのか?」という観点から物質・宇宙をテーマにとりあげ、現代物理の考え方の本質にせまりたい。

テキスト: 広瀬立成著「現代物理への招待」(培風館) ¥1,680

## 化学 A・B

教授 片岡 正光

化学A、Bは昨年度までと異なり、同一内容の講義をA、Bの2クラスに分けて行います。原則として1年の1組から5組までをA、6組から11組までをBとします。再履修者はA、Bどちらで履修しても構いませんが、途中からの変更は認めません。

科学技術の発展によって私達は、人類がかつて経験したことのない豊かな暮らしをしている。私達の身の回りの科学技術を利用した製品はもとより、自然界に存在しているものはすべて化学物質である。化学は衣・食・住や生物・医学等の分野に深くかかわっており、私達の日常生活と密接に関係している。化学に関する基礎的な知識は、化学とは縁遠い分野で活躍しようとする人であっても、現代社会を生きてゆく上で必要である。講義では化学の基礎を平易に解説するとともに、学生諸君が興味を持って学習することができる、地球規模の環境破壊の問題やエネルギー問題、超伝導物質、新素材、化学センサーなどの現代化学のトピックスについても解説する。またビデオを使って最新の化学分析法を紹介する。



教科書：多賀光彦・片岡正光・金谷憲一著『教養の現代化学』（三共出版）定価¥2,100

## 生物学

非常勤講師 金沢 甫

いまや大腸菌も人も木や草も基本的には同じようなしくみで子孫をのこし、生命を維持し、生活していることが明かになってきている。生物学はこのしくみをより詳細に、より深く解明しようとして、多種多様の方面と方法から取り組んでいる。

限られた時間のなかで、それらの全体像を概観することだけでも容易ではない。そのため、ここでは、われわれの身体をはじめ、身近にみられる生命の営みの基礎的な現象や遺伝のしくみを中心にして、「人間の生物学」とでもいうことを述べていく予定である。それらを通じて、自然科学の思考性や論理性もうかがい知ってもらいたいとも思っている。

なお、臨海実習を行って、ウニ胚の初期発生を観察することを予定している。

## 2 外国語科目

### 英語

#### 英語 I

##### A 群

- E101A
- E107A

助教授 津曲 敏郎

J. McConnell: *Language, Culture and Communication* (成美堂 ¥1,200)

ことばとコミュニケーションの入門書を読む。欠席は理由の如何を問わず回数に応じて評点の際、減点される。遅刻や予習不足、授業への実質的不参加も欠席に準じる扱いとなる。

- E102A

助教授 大島 稔

Schneider, K. & D. Schneider, *Various People, Various Lives*, (鶴見書店)

24課から構成される教材で、内容は平易な英語で書かれた欧米の生活文化情報である。リスニングで内容の大意を把握し、リーディングでさらに細かな情報を得るとともに、語の使い方、文のしくみ、段落構造について検討する。

評価は、クラス内の活動への積極性と筆記試験を総合的に見る。

- E103A

教授 永原 和夫

Ernest Hemingway, *The Old Man and the Sea* (南雲堂)

ヘミングウェイの名作の講読である。よく予習し欠席をしないこと。どんな理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。

- E104A
- E108A

助教授 杉村 泰教

Roald Dahl, *The Best of Roald Dahl* (英宝社 ¥1,205)

現代英国の作家ダールの短篇を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。遅刻は原則として認めない。

- E105A

非常勤講師 片山 厚  
(北海道大学教授)

現代アメリカのユダヤ系作家のひとり、B・マラマッドの小説を読む。

教科書：バーナード・マラマッド著『殺人の告白』（英宝社）

- E106A

助教授 下村 五三夫

教科書 *The World of Economics* (Brian McCall 著) (英潮社新社 ¥1,240)



経済学の入門書として定評のある同書を使い、古典経済学からソヴィエト型経済学を俯瞰します。経済学者として、A. Smith, D. Ricardo, K. Marx, J. Keynes, M. Friedmanが登場します。扱われる題目の主なものとして、費用と効用、需要と供給、経済モデル、貨幣、税、産業革命、ケインズ革命、インフレーション、国民経済計算、国際収支、IMF、ソヴィエト型経済、戦争と経済学、ペレストロイカ、等々があります。学生諸君は原則として遅刻と欠席が許されません。容認される遅刻・欠席の回数は、前期で3回、後期で3回に限りです。遅刻は欠席の扱いですが、授業に参加することを許します。成績は前期・後期の試験の結果と授業への参加の姿勢、及び前期・後期の英語共通試験を総合して判定します。  
(注意：教科書は市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます)

◦ E109A 助教授 高井 收

教材はアメリカの教育問題をテーマにした映画“Lean On Me.”を使用し、自然なスピードで話される英語を聞き取る練習を授業活動の中心とします。教科書は使わず適時プリントを配布します。また、クラスではグループ活動を中心にレポートと発表に重点を置き、英語による自己表現力を養成していきます。

評価には出席を重視します。

◦ E110A 助教授 大島 稔

小林純子&Alter, Jason B. (1992), *Coping with Culture Shock*, (成美堂)  
20課から構成され、異文化間コミュニケーション専攻の大学院生が自ら体験した日米コミュニケーションギャップの問題点を論じている教材で、リーディング中心に内容把握に関する練習問題を解いて行く。

評価は、クラス内の活動への積極性と筆記試験を総合的に見る。

◦ E111A 非常勤講師 片山 厚  
(北海道大学教授)

環境問題を扱った評論を読む。

教科書：Anne Pedersen, *Environment, What's Awry and Why* (Unicorn)  
発売元 好学社

## B 群

◦ E101B 教授 豊国 孝  
◦ E106B

H. E. Bates: *The Wedding Party & Other Stories* (金星堂)

イギリスの現代小説家ベイツの短篇小説を読む。ベイツの作品は、森、川のほとり、農場などの自然を舞台とする田園的、牧歌的なものが多い。彼は英国のチェホフといわれる。  
3/5以上出席しない学生は受験資格を失なう。

◦ E102B 助教授 君羅 久則

Muriel Spark, *Voices at Play*. (松柏社)

Muriel Spark, *The Dark Glasses and Other Stories*. (鶴見書店)

現代イギリスの作家の短篇物語を読む。授業実施時数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を失なう。

◦ E103B 助教授 山本 久雄

テキスト：*Language and Culture* by Joan McConnell (成美堂)

本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E104B 非常勤講師 上野 之江  
◦ E110B (北海学園大学講師)

Waku & Suzuki, *Communicative Approach to Reading*, (三修社, ¥1,400)

このクラスは英語を読む能力を養う実技クラスである。教科書に加えて雑誌、新聞、パンフレット等さまざまなレベルの英文を読んで必要な情報を短時間のうちに簡潔につかまえる練習をする。従って授業には毎回出席し、練習を積み重ねることが要求される。

クラスの学習目標は1. 多読 2. 語彙力の増強である。毎回小テストを行う。出席時間数が3/5未満の者は定期テストは受けられない。

◦ E105B 非常勤講師 佐藤 幸子  
◦ E111B (小樽女子短期大学教授)

*Confessions of a Japanologist*: Donald Keene (Asahi Press ¥906)

本書は日本学研究の第一人者であり、日本の文化と風土を愛するコロンビア大学教授 Donald Keene 博士が日本の学生の為に書きおろしたものである。どんな動機で日本語を学び、どんな状況下で日本文学研究の道を歩んだか、氏の超人的な努力が語られている。

遅刻は認めず、出席を重視する。必ず予習のこと。



◦ E107B

非常勤講師 横尾元意  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

現代アメリカ文学においてJ. D. SalingerをはじめとしてSaul Bellow, Bernard Malamudなどのユダヤ系作家の活躍が見られます。授業では、彼らの短篇をいくつか講読していきます。問題は今日的で、人間の核心をついています。受講生には、ユダヤ系作家の特徴・視点を把握してもらえればと考えています。

テキスト：書名 *Quest for Self-Identity*

編注：森 豪他

出版社：New Currents International

◦ E108B

非常勤講師 西村千稔  
(小樽女子短期大学教授)

大学で学ぶ方法論のうち、ニュークリティシズムの context と contrast の習得を授業の目的として、テキストを分析します。

注意事項：どのような理由があっても、実施授業時間数の三分の二以上出席しなければ、定期試験の受験資格を失います。遅刻3回で欠席1回とみなします。

テキスト：『現代アメリカ名作選』朝日出版社 1,300円

◦ E109B

非常勤講師 宮町誠一  
(小樽女子短期大学助教授)

旧ソ連邦の崩壊により戦後の二極構造が解消され、世界は新たな秩序造りに向けてその胎動を始めている。様々な変化、混乱のさなかで日本とアメリカとの関係は今後の新世界構築に当たって、多方面に渡って大きな影響を与えかねない。今後の日米関係、及び21世紀の世界を考える時、アメリカに関する一般的な「神話」を克服した、より客観的、多面的な理解が求められるといえる。

ノルウェーのアメリカ研究者であるSirevag氏の著作を通じて、「自由と平等の国」というアメリカ神話を検討し、歴史的背景をふまえ、社会構造と教育の観点から現代アメリカに迫りたい。

必要に応じて授業内容に関連する英文雑誌、新聞からの記事を紹介する。出席を重視し、毎時間英和辞典あるいは英英辞典必携。

テキスト：『American Patterns』著者：Torbjorn Sirevag

出版社：成美堂 価格：1,150円

◦ E141C  
◦ E142C  
◦ E143C  
◦ E144C  
◦ E145C

外国人教師 Michael Carr

Richards, *Interchange 2* (Cambridge University Press)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly tests in the language laboratory.

◦ E146C  
◦ E147C  
◦ E148C

非常勤講師 Stephen Toskar  
(小樽女子短期大学助教授)

In my conversation classes students will be given the opportunity to use the English they already know and then learn new ways of saying many useful expressions in English. The class will concentrate on speaking and listening.

Students must attend regularly and must participate in many pair and group speaking activities.

◦ E149C

非常勤講師 Timothy Grose  
(札幌学院大学講師)

A communicative methodology based upon a "multi-syllabus" series of language units, form the core of this course. It is hoped that, with enthusiastic student participation, a reasonable level of functional language competence may be reached. Classwork will be supplemented with intellectually challenging material which will further enhance students' abilities. A positive attitude and a willingness to take part in classroom activities will help students to get good grades.

*Texts*

*Cambridge English Course 2*(Part C) Swan/Walter ISBN 0-521-33759-3

*Cambridge English Course 2*(Practice Book) ISBN 0-521-28983-1

◦ E150C

非常勤講師 Timothy Grose  
(札幌学院大学講師)

This course will use the principles of structural, notional and functional language teaching theory to promote the development of linguistic competence. Creativity of language use, an active participation in class and an enthusiasm



for positive class dynamics is very strongly encouraged. Students who have no interest in trying to speak English are advised to look elsewhere.

*Texts*

*Cambridge English Course2* (Part B) Swan/Walter ISBN 0-521-33758-5  
*Cambridge English Course2* (Practice Book) ISBN 0-521-28983-1

◦ E151C 非常勤講師 Timothy Grose  
(札幌学院大学講師)

A thirst for knowledge, a yearning to speak a foreign language well and a finely honed intellectual curiosity are useful pre-requisites for this course. Students thus equipped will be able to contribute to, and thereby benefit from, classroom work that is firmly based on the principles of communicative language teaching: a dynamic and participatory working environment, realistic structures, notions and functions and a lot of practice. Students not thus equipped will benefit hardly at all.

*Texts*

*Cambridge English Course2* (Part A) Swan/Walter ISBN 0-521-33757-7  
*Cambridge English Course2* (Practice Book) ISBN 0-521-289831-1

◦ E152C  
◦ E153C 非常勤講師 Laura MacGregor  
◦ E154C

Come and enjoy learning English. In this course, you will develop your English speaking, listening, reading and writing skills. Lessons will be fast-paced and will require student participation.

Required text: *Interchange 2*, by Jack Richards Publisher  
: Cambridge University Press

◦ E155C  
◦ E156C 非常勤講師 Tim S. Becraft  
◦ E157C

This course will help students develop skills important for communicating in English. This will primarily involve speaking practice in both controlled and creative situations. There will also be weekly listening practice and some writing practice. Students are expected to prepare for class, to attend class, and to actively participate in class, all of which are important considerations in deciding course grades. More than three unexcused absences will not be allowed.

◦ E161

助教授 下村 五三夫

教科書 *English Workshop* (JACET編) (三修社 ¥1,200)

文法を集中的に勉強するクラスです。学生諸君は原則として遅刻と欠席が許されません。容認される遅刻・欠席の回数は、前期で3回、後期で3回。遅刻は欠席の扱いですが、授業に参加することを許します。成績は前期・後期の試験の結果と授業への参加の姿勢を総合して判定します。このクラスに合格すると、英語共通試験に合格したことになります。但し、1年次生は参加できません。

(注意: 教科書は市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます)



英語 II

◦ E201

(前期) 教授 菊池 昭

Bernard Malamud, *The Girl of My Dreams* (朝日出版社 ¥ 762)

Malamudは、現代アメリカ文学の主要な流れの一つを作っているユダヤ系作家の一人。欠席をしないことが必要条件。4回以上欠席した者の成績評価はしない。遅刻は欠席と同じ扱い。

◦ E201

(後期) 教授 永原和夫

James Joyce, *Dubliners* (南雲堂 ¥1,300)

ジェイムズ・ジョイス (1882—1941) の短篇小说を精読する。どんな理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。

◦ E202

教授 豊国 孝

H.E. Bates : *Colonel Julian & Other Stories* (研究社)

イギリスの小説家ベイツの短篇小说を読む。彼を勝れた短篇小说家にしているのは、彼のもつ詩的なヴィジョンである。ベイツはイギリスのチェホフといわれる。

$\frac{2}{3}$ 以上出席しない学生は受験資格を失なう。

◦ E203

助教授 君羅久則

Muriel Spark, *The Girls of Slender Means*. (新日本教文大学社)

現代イギリスの作家の中篇小説を読む。授業実施時数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を失なう。

◦ E204

助教授 杉村泰教

Thomas Hardy, *Alicia's Diary and The Grave by the Handpost* (篠崎書林 ¥ 750)

英国の小説家トマス・ハーディの短篇小说を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。遅刻は原則として認めない。

◦ E205

非常勤講師 西村千稔  
(小樽女子短期大学教授)

大学で学ぶ方法論のうち、ニュークリティシズムの context と contrast の習得を授業の目的として、テキストを分析します。さらに作品の構成方法も学びます。

注意事項：どのような理由があっても、実施授業時間数の3分の2以上出席しなければ、

定期試験の受験資格を失いません。遅刻3回で欠席1回とみなします。

テキスト：Short Stories of Young America 中地 晃 編注 学書房 1,200円

◦ E206

非常勤講師 横尾元意  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

William Shakespeareの作品の中でも、日本人になじみ深い*The Merchant of Venice*を講読していきます。受講生に40行程度ずつ分担してもらって授業を進めていきます。今から400年も前の戯曲ですので、語の意味や言い廻しが現代と異なる点もありますが、O.E.D.はじめ、いろいろな辞典を使って用意してもらいます。従って、評価には発表だけでなく、出欠も重視します。

テキスト：William Shakespeare, *The Merchant of Venice*, 大山敏子注釈, 篠崎書林

◦ E207

◦ E208

非常勤講師 三浦京子  
(北海学園大学講師)

テキスト：①D.H. Lawrence, *The Woman Who Rode Away* (南雲堂)

②橋本 宏 編, 『英米小説序説 技法と物語性を中心として』(松柏社)

*The Woman Who Rode Away*に収録された短篇小说「太陽」及び「馬に乗って去った女」は、「隠れたる神」である「暗い太陽」(Dark Sun)を信奉するロレンスの異教の見解を表明した作品であると考えられます。その創作手法は、リアリズムに貫徹されているにもかかわらず、象徴主義にともなう神秘性を帯びています。内容と表現形式の関係について、語り手の視点を追う物語り論的視点から考察を試みたいと思います。

予習と出席率を重視します。

◦ E221

教授 菊池 昭

E.G. Seidensticker, *The Cultured and the Civilized* (朝日出版社 ¥ 824)

川端文学の翻訳者である原著者が、学問的洞察を通して東洋の文化と西洋の文明の接点を探る。欠席をしないことが必要条件。7回以上欠席した者の成績評価はしない。遅刻は欠席と同じ扱い。

◦ E222

助教授 下村 五三夫

教科書 *The Power of Myth* (J. Campbell/B. Moyers 著) Macmillan Language House 刊 1,340円

本テキストは、神話の構造とそれが内包する意味を現代の諸科学の視点から考察したものです。学生諸君は原則として遅刻と欠席が許されません。容認される遅刻・欠席の回数は、前期で3回、後期で3回。遅刻は欠席の扱いですが、授業に参加することを許します。成績は前期・後期の試験の結果と授業への参加の姿勢を総合して判定します。

(注意：教科書は市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます)



◦ E223 (前期) 助教授 津 曲 敏 郎

P. Evans et al. : *Great Events in Human History* (マクミランランゲージハウス ¥1,350)

近代ヨーロッパの文化史上の重要なできごとを取り上げたエッセイを読む。大航海時代に始まって、近代科学の誕生、産業革命、啓蒙思想を経て、コミュニケーション革命、そして最先端の生命科学に至る近代文明の流れをつかむことができよう。欠席は理由の如何を問わず回数に応じて評点の際、減点される。遅刻や予習不足、授業への実質的不参加も欠席に準じる扱いとなる。

◦ E223 (後期) 助教授 下 村 五三夫

教科書 *The Power of Myth* (J. Cambell/B. Moyers 著) Macmillan Language House 刊 1,340円

本テキストは、神話の構造とそれが内包する意味を現代の諸科学の視点から考察したものです。学生諸君は原則として遅刻と欠席が許されません。容認される遅刻・欠席の回数は、前期で3回、後期で3回。遅刻は欠席の扱いですが、授業に参加することを許します。成績は前期・後期の試験の結果と授業への参加の姿勢を総合して判定します。

(注意：教科書は市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます)

◦ E224 助教授 津 曲 敏 郎

I. Asimov : *The Robot As Enemy? and Other Science Essays* (金星堂 ¥1,450)

ロボットと人工頭脳をはじめ、身のまわりのさまざまな発見と発明、さらに生命科学から宇宙理論まで、広く科学に題材を取ったエッセイを読む。欠席は理由の如何を問わず回数に応じて評点の際、減点される。遅刻や予習不足、授業への実質的不参加も欠席に準じる扱いとなる。

◦ E225 助教授 山 本 久 雄

テキスト : *Words Words Words* by Constance M. Matthews (金星堂)

本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。

◦ E226 非常勤講師 浪 田 克之介  
(北海道大学教授)

基礎的な読解力とテープによる聴解力の養成を中心とする。

テキスト : 『英語総合演習』 (郁文堂)

◦ E227 非常勤講師 根 本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

テキスト : W. U. Solberg, *A HISTORY OF AMERICAN THOUGHT AND CULTURE* (金星堂)

授業の進め方については開講時に説明します。授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は、単位認定の資格を失なう。遅刻は欠席扱いとします。

◦ E228 非常勤講師 根 本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

前期テキスト : D. Lacy and J. Stage, *THE BIRTH OF AMERICA* (金星堂)

後期テキスト : 未定

授業の進め方については開講時に説明します。授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は、単位認定の資格を失なう。遅刻は欠席扱いとします。

◦ E229 非常勤講師 下 宮 英 治  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

情報伝達の技術の高度化が進む中で、自分自身の意見を持ち、判断を下し、またそれを表現することが非常に重要になってきている。質的に秀れた社会をつくり出して行くためには、このような能力を身につけた社会の成員がどうしても必要なのである。

この点から考えると、英語文化圏に属する人々から学ぶべきことが多い。問題を分析して論点を明らかにし、具体的な資料に当て吟味しながら、自分の立場を構築して行く。それらの過程を、英文講読の作業を通して要約しながら進めて行くことにしたい。

テキスト : *That's Your Opinion—Revised Edition—* (Asahi press)

◦ E230 非常勤講師 下 宮 英 治  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

今われわれにとって母なる大地が荒れ、地球環境全体の汚染が進行しつつあると言う。どこでどのような破壊が起りつつあるのか、いわゆるエコロジーにかかわる20のトピックを中心に英語演習を行う。内容理解とともに、skillsの向上を目標にするので、積極的な授業参加を望みたい。

テキスト : *Our Planet In Danger* (マクラミン・ランゲージ・ハウス)

◦ E231 非常勤講師 鈴 木 良 克  
◦ E232 (小樽女子短期大学教授)

Lucy R. Garretson : *American Culture—An Anthropological Perspective—*  
(開文社 ¥1,133)



◦ E233

非常勤講師 坪谷 雍子

Text : Hall Edward T. *Hidden Differences (Double day)*  
The best writing of Hall will explore your rapid and creative reading. Class attendance is "must". You will be graded by your class attendance and weekly report.

◦ E234

非常勤講師 坪谷 雍子

Text : Hall Edward T. *Hidden Dementia (Double day)*  
Read, study, and enjoy the best writing of Hall. This course will also explore your rapid and creative reading. Class attendance is "must". Your grade will be damaged by excessive absence from class and by your poor weekly reports.

英語 III

◦ E301

教授 永原 和夫

F. Scott Fitzgerald, *The Great Gatsby* (Eichosha-Penguin)  
アメリカ1920年代を代表する名作の講読。とくに難解な英語ではないので速読に努める。よく予習すること、欠席をしないことが履修の条件である。

◦ E302

教授 豊国 孝

D. H. Lawrence : *England, My England* (Penguin Books)  
イギリスの小説家D.H.ロレンスの短篇小説を読む。  
3/5以上出席しない者は受験資格を失なう。

◦ E303

助教授 杉村 泰教

Joseph Conrad, *Heart of Darkness* (Penguin)  
英国の小説家コンラッドの代表的な作品を読む。3/5以上出席しない者は受験資格を失なう。  
遅刻は原則として認めない。

◦ E304

(前期) 非常勤講師 伊藤 義生  
(藤女子大学教授)

現時点ではテキストは未定であるが、米小説を読む。毎授業時、分担発表が課せられる。予習と授業時での質疑応答は必須となる。出席率は評価に決定的に影響する。詳細については開講時に説明する。

◦ E304

(後期) 非常勤講師 布施 英憲  
(藤女子大学教授)

テキスト : 田所稔編『THE HAPPY PRINCE & OTHER STORIES』太陽社

- (1) Oscar Wildeの短篇小説をゆっくり丁寧に読む。
- (2) 英語らしい生きた口語表現形式の理解と習得につとめる(120題)。
- (3) TOEFLのテープを使用して、英語聴解力について理解を深める。
- (4) 英語のreadingと語彙・イディオムの習得を重視する。
- (5) 冬期休暇中に自学自習してもらう課題もあります。

◦ E305

非常勤講師 宮町 誠一  
(小樽女子短期大学助教授)

現代イギリスの詩人11人の代表的な作品を巻末の「大意」を参考にしつつ、鑑賞し、続いてそれぞれの詩について書かれた評論を精読したい。評論で得た知識を生かして再度詩を読み、その理解を深め自分なりの解釈を構築してもらいたい。

必要に応じて個々の詩人に関する情報をプリントで提供する。出席を重視し、毎時間英和辞典あるいは英英辞典必携。

テキスト George Hughes, *Contemporary British Poetry* 英宝社

◦ E321

教授 菊池 昭

Erich Fromm, *Dream Interpretation* (英宝社 ¥1,090)  
社会心理学者として著名なFrommの著作から、夢の解釈の「歴史」と「解釈の実例」の2章について読む。欠席をしないことが必要条件。7回以上欠席した者の成績評価はしない。遅刻は欠席と同じ扱い。

◦ E322

助教授 下村 五三夫

教科書 *On Photography* (S. Sontag 著) 英宝社刊 1,102円  
学生諸君は原則として遅刻と欠席が許されません。容認される遅刻・欠席の回数は、前期で3回、後期で3回。遅刻は欠席の扱いですが、授業に参加することを許します。成績は前期・後期の試験の結果と授業への参加の姿勢を総合して判定します。  
(注意：教科書は市内「紀伊国屋書店」でのみ入手できます)

◦ E323

助教授 山本 久雄

テキスト : *American and English Ideals* by Carl Becker (英宝社)  
本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。



・E324

助教授 津 曲 敏 郎

*Crisis of Our Earth: Reading TIME* (桐原書店 ¥1,340)

TIME誌に掲載された、地球環境をめぐるさまざまな問題を論じたエッセイを読む。欠席は理由の如何を問わず回数に応じて評点の際、減点される。遅刻や予習不足、授業への実質的不参加も欠席に準じる扱いとなる。

・E325

外国人教師 Michael Carr

Jones & Kimbrough, *Great Ideas*, (Cambridge University Press)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly tests in the language laboratory.

・E326

非常勤講師 浪 田 克之介  
(北海道大学教授)

新聞、雑誌、放送等の英語を材料として読解力と聴解力を身に付けることを目的とする。

テキスト：*Understanding English Newspapers* (桐原書店)

*Broadcasting English 21 Approaches* (北星堂)

## ドイツ語 I

I A (火曜日)

非常勤講師 Slivensky Susanna Karoline

教科書：ドイツ語コミュニケーション von A bis Z (木村英二他著、三修社)

I A (木曜日)

助教授 鈴木 将 史

教科書：ドイツ語コミュニケーション von A bis Z (木村英二他著、三修社)

ドイツ人教師とペアを組む会話修得クラスです。今年度から小樽商大は初習外国語が週3コマとなり、外国語教育により重点を置いたカリキュラムを組みますが、その精神を最も反映すべきものがこのクラスであるといえましょう。従ってこのクラスでは、会話力のみならず、読み書きも含めたトータルな意味でのドイツ語の基礎を学びます。意欲的な学生を伸ばすのがこの授業の眼目でもあるので、あやふやな気持ちでドイツ語を始める人にはお勧めできません。教科書は火曜日と共通しており、木曜日には主に文法知識の習得と基本的練習火曜日にはそこから自由に発展した応用練習を行ないます。出席状況及び授業態度も平常点として評価されます。語学の世界は1年程かじった程度では底が見えぬ程深いものですが、やればやっただけ力となります。要領は余り重要ではありませんし、頼りにもなりません。不器用でもねばり強く、地道な努力を厭わぬ学生をこのクラスでは歓迎します。なおこのクラスの許容人数は最大30名です。履修希望者は必ず教務係に申し込んで下さい。II Aとの同時履修は認められません。

I B (火曜日)

助教授 大 塚 讓

テキスト：「コミュニケーションのためのドイツ語」(関口一郎著、三修社刊 ¥1,700)

実際に口を使って話してみる練習を中心とした授業です。第一回目に授業の進め方、試験成績その他について詳しく説明しますので、必ず出席して下さい。

I B (木曜日)

非常勤講師 吉 岡 義 彦  
(北海道大学助教授)

教科書：プリント

文法を通してドイツ語の基本構造をつかみ、あわせて最少限のボキャブラリーを身につけるための練習をしていきます。外国語、特に文法は結構おもしろいパズルになります。楽しみながらやりましょう。教室での練習がポイントなので、出席を重視します。特に最初の方が肝腎です。

I C (火曜日)

助教授 鈴木 将 史

教科書：文法はたのしい(橋 好碩著、朝日出版社)

基本的な文法を習得することに重点を置きつつ、ある程度の応用力養成にも注意を払った教科書です。語学テキストというのは不思議なもので、本の中に川にも似た流れがあります。



そして最初の流れに確実に乗ると、後はそれほど苦もなく流れに乗ってゆけるものです。流れは次第に早く、波は高くなります。最初から乗って下っている分にはこの変化も余り身にこたえませんが、途中から川を下ろうとしても流れが激しくなり過ぎていて、結局川上まで戻らねばなりません。要は初めが肝腎ということです。ドイツ語文法がたのしいかどうか保証の限りではありませんが、ひとつ川を下り切り、ドイツ語世界の大海原を目指しましょう。

I C (木曜日) 非常勤講師 神竹道士  
(北海道大学助教授)

教科書：「純・初級ドイツ文法」大岩信太郎著（同学社，¥1,340）

ドイツ語文法がコンパクトに分かりやすくまとめられた好テキストです。毎回練習問題(10～15題位)を学生諸君にやってもらいますので、必ず授業の予習をして下さい。出席を非常に重視します。

I D (火曜日) 非常勤講師 瀬尾慎一

教科書：松本/斎藤著「シンプルなドイツ文法」(同学社，¥1,320)

文法の基礎を確実に習得するのが本講の目標です。そのために毎回豊富な練習問題をこなしてもらいます。この積み重ねが肝腎です。最初の講義時に辞書、参考書等の説明をします。

I D (木曜日) 助教授 大塚 譲

テキスト：「言ってみよう、話してみようードイツ語文法読本」(橋本 孝・近藤 弘・Gevlinde kobayashi 共著，三修社刊，¥1,600円)

実際に口を使って話してみる練習を中心とした授業です。第一回目に授業の進め方，試験成績その他について詳しく説明しますので，必ず出席して下さい。

I E (火曜日) 非常勤講師 加納邦光  
(北海道大学教授)

教科書：「ドイツの一年」(宮原・ヤコブス著，郁文堂 ¥1,648円)

易しいドイツ語文を読みながら，ドイツ語を勉強していきます。本文の予習や練習問題をして，授業に出るようして下さい。文法の説明は必要に応じて行います。出席は毎回とります。出席が非常に悪い学生は，試験を受けても合格点は出しません。試験は前期・後期の定期試験期間内に行います。

I E (木曜日) (前期) 非常勤講師 神久聡  
(北海道薬科大学助教授)

教科書：文法ルート66(大島・吉田著)同学社

基本的な文法を理解することに重点を置きます。あまり堅苦しく考えず，大いに間違っ

みましょう。ただし，間違いを直して覚える努力が大切です。音読，聞き取りに時間をさきま  
す。出席を重視します。

I 1 (水曜日) (前期) 教授 中川 勇 治

用書：「アクチュアル・ドイツ語〔改訂版〕」(小塩 節著，三修社)

I 2 (水曜日) 助教授 大塚 譲

現代ドイツの日常的な生活習慣から社会的・政治的な諸問題にわたる重要事項と出会うことがこの授業の狙いです。従って，こちらから知識を与えるばかりではなく，やさしいドイツ語で書かれたテキストや日本語で書かれたテキストをもとに研究・報告してもらうことも重要な作業となります。第一回目に授業の進め方，その他必要事項について説明・相談をしなければならぬので，必ず出席して下さい。

I 3 (水曜日) 助教授 鈴木 将 史

教科書：楽しくドイツ語を！(関口一郎著，郁文堂)

易しい文法読本です。この授業ではドイツ語の文章構造を学ぶことは勿論ですが，特に「耳」を鍛えることに重点を置き，できるだけテープレコーダーに耳を傾けるように努めます。当然正しい発音を身に付けることも，もうひとつの目標となります。来年の2月頃に，“ein”を「エイン」と読んでいるようでは合格はおぼつきません。音読は，やはり依然として外国語の最も有効な学習方法のひとつです。

## ドイツ語 II

II A (火曜日) 非常勤講師 Slivensky Susanna Karoline

教科書：プリント

ビデオ教材を中心にドイツ語会話の応用練習を行います。できるだけ木曜日の授業と関連した内容にするつもりです。

II A (木曜日) 助教授 大塚 譲

このクラスの火曜日の授業(スリベンスキー先生担当)と連携する形で勉強してゆきます。テキストは特に指定せず適宜プリントを配布します。言葉そのものの勉強に留まらず，現代ドイツ・ヨーロッパのかかえる社会的・政治的諸問題について一緒に考え，話し合う機会をも持ちたいと思います。初回に必要な事項を説明いたしますので必ず出席して下さい。



II B (火曜日)

助教授 大塚 讓

テキスト：「独作文の基礎—「て・に・を・は」の訳し方」(福田幸夫著，同学社刊)  
¥780円)

ドイツ語と日本語の「発想」の相違を考えるとという立場から，文法の復習をも兼ねてドイツ文作成の練習をします。また折に触れて，現代ドイツ・ヨーロッパの社会的・政治的諸問題を紹介し，言葉の背景を共に考える機会を持ちたいと思います。この関連で時々ごくやさしい時事ドイツ語のテキストを配布します。初回に必要な事項を説明いたしますので必ず出席して下さい。

II B (木曜日)

非常勤講師 吉岡 義彦  
(北海道大学助教授)

教科書：プリント

まず，文法知識をどう読解にうまく利用していくか，まずその練習から入り，次第に内容のあるものを読み進んでいきたいと思ひます。

II C (火曜日)

教授 中川 勇治

用書：「まだらの小犬」(佃，佐々木編，東洋出版)

II C (木曜日)

非常勤講師 神竹 道士  
(北海道大学助教授)

教科書：「中級へのステップアップ」神竹道士編著(白水社 ¥1,300円)

中級の読み物に入る前にドイツ語構文の特徴に徹底的に馴れることを目的としたテキストです。本テキスト終了後はプリントを配布し，多少難解と思われる内容のものにもチャレンジする予定です。出席を非常に重視します。

II D (火曜日)

非常勤講師 瀬尾 慎一

まずグリースバハ編の「ドイツ民話集(1)」(三修社，¥773)を読みます。必要に応じて1年次で学んだ文法の復習もします。またドイツの歴史と文化についても解説したいと思います。

II D (木曜日)

(前期)非常勤講師 神 久 聡  
(北海道薬科大学助教授)

教科書：一年次の文法(吉岡先生使用)を引続いて使用します。

一年次に終了できなかった文法を最後まで終え，ドイツ語の構造が把握できる様にします。合せて，簡単な読み物を用意します。まずはドイツ語文に慣れ，「音」を聞いて理解するこ

とにも挑戦してみましょう。

II E (火曜日)

非常勤講師 加納 邦光  
(北海道大学教授)

教科書：「大学2年生の文法読本」(松本嘉久著，同学社 ¥1,236円)

ドイツの若者についてのドイツ語文を読みながら，文法の復習も行ないます。本文を読み練習問題をして，授業に出るようして下さい。出席は毎回とります。出席が非常に悪い学生は，試験を受けても合格点は出しません。試験は前期・後期の定期試験期間内に行います。

II E (木曜日)

助教授 鈴木 将史

教科書：伝染病の歴史とエイズ(白水社)

1980年代に入り，欧米社会は迫り来るエイズの恐怖に震え上がった。そして現在我々日本人にもこの「世紀末」的伝染病は，対岸の火事ではなくなってきている。既にマスコミの報道が，スクランダルよろしく連日新聞・雑誌・テレビを賑わしているが，この授業ではドイツ語という馴染みの薄い媒体を通して，伝染病としてのエイズの一側面をゆっくりと，しかしそれだからこそじっくりと探ってゆきたい。テキストは，専門用語が頻出するやや難解なものだが，それらの単語や難しい構文には適宜に注を与えつつ，何とか結末まで読了することができれば，この授業が単なる語学講読に終わることがないものと確信する。



## フランス語 I

- I 1 (水曜日) 講師 尾形 弘 人  
用書:「1年間でフランス語を」平賀・松田著(白水社, ¥1,700)
- I 2 (水曜日) 助教授 高 橋 純  
用書:「初歩のフランス語文法(二訂版)」鈴木道彦著(朝日出版, ¥1,030)
- I 3 (水曜日) 助教授 江 口 修  
用書:「フランス文法要説」石井洋二郎著(朝日出版, ¥1,400)
- I A (火曜日) 非常勤講師 梶 野 吉 郎  
(北海道大学教授)  
用書:「微笑み, フランセ」山村嘉巳代表編集(朝日出版, ¥1,700)
- I A (木曜日) 助教授 江 口 修  
用書:「会話から日記まで」大木・伊藤他著(富岳書房, ¥1,339)
- I B (火曜日) 助教授 江 口 修  
用書:「初歩のテーマ」石井晴一著(三修社, ¥1,500)
- I B (木曜日) 講師 尾形 弘 人  
用書:「パリのどこかで」山崎・照木他著(第三書房, ¥1,700)
- I C (火曜日) 講師 尾形 弘 人  
用書:「ポケットにフランス語」滑川・前川共著(第三書房, ¥1,700)
- I C (木曜日) 助教授 高 橋 純  
用書:「初級読本 美しい旅」林田・土田共著(朝日出版, ¥1,800)
- I D (火曜日) 助教授 高 橋 純  
用書:「丸山フランス語文法読本」丸山圭三郎著(早美出版, ¥1,400)
- I D (木曜日) 非常勤講師 ブリュノ・デュボワ  
L.L.:視聴覚教材を用い簡単な会話・発音練習。テキストは《Nouveau Sans Frontières》です。言語表現は社会的行動様式と結びついたものであるから、学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも一冊は読むこと。なお、クラスでは学生諸君の活発

な参加により、楽しい実用的小会話、場面設定による会話構文訓練を行なう。宿題を課すので必ずやって来ること。また授業の準備を必ずやること。

## フランス語 II

- II A (火曜日) 非常勤講師 梶 野 吉 郎  
(北海道大学教授)  
当分の間、前年度 I A で用いた教科書を続ける。
- II A (木曜日) 助教授 高 橋 純  
用書:「フランス革命と科学者たち」加藤行雄著(第三書房, ¥1,200)
- II B (火曜日) 助教授 高 橋 純  
用書:「フランスとフランス人」(改訂版)天野恒雄著(白水社, ¥1,300)
- II B (木曜日) 助教授 江 口 修  
用書:「社会科学のフランス語入門」尾上貞五郎編(青山社, ¥875)
- II C (火曜日) 助教授 江 口 修  
用書:「基本動詞によるやさしいテーマ」青井 明著(白水社, ¥1,400)
- II C (木曜日) 非常勤講師 ブリュノ・デュボワ  
L.L.:教材は《Nouveau Sans Frontière》。言語の問題意識の自覚と敏感な感覚を養うために、学生諸君はフランス語の機能を理解し、生きた会話による言語表現のよりよい展開に努力すること。家庭学習においてはカセットの利用などにより発音に慣れるように。宿題を課すので必ずやって来ること。授業の準備も必ずすること。  
学生はただクラスを聞きに来るのではなく、参加するのです。

## 中国語 I

助教授 木之内 誠

日本社会の「国際化」が声高に叫ばれて久しい今日でも、アジアの国々は私たちにとってやはり近くて遠い国であり続けているようだ。金とモノの動きだけでない、人と人との自然なつきあいを深めていくには、何をおいても互いの言葉に通ずることが一番だろう。

これからの普通の日本人の普通の教養として、アジアの言葉になじんでもらいたい。この時間では、「音」としての中国語を少しでも早く自分のものにするよう、まずは「耳と口」のトレーニングを積み重ねて行くことにしよう。



教科書：「中国語シンフォニー」藤重典子他著（朝日出版社）

辞書：岩波中国語辞典（岩波書店），簡約現代中国語辞典（光生館），標準中国語辞典（白帝社）などが初・中級段階用として推薦できる。詳しくは授業開始時に説明する。

教材の録音テープ，中国映画ビデオなど各種の視聴覚素材が，L.L. 教室に備えられているので，各自十分活用してもらいたい。

## 中国語Ⅱ

助教授 木之内 誠

中国語Ⅱでは，これまでに学んだ基本的な文法事項を復習整理しながら，言葉を通じて現代中国の社会・文化への接近，理解を進めていくことを狙いとして，このテキストを選んだ。二年次では辞書を引く手間を惜しまず，辞書に慣れ親しんでもらいたい。

教科書：「ことばの旅」日下恒夫・石汝傑著（好文出版）

中国語Ⅰの単位を取得していない場合は，中国語Ⅱの受講は認められない。

## 中国語Ⅰ

助教授 裴 崢

教科書：「例文中心 初級中国語」牧田英二・楊立明著（同学社）

初級段階で必要と思われる文型表現を学ぶことによって，中国語の発音，声調を正しく把握し，基礎的な文法を理解し，中国語の構造や流れに親しませるように計ります。

また本文の日常会話の部分や言い回しも熟読し，特に話すことに力を注ぎます。

## 中国語Ⅱ

助教授 裴 崢

教科書：「白水社中国語読本 中級編」張乃方・長谷川寛共著

中国語Ⅱでは，比較的長い，まとまった文章を読むことによって，これまでに学んだ基本的な文法事項を復習整理しながら，中国語の読解力と応用力を強化する一方，中国人の生活や文化の理解を深めます。

## 中国語Ⅰ

非常勤講師 陳 焯

中国語の基礎は発音である。正しい発音とその表記符号である拼音（ローマ字）の習得を中心に学びます。同時に最小限必要な文法を教えながら，簡単な日常会話ができるように授業を行う。

テキスト：『語法ルール66』相原 茂，玄宜青（共著）朝日出版社

## 中国語Ⅱ

非常勤講師 陳 焯

テキスト：『語法ルール66』相原 茂，玄宜青（共著）朝日出版社

## スペイン語Ⅰ

助教授 山田 真史

スペイン語の文法，読解，会話の基本を学びます。

授業の進め方，テキスト，辞書など詳しいことは最初の授業で話します。辞書は指示のあるまで購入する必要はありません。授業時間数の1/3を越える欠席がある場合は，受験資格がありません。なお他の外国語で単位をとれなかった学生のこの授業への志望変更は認めていません。授業への準備が絶対に必要です。ちゃんとついてくれば，スペイン語のⅡのおわる頃にはスペインの新聞，雑誌は読めるようになります。

なおついでに，ことばは，詩人や言語学者など一部の人々をのぞけば「目的」ではなく，あくまでもコミュニケーションのための「手段」にすぎませんが，習得を目指しているあいだは当面の「目的」となります。また逆説的に響くかもしれませんが，母国語が上手にならない限り，外国語は上達しません。母国語すなわち日本語をじっくり観察してください。

## スペイン語Ⅱ

助教授 山田 真史

スペイン語の「読解」と「表現」について学びます。授業の進め方，テキストなど詳しいことは，最初の授業で話します。授業時間数の1/3を越える欠席がある場合は，受験資格がありません。スペイン語Ⅰの単位をとれなかった学生はこの授業に出席できません。授業への準備が絶対に必要です。

## ロシア語Ⅰ

講師 匹田 剛

ロシア語の基礎的な文法，発音を学びます。

授業は「ロシア語16課（16 УРОКОВ РУССКОГО ЯЗЫКА 新田 実著，白水社）」を中心としてすすめますので，各自入手しておいて下さい。この教科書を補うものが必要となった場合にはこちらからそのつどプリントとして配布します。

教科書として各自入手することを義務づけるわけではありませんが，以下の2冊をロシア語への簡単なイントロダクションとして紹介しておきます。

「はじめてのロシア語」中澤英彦著，講談社現代新書

「ロシア語のすすめ」東郷正延著，講談社現代新書

また，文法，発音の学習と並行して基礎的な会話表現の学習も行う予定です。

ロシア語は学習の初歩が苦しい言語です。しばしば見られる中途挫折者もほとんどがこの段階でのものです。見慢れぬ文字をはじめ，名詞や動詞の変化などの初学者がぶつかる壁をがんばって乗り越えていこうという強い意欲を持った人の参加を求めます。

## ロシア語Ⅱ

講師 匹田 剛

昨年度ロシア語Ⅰで学んだ文法事項を復習しながら，簡単な読み物を読みすすめていきま



す。テキストは昨年度の授業で用いた「ロシア語16課」のp. 86からスタートし、それが終わり次第、次のテキストを教室で指定または配布します。また、テキスト読解に並行させて発音と簡単な会話練習も行っていく予定です。

### 3 保健体育科目

保健体育理論A・B（前期）

教授 浅沼義英

大学生活やこれからの長い人生を健康で充実して過ごしてゆくには、長期的にみた“体力”と“実践力”の養成が必要である。この体力とは、体が壮健であるだけでなく、同時に精神の強さと安定性を培って、活動力と創造性を高めてゆくことである。現代人の健康を脅かす原因は広い目でみると、生活習慣の誤り、社会生活環境の変化、自然環境の悪化などにある。病気を予防するためには、医学的な知識やその実践はひじょうに有効であるが、これだけではなく、積極的に健康の増進を図ってゆくライフスタイルがこれからは大切になってくる。このような状況と対策についてじっくりと考えてゆくには、大学時代が最もふさわしい。そこで、保健の基礎的な事項として次のような内容を取りあげる。

- 予防医学の一般的な知識。成人病の青年期からの予防。
- 食物と栄養の重要性。現代における問題点。
- 生活のリズムと青年期の精神衛生。
- アルコール飲用の理解。タバコなどの習慣性の薬物。
- 新たな感染症、公害、汚染などによる現代の病気。
- 運動を中心にした能動的な健康増進法。

各講義で小感想文を書いていただきます。出席は成績の評価に加味されます。

なお、クラス分けは原則として次のとおりに行います。

Aクラス：92001～92250

Bクラス：92251～最終番

保健体育理論A（前期）

助教授 花輪啓一

われわれ人類は、未だかつて経験したことのないめざましい社会変化の渦のなかで生活し、殆どの人は大なり小なり運動不足やストレスを感じている。また、職場の急速なOA化が進み、そこでも健康問題がクローズアップされてきている。

そこで、本講義では健康のための適度な運動とはどんな身体活動なのかを焦点に、身体活動することによって起きている体内の様々な変化及びその障害等について運動生理学、スポーツ科学、バイオメカニクスの視点から簡単な実験を交えて、スライド、OHPなどの視聴覚機器を使用しながら論ずる。また、現在さまざまな職場で起きている健康問題についても時間がゆるすかぎり労働衛生及び人間工学的な視点から論じる予定である。特に指定図書はない。

履修対象者：92001～92250

保健体育理論B（前期）

助教授 中川喜直

スポーツ生理学、医学を中心に健康と運動の関わりについて論じ、健康増進の一助となる



ような授業を展開する。内容について、以下に示す。

- \* 体のしくみ
- \* 運動とエネルギー
- \* 運動不足とトレーニング — 生理学的アプローチ
- \* 運動による神経筋への影響
- \* 栄養と身体組成

履修対象者：92251～最終番

### 体育講義 A・B (後期)

教授 浅沼義英

大学生生活やこれからの長い人生を健康で充実して過ごしてゆくには、長期的にみた“体力”と“実践力”の養成が必要である。この体力とは、体が壮健であるだけでなく、同時に精神の強さと安定性を培って、活動力と創造性を高めてゆくことである。現代人の健康を脅かす原因は広い目でみると、生活習慣の誤り、社会生活環境の変化、自然環境の悪化などにある。病気を予防するためには、医学的な知識やその実践はひじょうに有効であるが、これだけではなく、積極的に健康の増進を図ってゆくライフスタイルがこれからは大切になってくる。このような状況と対策についてじっくりと考えてゆくには、大学時代が最もふさわしい。そこで、保健の基礎的な事項として次のような内容を取りあげる。

- 予防医学の一般的な知識。成人病の青年期からの予防。
- 食物と栄養の重要性。現代における問題点。
- 生活のリズムと青年期の精神衛生。
- アルコール飲用の理解。タバコなどの習慣性の薬物。
- 新たな感染症、公害、汚染などによる現代の病気。
- 運動を中心にした能動的な健康増進法。

各講義で小感想文を書いていただきます。出席は成績の評価に加味されます。

なお、クラス分けは原則として次のとおりに行います。

Aクラス：\*\*001～\*\*200

Bクラス：\*\*201～\*\*最終番

### 体育講義 A (後期)

助教授 花輪啓一

われわれ人類は、未だかつて経験したことのないめざましい社会変化の渦のなかで生活し、殆どの人は大なり小なり運動不足やストレスを感じている。また、職場の急速なOA化が進み、そこでも健康問題がクローズアップされてきている。

そこで、本講義では健康のための適度な運動とはどんな身体活動なのかを焦点に、身体活動することによって起きている体内の様々な変化及びその障害等について運動生理学、スポーツ科学、バイオメカニクスの視点から簡単な実験を交えて、スライド、OHPなどの視聴覚機器を使用しながら論ずる。また、現在さまざまな職場で起きている健康問題についても時間がゆるすかぎり労働衛生及び人間工学的な視点から論じる予定である。特に指定図書は

ない。

履修対象者：\*\*001～\*\*200

### 体育講義 B (後期)

助教授 中川喜直

スポーツ生理学、医学を中心に健康と運動の関わりについて論じ、健康増進の一助となるような授業を展開する。内容について、以下に示す。

- \* 体のしくみ
- \* 運動とエネルギー
- \* 運動不足とトレーニング — 生理学的アプローチ
- \* 運動による神経筋への影響
- \* 栄養と身体組成

履修対象者：\*\*201～\*\*最終番

### 体育実技 I・II

教授 藤江正

教授 田野有一

助教授 花輪啓一

助教授 中川喜直

非常勤講師 杉山登

(小樽商科大学名誉教授)

#### 1. 履修方法について

- 体育実技は必修科目であり、各自は所定(決定)のクラス(時間)に出席しなければならない。1年次では毎週2時間(60時間…実技①, 実技②)、2年次では前期・後期のそれぞれ毎週2時間(30時間…実技③)のうち、いずれかを履修することになっている。
- 1年次、2年次ともに前期・後期それぞれ『種目別(コース別)クラス制』であり、履修途中でのクラス変更は認められない。時間割表に示される『体育実技』の各講時にはそれぞれ複数の『種目別(コース別)クラス』が開講される。
- 原則として、1年次前期の「実技①」で決定(履修)した曜日・講時は、後期の「実技②」においても同じ曜日・講時に限定(履修)される。但し、そのコマ内での種目選択は自由である。(例…前期→月曜日第1講時で「卓球コース」、後期→月曜日第1講時で「バドミントン・コース」…を選択・履修)
- 1年目の前期に開講される「実技①」で未了の判定(すなわち否)を受けた者は、1年目後期開講の「実技②」が「実技①」として履修することになる。このことは「実技②」「実技③」の履修についても同様であり、「実技①, ②, ③」のすべてが履修→合格認定…を経なければ『体育実技の単位』は取得できない。

#### 2. 共通実施種目について

- 全クラス共通に、オリエンテーション・体力診断テスト・水泳・スキーが実施される。



- 夏期休業中に実施される「水泳集中授業」、冬期休業中に実施される「スキー集中授業」は、『種目別（コース別）クラス』が解体され、各自がいずれかを選択し、履修（種目）決定ののち、班別（技能別）指導体制で実施される。

\* 「水泳」、 「スキー」とも各自、単日（終日）集中授業形式で実施される

\* 「水泳」…『本学：室内（温水）プール』にて実施、夜間主コース合併  
4班(技能別)指導体制で実施する

★実施予定日…8/25・27・28・31の4日間（…の内、1日）

\* 「スキー」…『キロロ：スキー場（予定）』にて実施、夜間主コース合併  
7班(技能別)指導体制で実施する（非常勤講師3名が加わる）

★実施予定日…12/24・25・1/7・8の4日間（…の内、1日）

### 3. 種目別（コース別）クラス・担当教官

#### ◆1年次…前期、後期とも履修

（\*レク…レクリエーション，ソフト…ソフトボール，トラン…トランポリン，軽スポ…軽スポーツ，スポト…スポーツ・トレーニング）

- 月曜日第1講時…1aコース(前期…卓球) \*2aコース(後期…卓球) 担当教官…藤江  
I Aクラス 1b " (前期…ソフト) \*2b " (後期…羽球) 担当教官…田野  
1c " (前期…レク) \*2c " (後期…レク) 担当教官…花輪
- 月曜日第2講時…1aコース(前期…卓球) \*2aコース(後期…卓球) 担当教官…藤江  
I Bクラス 1b " (前期…ソフト) \*2b " (後期…羽球) 担当教官…田野  
1c " (前期…羽球) \*2c " (後期…バレー) 担当教官…杉山
- 水曜日第1講時…1aコース(前期…トラン) \*2aコース(後期…スポト) 担当教官…田野  
I Cクラス 1b " (前期…テニス) \*2b " (後期…羽球) 担当教官…花輪  
1c " (前期…バレー) \*2c " (後期…バレー) 担当教官…中川
- 水曜日第2講時…1aコース(前期…トラン) \*2aコース(後期…スポト) 担当教官…田野  
I Dクラス 1b " (前期…テニス) \*2b " (後期…羽球) 担当教官…花輪  
1c " (前期…バレー) \*2c " (後期…バレー) 担当教官…中川
- 金曜日第1講時…1aコース(前期…スポト) \*2aコース(後期…卓球) 担当教官…藤江  
I Eクラス 1b " (前期…テニス) \*2b " (後期…軽スポ) 担当教官…中川  
1c " (前期…羽球) \*2c " (後期…バレー) 担当教官…杉山
- 金曜日第2講時…1aコース(前期…スポト) \*2aコース(後期…卓球) 担当教官…藤江  
I Fクラス 1b " (前期…テニス) \*2b " (後期…軽スポ) 担当教官…中川  
1c " (前期…羽球) \*2c " (後期…バレー) 担当教官…杉山

#### ◆2年次…前期・後期いずれかを履修

- 月曜日第3講時…1aコース (\*前期開講…卓球) 担当教官…藤江  
II Aクラス 1b " (\*前期開講…ソフト) 担当教官…田野  
1c " (\*前期開講…羽球) 担当教官…杉山
- 月曜日第3講時…2aコース (\*後期開講…卓球) 担当教官…藤江

II Bクラス 2bコース (\*後期開講…羽球) 担当教官…田野

2c " (\*後期開講…バレー) 担当教官…杉山

• 水曜日第3講時…1aコース (\*前期開講…トラン) 担当教官…田野

II Cクラス 1b " (\*前期開講…テニス) 担当教官…花輪

• 水曜日第3講時…2aコース (\*後期開講…羽球) 担当教官…田野

II Dクラス 2b " (\*後期開講…レク) 担当教官…花輪

• 金曜日第3講時…1aコース (\*前期開講…ソフト) 担当教官…藤江

II Eクラス 1b " (\*前期開講…羽球) 担当教官…杉山

• 金曜日第3講時…2aコース (\*後期開講…卓球) 担当教官…藤江

II Fクラス 2b " (\*後期開講…バレー) 担当教官…杉山

### 4. 体育実技履修カルテについて

- 履修にあたっては、教務係へ履修届とは別に、『体育実技履修カルテ』の提出が必要となる。このカルテには各人の写真（一葉）を貼付するので準備すること。履修クラス決定後は、クラス担当教官によって履修内容・履修状況・合否判定等が記載され、担当教官が捺印し、次期クラス担当教官へ引き継がれることとなる。

### 5. 受講内容調査について

- 毎講時、出欠・遅刻・早退・見学…等を調査する。総授業時数の3分の2以下の者は、評価対象からはずされるので注意すること。
- 身体上の理由により、1カ月以上（連続4回以上）にわたって受講できない場合は、医師の診断書の提出が必要となる。
- 見学を希望する場合には、授業開始前に、クラス担当教官へ申し出て許可を得ること。

### 6. その他

- 前記の『種目別（コース別）クラス』の決定の際には、それぞれの種目に応じた履修人数の上限枠が設定される。このことにより、クラス選択希望調査時には、必ず第1～第3希望まで記入すること（すなわち、場合によっては第2希望もしくは、第3希望で『種目別（コース別）クラス』が決定されることがある）。
- 本頁に記載されていない具体的事項については、オリエンテーション時に説明するので、必ず出席すること。オリエンテーション時の欠席による不利益については各自の責任となる。また、その他の諸連絡はすべて掲示によるので、充分注意されたい（1年生には、一日も早く大学生活に慣れることを望む）。



## 4 基礎教育科目

### 経済学概論 A

助教授 船津秀樹

経済学概論 A は平成 4 年度入学生の第 1 クラスから第 5 クラスまで、平成 3 年度以前入学生は学生番号 \*\* 001 から \*\* 300 までの学生を対象とする。

この講義では、近代経済学の基礎概念について解説し、その現実の現象への応用を説明するとともに、様々な経済問題に対する問題意識を深めることを目的とします。

0. 経済学とはどんな学問か？
1. ウィンブルドンのアダム・スミス
2. イギリス産業革命と『諸国民の富』
3. A. マーシャルの『経済学原理』と J. M. ケインズ
4. P. A. サミュエルソンの『経済学』と経済学の標準化
5. 国民所得とマクロ経済活動
6. 国際収支と所得分析
7. 物価と失業：フィリップス曲線をめぐって
8. 貨幣の役割と国際分業
9. 為替レートと国際収支の調整
10. 協調マクロ経済政策の重要性
11. 消費主権と消費者余剰
12. 部分均衡分析
13. 消費者行動の理論
14. ギャンブルと保険
15. 企業行動の理論
16. 独占企業と公正な経済取引
17. 産業組織と効率的資源配分
18. 外部不経済と環境問題
19. J. ミードの公正な経済と社会選択の理論
20. 平和な自由貿易福祉社会——新たな経済社会の理念を求めて——

参考文献は、講義でその都度紹介します。邦文テキストとしては、猪木・鶴田・藪下〔編〕「入門・経済学」（有斐閣，1990）を推せんします。

### 経済学概論 B

（前期）教授 今 喜 典

経済学概論 B は平成 4 年度入学生の第 6 クラスから第 11 クラスまで、平成 3 年度以前入学生は学生番号 \*\* 301 から最終番までの学生を対象とする。

今日の社会において、経済活動の重要性はかつてないほどに高まっています。世界中の国々が貿易、生産や資金などのネットワークで密接に結びついている様子はまさに「経済の時

代」というにふさわしい状況でしょう。現代日本は、明治以来の驚異的な経済成長によって社会の骨格が形作られてきました。世界の中でも“経済”が前面にとびだしている典型的な国といえるでしょう。

経済学はこのような現代の社会を知るうえで欠くことのできない学問分野です。このクラスでは、我が国の経済の現状にそくしながら、経済学的な見方のポイントを紹介して行きます。多くの経済学者がこれまで考えてきた知的な作業の蓄積は、皆さんがこれから現実を理解し、検討しようとするときに大変役立つことと思います。

ただ、幅広い専門に分化している今日の経済学の現状を包括的に述べることは時間的にも制約があります。ここでは、身近な日本経済についての知識を深めることを通じながら、現代経済学の考え方の基礎に触れるようにしたいと考えています。主に日本経済のマクロ的な特性に注目します。おおむね以下の内容で講義する予定です。

1. 日本の産業構造
2. 経済成長とその果実
3. 物価とインフレ
4. 財政と金融
5. 貿易の意味
6. 国際通貨
7. 景気の変動
8. 日本の企業

テキスト：日本経済新聞社（編）『ゼミナール日本経済入門（第二版）』日本経済新聞社

### 経済学概論 B

（後期）教授 栗田啓子

経済学が一国の経済の特性や世界的な経済の動きを理解するのに大変重要だということは、前期の講義を通じて、よくわかったと思います。しかし、経済学の役割はそれだけではありません。表面にあらわれる経済現象の背後には、わたしたち消費者や企業の経済活動が存在しています。そして、そのような個々の経済活動の意味や結果を分析するのも、経済学の重要な課題のひとつなのです。また、経済のあり方や経済活動が地球環境に及ぼす影響を考えるのも、経済学の領域に含まれます。このように、経済学は現代の社会に生きるわたしたち一人一人に密接に関連しているのです。

後期の講義では、まずわたしたちが現在経験している市場経済がどのように形成されてきたのかを概観したあとで、その市場経済の特徴と限界を明らかにしていきたいと考えています。つまり、前期で学んだことを視点を変えて見てみよう、というわけです。歴史的な背景とともに、現代経済のさまざまな問題点にもできるかぎり触れていきたいと考えています。

講義の内容は、以下のとおりです。

1. 市場経済の成立
2. 経済成長とはなにか—その成果と限界
3. 市場とはなにか—そのメカニズムと計画経済



4. 「市場の失敗」と「政府の失敗」
5. 貨幣とはなにか—その機能と影響力
6. 企業とはなにか—企業と社会

テキスト：日本経済新聞社(編)『ゼミナール日本経済入門(第二版)』日本経済新聞社

## 商学概論 A

(前期) 教授 片桐 誠 士  
 (中期) 教授 篠崎 恒 夫  
 (後期) 教授 渡辺 和 夫

### 受講資格と成績評価

商学概論 A は平成 4 年度入学生の第 1 クラスから第 5 クラスまで、平成 3 年度以前入学生は学生番号 \*\*001 から \*\*300 までの学生を対象とする。

なお、成績評価は 3 部門の成績の平均によって行う。

商業学科商学コースは大別して、商学・経営学・会計学の 3 部門より成り立っている。この 3 部門は歴史的・理論的に互いに、どのような関連性を有しているのだろうか。商学概論なる授業科目は、商学コースで準備されている 3 部門のうち、いずれを選んで主要研究対象にするかを決定する際の予備知識を与える任務をも背負っている。商学概論の役割はそれだけではない。現代資本主義の生成・発展の過程で、商学、経営学および会計学の各部門の学問体系がどのような必然性をもって生まれてきたり、発展せしめられて今日の姿なり体系を為すようになったかを解明するのが、むしろ本来の役割であろう。

時代の要請に応じて各部門はそれぞれが主となり従となって、お互いに影響しあいながら発展してきた事実を念頭におきながら部門別に以下の内容をもって概論を行うことにする。

### I 商学部門(4月14日～6月23日) 担当 片桐 誠士

自然発生的な分業を基礎とする社会では、経済発展にともない生産と消費の懸隔はますます拡大する。商業は、ともかく生産と消費の懸隔をうめ、需給調整機能を果たしてきたのである。資本制経済のもとでは、こうした流通機能を遂行するいくつかの流通活動が、それを専門的に遂行する専門業者として自立化する。すなわち、運送、保管、包装、保険、広告等々が、商業の分化として専門化し独自の部門を形成する。広義の商業の分化と純化が進展する。ひいては資本制経済の生成発展の過程で、広義の商学各部門の学問体系がいかなる必然性をもって生れてきたり、発展せしめられて今日の体系をなすようになったのかを明らかにする。

講義内容は、ほぼ次のようになるであろう。

1. 経済生活と商業 —交換ないし商品の流通の展開—
2. 商業学説
3. 資本制経済と商業
4. 商業の分化と純化

(参考文献は随時指示するが、講義はプリントを配布し、それにそって行なう)

### II 経営学部門(6月30日～11月10日) 担当 篠崎 恒夫

広い商業流通の中から種々の形で経営の営みが形成されると、そこに自ずから運動体としての法則性が生まれてくる。かかる運動体としての企業経営についての法則性を明らかにしようとするのが、経営学の課題である。

講義内容は以下のとおりである。

1. 企業経営の成立
2. 経営の指導原理
3. 経営形態の展開
4. 企業形態の発展
5. 経営管理の体系化

### III 会計学部門(11月17日～2月9日) 担当 渡辺 和夫

会計学というのは主として企業の経営状況を計数的に把握することと関わっている。計数的に把握するといっても、全てが会計の対象となるのではなく、通常、それらは複式簿記の原理にのっとっている必要がある。会計学は複式簿記という特殊な技術を基礎に成立しているのである。したがって、会計学の学習に複式簿記の理解は欠かすことができない。しかし、ここでは会計学の概要を知ってもらうことが目的であるから、複式簿記の技術的な側面はできるだけ避けたいと考えている。それよりもむしろ、会計の社会的な役割をしっかりと理解することが大切である。われわれの身近には会計情報が多く存在している。そうした会計情報がなぜ必要なのか、それらの限界はどこにあるのか、それらを活用するにはどうしたらよいか、といったことを的確に理解することが重要である。

## 商学概論 B

(前期) 教授 中 善 宏  
 (中期) 教授 小 田 福 男  
 (後期) 助教授 高宮城 朝 則

### (1) 受講資格

商学概論 B は、平成 4 年度入学生の第 6 クラスから第 11 クラスまで、平成 3 年度以前入学生は学生番号 \*\*301 から最終番までの学生を対象とする。

### (2) 講義内容

商学科は商学講座、経営学講座および会計学講座の 3 つの部門から成り立っている。これらの部門に共通する研究対象はなにかと言えば、それは生産・流通の主たる担い手としての企業である。企業は、経済活動の主要な主体として、社会に財やサービスを提供し、かつ国民経済と家計を支え、そして今日では世界的な広がりの中で活動している。



われわれの現実の生活においても、多くの人々は、またおそらく諸君の大部分も大学卒業後は、企業とのかかわりの中でその人生の大部分の時間を費やすであろう。それは、われわれの経済社会生活の中心に位置し、それゆえにまた科学的探求の対象として核心的な地位を占めている。

諸君が実際に企業を訪れ、そしてそこでみられる人々の行動を観察するとき、最初に持つ知覚はその多様性であろう。そこでは多くの人々が外見的には多岐にわたる、相互に関連性を持つとは思われないようなさまざまな行動をとっている。しかしながら、一見して無秩序に見えるそのような多様な行動は、組織における成員の行動の表面的な姿にすぎないのであって、根底においては、多くは一貫したなんらかの意図の下に組織目標の達成に結びつけられてなされているのである。

こうした企業の活動を総合的、科学的に理解するのに必要な基礎知識を教授することがこの講義の目的である。今年度は、下記の順序にしたがって、会計学部門ならびに経営学部門において現代企業の活動を現実的、具体的に理解した後、商学部門において商学の基礎概念とその具体的・歴史的展開、現代的意味を検討する。

なお、成績評価は3部門の成績の平均値によって行う。

#### I 会計学部門（4月～6月下旬） 担当 中 善宏

会計は、企業活動に関する計量的情報の主たる提供者である。企業外部に対しては、株主、債権者、その他の人々に対して情報を提供し、それらの人々の意思決定を援助することによって、一般的・社会的な観点から、間接的に資源の最適配分を可能にすることを目的としている。そして、企業内部においては、付託された資源の最適利用に役立つ情報を提供しようとする。前者は、財務会計と呼ばれ、後者は、管理会計と呼ばれている。本講では、これらの会計情報の処理プロセスとその利用に関して必要となる基本的な知識の伝達に努めるつもりである。講義に際しては、拙稿「会計学入門」を用いる予定である。以下にその章の構成を示しておく。

##### 目次

1. 企業会計
2. 財務諸表
3. 財務諸表分析
4. 期間損益計算
5. 管理会計
6. 管理会計情報と管理者行動

#### II 経営学部門（6月下旬～11月上旬） 担当 小田 福男

下記のテキストに基づいて、まず現代日本の企業経営において実際に生じている様々な事柄を理解する。そしてその経営学的意味を考える。

1. 新・日本的経営とは
2. グローバリゼーション
3. 新創業

4. 急増するM&A
5. トップの条件
6. 意思決定システム
7. 人材流動化
8. 良い会社とは

テキスト：日本経済新聞社編『テラスで読む日本の経営』（日本経済新聞社、1989年）

参考書：日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社、1990年）

#### III 商学部門（11月中旬～2月末） 担当 高宮城朝則

商学に関わる学科目は流通、マーケティング、貿易、保険、交通、証券、金融など、一見すると無関連に見えるほど多岐にわたっている。しかし、これらの根底には1つの共通した視座がある。それは財の社会的移動とそれに関わる人間行動を解明しようとするものである。

本講のこの部門では、商学の関連学科目を学習する上で必要な基礎知識として、まず財の社会的移動とその核心である取引について講述し、次に専門分化した各学科目の研究内容・方法・課題について、特に流通とマーケティングに焦点を当てて説明を行い、最後に商学研究の現代的課題について検討する。

講義の項目としては以下の事柄を予定している。なお、テキストと参考文献については追って指示する。

1. 商学の認識対象
2. 商学の研究系譜
3. 取引・交換の発生と史的展開
4. 取引の一般理論
5. 取引の特殊理論とその現代的課題
6. 商学研究の課題

#### 法 学 概 論

（前期）助教授 猪 股 弘 貴

テキストの前半に相当する部分を講義する。内容としては、1法とは何か、2法と裁判、3法の解釈、4法の分類、5国家と法、6犯罪と法、7国際社会と法である。できるだけ具体的なトピックをまじえて、わかりやすく話を進めていきたいと思っている。講義に出席するに際しては、法令集を必ず持参してきていただきたい。どのようなものが適当かは、講義の始めに指示することにする。

テキスト：伊藤正己・加藤一郎編『新版現代法学入門』有斐閣

#### 法 学 概 論

（後期）教 授 神 田 孝 夫

前期の講義をうけて、私法関係の問題を中心に講義します。

教科書は、前期と同。

六法全書は、必携とはいわないが、持った方がベター。



## 社会情報学概論

(前期) 教授 杉本英二

前期の講義の進め方について

前期の講義は、主に情報科学の分野について、杉本と中村の2人の教官で担当します。2つのクラス(A, B)の授業内容が同じになるように半分ずつ交代で講義します。従って、ここでの教授要目では2つのクラスとも杉本、中村の講義があります。

社会情報学概論A履修対象者：平成4年度入学生 第1クラスから第5クラスまで  
平成3年度以前入学生 学生番号\*\*001から\*\*300まで

社会情報学概論B履修対象者：平成4年度入学生 第6クラスから第11クラスまで  
平成3年度以前入学生 学生番号\*\*301から最終番まで

杉本の担当分野は、情報科学の基礎理論です。基礎理論と言うと一般には数学的で難しいのですが、その初歩を単純明快に講義します。テキストはありません。

- ・情報量
- ・通信符号と暗号
- ・オートマトンと認識
- ・数理言語学

どうしてこのような純理論的内容を講義するのかという理由を説明しましょう。まず大学では理論に導かれて学問するのだということを、大学1年生になったら理解してもらいたいこと。次に、コンピュータ科学は、キーボードを叩いていけばすむようなアホな学問だという一部の考えが誤解であることを理解してもらいたいということです。

それはともかく、どの項目も情報科学では最低限知ってもらいたい基礎的な概念です。これが分ればコンピュータの未来が分るようになる。

## 社会情報学概論

(前期) 助教授 中村隆志

本講義の内容は情報処理システムの入門である。

[主な講義予定]

- ・情報処理とコンピュータ
- ・コンピュータの仕組み(ハードウェア)
- ・ソフトウェア
- ・データ通信システム

[テキスト] なし(必要に応じて資料を配布する)

## 社会情報学概論

(後期) 教授 沼田久

現代社会は、複雑にからみ合い、相互に影響を及ぼし合う、様々な下部システムから成る大きなシステムです。企業や政府、地方自治体、学校、病院、スポーツチームなどは、社会を構成する下部システムであると同時に、それ自体がまた下部システムから成る上位システムと考えられます。

システムがシステムとしての整合性を保持するためには、情報の獲得・伝達・蓄積や処理や活用が円滑になされなければなりません。

システムが存立するためには、その performance の効率が良くなければなりません。そうでないと「努力」に比して「得るもの」が少なくなり、資源の無駄を生じ「採算」が合わず、崩壊してしまいます。

後期では、システムの performance を高めるための考え方やいくつかの手法を取り上げます。また、データから情報を得るための若干の手法にも触れる予定です。

教科書(後期)：沼田久『増訂 マネジメント・サイエンス』(富士書院, 1991)

## 数 学

教授 兼 岩 龍 二  
助教授 池 田 薫

数学の授業は下記のクラス編成により行われる。1年生のクラス所属は備考欄を見ること。2年生以上のクラス所属は自由である。

	クラス	前 期	後 期	コース	備 考
3 講 目	S 1	兼 岩	池 田	微 積 コ ー ス	学生番号92001~92250で3講目受講を希望するもの。
	S 2	池 田	兼 岩		学生番号92251~925**で3講目受講を希望するもの。
	S 3	兼 岩	池 田		4講目受講を希望するもの。
4 講 目	S R	池 田	兼 岩	微積・論理コース	微積・論理コースの受講を希望するもの。

### I. コース

#### (1) 微積コース(S1, S2, S3)

一変数及び多変数の微分積分を行う。

テキスト：II. テキスト紹介の(イ)

#### (2) 微積・論理コース(SR)

微積コースと同様の内容を手短かに前期で済ませ、後期は記号論理(形式論理)をあつかう。一般科学の方法ということになれば、勿論この方法—形式論理だけが方法という訳にはいかないが、この考え方は基本的であり、現代数学を支配していると言っても過言ではない。また近年、電算機の普及とともに多くの人口が否応無しにこの考え方に馴れざるを得なくなっている。そこで未来をにやう学生諸君の多く来らんことを期待する。後期は定期試験はせず、簡単なレポートのみとする。



テキスト：前期はⅡ，テキスト紹介の(イ)，後期は(ロ)

## Ⅱ. テキスト紹介

(イ) 解析入門 渡部隆一著 培風館

目次：1. 数列 2. 初等関数 3. 微分法 4. 積分法 5. 曲線と曲面  
6. 多変数の関数 7. 複素数とその関数

(ロ) 記号論理入門 前原昭二著 日本評論社

目次：1. 論理記号による命題の表現法 2. 演繹 3. 真理値  
4. トートロジー その他

## 5 専門教育科目

### 統計学

教授 遠藤 薫

データを見るということ，データから推測するという事について理解を深めることを目的とします。

講義内容：1. 記述統計（平均値，標準偏差，中位数，直線のあてはめ）  
2. 推測統計（確率分布，推定，検定）

参考書：森田優三『新統計概論』日本評論社，1974.

より入門的な書物については最初の授業のときに説明します。

### 数理統計学

助教授 西山 茂

統計的推測を中心に基礎となる数理を明らかにし，さらに各種手法の実際問題への適用について講義する。

講義内容は，確率モデルと確率変数，様々な分布型，標本統計最の分布，回帰分析・分散分析，推定論・検定論の基礎，ノンパラメトリック検定，適合度検定，多変量解析への導入辺りまでを扱う。

参考書：(1) 岩田暁一「経済分析のための統計的方法」東洋経済新報社

(2) 竹内 啓「数理統計学」東洋経済新報社

その他：

- (1) 講義は参考書の(1)に沿って行い，必要に応じて(2)の関連箇所に触れる。
- (2) 参考書(1)に詳しい解説のない事柄については適宜プリントを配付する。
- (3) 基礎となる数学的知識については必要に応じて補論するが，1年次の「数学」（微積分），2年次の「応用数学（代数）」は履修済みであることが望ましい。
- (4) 2年次の「統計学」を履修していることを前提として講義を進める。

### 経済統計学（後期）

教授 本間 正義

経済統計学の目的は経済理論と統計の双方を用いて現実の経済現象を分析することである。経済をマクロ的，ミクロ的にとらえる統計としてどのようなデータ存在し，どのように用いるのか，又どのような注意が必要か，などの統計的説明から出発し，経済学の理論がいかに統計的に実証され，また現実のデータ分析がいかに理論にフィードバックされてきたかについて講義する。

講義内容：経済変数と統計データ（センサスおよび各種公表統計データの解説）。

標本調査と全数調査（各種調査方法と問題点）。

日本経済の統計的把握（国民経済計算，産業連関表，就業構造と失業率，貿易構造などを通じて日本経済の動きを分析）。



経済理論と統計分析（消費関数，生産関数などの理論的実証的發展）。  
経済変数の予測（GNPの変動と予測，経済マクロモデルなど）。  
その他（地域分析，経済データの国際比較など）。

教科書：中村・新家・美添・豊田『経済統計入門』東大出版会。  
参考書：津村・淵脇・築林『社会統計入門』東大出版会。

### 経済原論 I (前期)

助教授 篠塚 友一

中級レベルのマクロ経済学について講義する。主要内容は以下のとおりである。

1. マクロ経済学とは何か。
2. 国民経済計算
3. 国民所得の決定と乗数分析
4. 国民所得と利率の同時的決定——IS・LM分析
5. 財政政策と金融政策
6. 総需要と総供給
7. 消費関数の理論
8. 投資関数の理論
9. 貨幣供給の理論
10. 貨幣需要の理論
11. インフレと失業
12. 経済成長理論

参考書：(1) 廣松毅/R. ドーンブッシュ/S. フィッシャー著『マクロ経済学 上・下』マグローヒル，1989  
(2) 荒憲治郎著『マクロ経済学講義』創文社，1985  
(3) R. J. ゴードン著，永井進訳『現代マクロエコノミクス 上・下』多賀出版，1991.

予備知識：「経済学概論」あるいはそれと同等の経済学の素養を前提として講義を進める。折にふれて，初等的な微分法を用いて分析がなされる。受講者は，必要に応じて適当な経済数学書を参照されたい。

### 経済原論 II (後期)

助教授 山本 賢司

この科目では，市場機構による資源配分を分析するミクロ（マイクロ）経済学（micro-economics）について，以下に示した主要内容を中級レベルで解説します。

1. 単純な部分均衡分析と比較静学
2. 消費者行動の理論
3. 企業行動の理論
4. 生産物市場における価格の決定
5. 生産要素市場における価格の決定

6. 不確実性のもとでの経済行動
7. 資産価格の決定
8. 一般均衡分析とその応用
9. 市場均衡と経済的厚生
10. 市場の失敗
11. 競争的均衡分析の限界——不完全競争の理論
12. 情報の経済分析——いくつかのトピックス

なお，講義内容と文献に関するより詳しい紹介を，開講時に配付する予定です。

教科書：西村和雄『ミクロ経済学入門』（東京：岩波書店，1986年）

成績評価：2回の試験と約6回のクイズの合計点によって，成績評価を行います。

注 意：「経済学概論」あるいはそれと同等程度の経済学の素養を前提として，講義を進める予定です。

### 経済学特別講義 I (Topics in Economics I) (前期)

教授 Dipankar Dasgupta

Medium of instruction : English

Course Outline :

The course is an introduction to elementary general equilibrium theory.

The traditional theory of consumer's demand assumes the prices of commodities as well as the consumer's money income to be exogenously specified. A major purpose of the theory of general equilibrium is to explain how these prices and incomes are in fact determined. This is done by allowing for a set of households or agents to come to the markets, not with fixed money incomes, but with fixed bundles or endowments of commodities. These are then exchanged against one another depending on the agent's tastes. The prices of the commodities are jointly determined in the process through the interaction of total demands and supplies prevailing simultaneously in *all* the markets constituting the economy.

These prices are usually referred to as the ones prevailing under a *general equilibrium* of exchange and the corresponding values of endowments as the agents' equilibrium incomes.

The next step consists in studying the manner in which the equilibrium magnitudes respond to changes in the demand and supply conditions characterizing the markets. This leads in particular to a discussion of the theories of stability of equilibrium, of comparative statics and of complementary goods.

Finally the analysis is extended to allow for the existence of *firms* as well as households. The firms purchase factor services from the households and



combine them to produce intermediate and final goods and services. These are then sold back either to firms or to households. As before, the forces of supply and demand interact to determine the prices of commodities, this time inclusive of factor services.

The lectures will be based on the first two parts of the following book.  
J. R. Hicks : Value and Capital, second edition, Oxford.

The students may either borrow the book from the library or purchase it through the university Seikio or any other bookstore of their choice.

#### Method of Evaluation :

There will be no midterm or final examination for the course. Instead, each student will have to submit a question (written in English) in every class based on the material covered in the previous lectures. A student who has no question to ask will be required to submit a brief summary (in English and not exceeding one side of a sheet of A4 size paper) of the immediately preceding lecture. The students will be graded entirely on the basis of these questions and summaries.

A question could be on a part of the lecture the student was not able to follow. However, students who are able to construct more intelligent questions will be given higher points.

There will be 100 points for the course and these will be distributed equally over the total number of questions or summaries due for the whole semester.

#### The Following Rules Must Be Observed By All Students.

1. On each day, the question or the summary will have to be submitted to the instructor *after* he enters the classroom, but *before* he begins lecturing. A submission which does not fulfill this condition will not be accepted.
2. A submission which is not related to the material covered in the previous lectures will be rejected.
3. A student who does not submit a question or a summary more than *four* times during the semester will be awarded a failing grade.

#### Under No Condition Will These Rules Be Relaxed.

Students are encouraged to ask questions in the class. They may also meet the instructor in his office to discuss their areas of difficulties.

経済学特別講義Ⅲ (Topics in Economics 3) (後期)

教授 Kurt K. Klein

This course will consider the role of agriculture in the growth and

development of countries, with particular emphasis on Japan.

#### COURSE OUTLINE :

##### A. INTRODUCTION.

1. Population, food and income
2. Concepts of growth and development
3. Economic organization of agriculture
4. Problems of agriculture in developed and low income countries

##### B. CONTRIBUTIONS OF AGRICULTURE TO ECONOMIC DEVELOPMENT.

##### C. ROLE OF AGRICULTURE IN THEORIES OF ECONOMIC GROWTH.

1. Classical theories
2. Steple theories
3. Stagnationist theories
4. Leading sector theories
5. Growth stage theories

##### D. MODELS OF AGRICULTURAL DEVELOPMENT.

1. Conservation model
2. Urban industrial impact model
3. Diffusion model
4. High payoff input model
5. Induced development model

##### E. AGRICULTURAL DEVELOPMENT OF JAPAN

1. Long term trends
2. Institutional development
3. Growth in productivity
4. Problems of adjustment

TEXT : Hayami, Yujiro and Saburo Yamada. 1991. The Agricultural Development of Japan : A Century's perspective. University of Tokyo Press, Tokyo.

Some reading material from Hayami's and Ruttan's text on Agricultural Development will also be made available.

経済学史

教授 栗田啓子

今年度の講義では、現代経済学を「解剖」して、いくつかの基礎的な概念を取り出したうえで、それらの概念がどのように生まれ、どのように変遷してきたのかを見ていくことにしたい。これは、現代理論の基本的な考え方を、歴史の連続性のなかで、もう一度とらえなお



してみるためである。そして、そのことによって、経済学の発展過程とその多様性を理解する手だてを与えるだけでなく、経済と人間、経済と社会といった根本的な問題を、自分自身の力で考える基礎をも提供できれば、と考えている。

以下に挙げた文献を参考にしながら、配布プリントを中心に講義を行う。講義の内容は、以下のとおりである。

- 1 経済学とはなにか
- 2 市場・合理性・均衡
- 3 政府の役割
- 4 富と経済成長
- 5 労働・生産・組織
- 6 効用・消費・自由
- 7 経済と社会
- 8 経済と環境

#### 参考文献

猪木武徳『経済思想』（モダン・エコノミックス24）岩波書店、1987年

竹内靖雄『市場の経済思想』創文社、1991年

なお、経済学の歴史を時間の流れに沿って理解するためには、つぎの文献が有益である。

1. マルク・ブローグ『新版 経済理論の歴史』I—IV, 真実・久保・宮崎・杉原・浅野・関訳、東洋経済新報社、1982—86年
2. 大森郁夫編『市場と貨幣の経済思想』昭和堂、1989年
3. 橋本昭一編『近代経済学の形成と展開』昭和堂、1989年

### 経済原論 III

助教授 花田 功 一

本講義は現代資本主義が資本主義の歴史の中でいかなる段階にあるかということ、及び、今後の見通しはどうかということについての私の考え方を明らかにすることを課題とします。

資本主義は19世紀の自由競争段階の資本主義から、19世紀末から20世紀初頭にかけて、自由競争によって少数の強者が勝ち残った結果、その強者である独占的大資本が経済全体を支配する独占資本主義段階という新たな段階に入りましたが、この少数の強者が他の圧倒的多数の国民を支配するという構造はやがて資本主義を1929年世界大恐慌に代表される深刻な危機に陥れました。こうして、1930年代以来、資本主義は国家の強力な手助けなしにはうまく機能することができないというさらに新たな段階に突入することになりました。このような段階の資本主義（現代の資本主義）を私達は国家独占資本主義と呼んでいます。

国家の全面的援助と耐久消費財の急速な普及という条件のもとで資本主義は第二次大戦後いわゆる高度成長を遂げることに成功しましたが、そこに内在していた矛盾はやがて1970年代前半にスタグフレーションと呼ばれる深刻な病を生じさせ、高度成長を終わりに導きました。そして、このスタグフレーションから脱出する過程で国家はなりふりかまわずその全力を發揮しました。その結果国家は深刻な財政危機に陥ってしまい、1980年代初頭以来、国家は

その手助けの手段のうちの最も重要なもの—財政支出の拡大という手段—を基本的に喪失してしまい、現在に至っています。しかも、高度成長及びその後の過程の中で様々な耐久消費財がめざましく普及した結果、最近では、耐久消費財生産の伸びが一ケタ台に落ちてきてしまっており、経済の拡大を内的に支えてきたこの要因もしいにその力を發揮しえなくなっています。

こういうわけで、現代資本主義は国家の強力な手助けなしには十分機能しえないにもかかわらず、国家はその手助けの最も重要な手段を基本的に失っており、しかも、耐久消費財という経済の比較的高い成長を内的に支えてきた要因もほとんどその力を發揮しえなくなっている、そういう段階の資本主義として特徴づけることができます。そして、こうした意味で現代資本主義は見かけの繁栄にもかかわらず、潜在的に深刻な危機に陥っているということがのできるのです。

以上のような資本主義の発展の論理と現在の危機の様相を理論的・実証的に説明していきます。

講義内容は以下のとおりです（但し、若干の変更はありえます）。

#### 第1部 序論

#### 第2部 自由競争段階の資本主義（資本主義一般）の経済学

##### 第1章 商品の価値

##### 第2章 剰余価値

##### 第3章 資本の蓄積

##### 第4章 社会的総資本の再生産と流通—全般的過剰生産恐慌の必然性

#### 第3部 独占資本主義の経済学

##### 第1章 生産の集積と独占体

##### 第2章 銀行の新しい役割と金融資本、金融寡頭制

##### 第3章 資本の輸出

##### 第4章 資本家団体のあいだでの世界の分割

##### 第5章 列強のあいだでの世界の分割—帝国主義世界戦争の必然性

##### 第6章 帝国主義の経済的本質、寄生性と腐朽性、帝国主義の歴史的地位

#### 第4部 国家独占資本主義の経済学

##### 第1章 国家独占資本主義の成立

##### 第2章 国家独占資本主義の政策体系

##### 第3章 IMF体制の成立とその崩壊

##### 第4章 高度成長とその終焉—スタグフレーションの発生

##### 第5章 スタグフレーションからの脱出過程と国独資の危機の深まり

##### 第6章 発展途上国における債務危機の発生

##### 第7章 アメリカにおける財政・貿易赤字の拡大と株価の暴落

##### 第8章 日本におけるいわゆるバブルの発生とその崩壊

##### 第9章 景気拡大の長期的持続の基本的原因と今後の展望



講義は私のノートに従って行いますが、さしあたり、参考文献として以下のものを掲げておきます。それ以外は講義で指示します。

- 山中・鶴田他著『マルクス資本論入門』有斐閣新書  
井村喜代子 『恐慌・産業循環の理論』有斐閣1973年  
花田 功一 「再生産表式論と第I部門の不均等発展の限界」『商学討究』第41巻第2号  
林 直道 『経済学下 帝国主義の理論』新日本新書  
一ノ瀬秀文 『帝国主義論の学習』新日本新書  
北原 勇 『独占資本主義の理論』有斐閣1977年  
大間知啓輔 『国家独占資本主義論』ミネルヴァ書房1969年  
林 直道 『国際通貨危機と世界恐慌』大月書店1972年  
島・宇高他編 『新マルクス経済学講座 5 戦後日本資本主義の構造』有斐閣  
林 直道 『現代の日本経済』青木書店  
井村喜代子 「スタグフレーションへの分析」『経済セミナー増刊 マルクス経済学のすべて』日本評論社1978年  
増田 壽男 「戦後国独資の矛盾発現としてのスタグフレーション」  
船橋 尚道編著 『現代の経済構造と労使関係』総合労働研究所1984年  
宮崎 義一 『世界経済をどう見るか』岩波新書1986年  
岡嶋 明 『経済破局はやって来るか』新日本出版社1988年  
花田 功一 「景気拡大の長期的持続の基本的原因と今後の展望について」『商学討究』第42巻第2・3号

### 計量経済学(前期)

教授 遠藤 薫

計量経済モデルのパラメーターの推定および検定について理解することを目的とします。情報処理センター実習室でSAS (Statistical Analysis System) を利用して計算することを5回ほど行います。利用申請書をセンター受付に出して、汎用機(M-760/6)の利用者識別名を受取ってください。

つぎのテーマを予定しています。カッコ内はSASのプロシージャ名です。

単一方程式モデル (REG, GPLOT)

系列相関 (AUTOREG)

分散不均一

連立方程式モデル (SYSLIN, SIMLIN)

参考書：佐和隆光『増補数量経済分析の基礎』筑摩書房, 1979.

他の書物については最初の授業のときに説明します。

### 経済史概論

教授 井上 巽

本年度の講義は Economic History of British Empire (イギリス帝国経済史) を主要テーマとして設定する予定です。このテーマはイギリスおよびコモンウェルス諸国(旧イ

ギリス植民地・自治領諸国)において近年、研究が急速に進展しつつある分野ですが、わが国ではまだ研究成果が十分に蓄積されているわけではありません。講義では若干のトライアル・アンド・エラーは避けられないと思いますが、できるだけ理解しやすい講義になるように努力するつもりです。

講義内容はやや詳細な予備的考察(序論部分)を前提として、第一部インド植民地経済史、第二部イギリス帝国経済の構造、の二部構成になる予定です。

テキストは使用せず、講義ノートを中心に論述する予定です。参考文献としては、当面、吉岡昭彦『インドとイギリス』(岩波新書)、桑原莞爾・井上巽・伊藤昌大編『イギリス資本主義と帝国主義世界』(九州大学出版会)をあげておきます。

### 日本経済史

助教授 今西 一

新しい学問とは、新しい人間の発見がある。かつて林屋辰三郎氏は、『歌舞伎以前』(岩波新書)という名著のなかで、戦後歴史学の出発にあたって、戦前には軽視されていた地方史(地域史)、部落史、女性史という三つの新しい分野を提唱された。中央の貴族や武士の歴史に対して地域の民衆、被差別民、女性といった抑圧された人々の歴史研究と復権を提言されたのである。

1960年代初頭のフランスの新しい学問も、新しい人間の発見から始まっている。フィリップ・アリエスによる<子供の発見>、ミッシェル・フーコーによる<狂人><囚人>の歴史、レヴィ・ストロフによる<未開人>の歴史といった、マージナルな人々の発見と歴史研究が発表されてきた。彼らの仕事の日本への紹介のされ方は、いささか「ポスト・モダン」論と結びつき過ぎたきらいがあるが、本来の近代合理主義とは、抑圧された社会的弱者との<共生>の思想に支えられたものである。

私は、本年の授業では<社会史>の方法に重点を置きながら、地域経済史、民衆史を講義していきたい。授業は次のようにすすめていきたい。

- はじめに、1. アジアのなかの社会と経済 2. 前近代社会の社会と経済 3. 「解放令」前後 4. 明治維新と新政反対一揆 5. 地租改正と地価修正運動 6. 自由民権期の民衆結社 7. 近代天皇制国家の確立 8. 初期議会下の地価修正運動 9. 日清・日露戦争と地方改良 10. 第一次世界大戦と社会経済の転換 11. 初期小作争議と社会運動

教科書

- 今西 一著 『近代日本の民衆運動』柏書房1991年 3800円  
(後期の授業で使うので、生協で入手しておいてもらいたい)

参考書

- 今西 一著 「近代日本の『国民国家』と地域社会」(『歴史評論』500号)  
同 「差別と解放」(日本村落史講座編集委員会編『日本村落史講座5 政治II』雄山閣出版)  
(前期の授業で使うので、コピーして事前に読んでおいてもらいたい)



## 経済政策 (前期)

助教授 板谷 淳一

今日、市場経済は地球規模でその普遍性を獲得してきているが、他方、公害や所得分配の不平等といったいわゆる『市場の失敗』がしばしば起きている。また、先進資本主義国の多くで公的部門の比重が高まっている。本講義ではこのような市場の失敗の原因とその処方箋及び公的部門の規制のあり方について解説する。分野的には厚生経済学、公共経済学、産業組織論の一部をカバーする予定。具体的には次のような内容になる。

- (1) 競争均衡とパレート最適
- (2) 厚生経済学の基本定理
- (3) 社会的厚生関数と所得分配
- (4) 外部性と市場の失敗
- (5) コースの定理
- (6) 公共財の配分メカニズム
- (7) フリー・ライダーの問題
- (8) 独占と市場の失敗
- (9) 公益事業の料金規制
- (10) 民営化の経済分析

テキスト及び参考書

- 常木 淳 『公共経済学』, 新世社, 1990.  
柴田弘文, 柴田愛子 『公共経済学』, 東洋経済新報社, 1988.  
植草 益 『公的規制の経済学』, 筑摩書房, 1991.  
J. E. スティグリッツ著/藪下史郎訳 『公共経済学 (上・下)』, マグロウヒル社, 1989.

## 産業経済論 (夏季集中)

非常勤講師 小田切 宏之  
(筑波大学助教授)

テーマ: 企業戦略と産業組織

授業概要

この授業で考えていく主な問題意識は次の4点である。主として経済学の立場からアプローチするが、経営学志望の学生諸君も歓迎する。

- (1) 企業はなぜそれぞれの戦略(行動)や組織形態をとっているのか、市場やマクロ経済に与える影響は何か。
- (2) 市場(産業)の構造はどのようになり、どのような経済的成果をもたらしているか。
- (3) もし望ましくない成果が実現されている、あるいはもたらされると予想されるとき、政府はどのような政策をとるべきか。
- (4) 日本的経営といわれるものは本当に欧米のそれとは違うのか。違うとすれば、どのように違い、どのような影響をもたらしているか。

教科書

小田切宏之 「日本の企業戦略と組織」東洋経済新報社(近刊)

参考書(授業概要の番号に対応)

- (1) M. E. ポーター 「競争の戦略」ダイヤモンド社
- (2) 植草 益 「産業組織論」筑摩書房  
今井 賢一(他) 「価格理論Ⅲ」岩波書店  
妹尾 明(編) 「現代日本の産業集中 1971-1980」日本経済新聞社  
新飯田 宏(他)(編) 「日本経済の構造変化と産業組織」東洋経済新報社  
熊谷 尚夫(編) 「日本の産業組織」全3巻 中央公論社  
今井 賢一 「現代産業組織」岩波書店
- (3) 正田 彬, 実方 謙二(編) 「独占禁止法を学ぶ」有斐閣  
別冊ジュリスト (No.110) 「独禁法審決・判例百選(第四版)」有斐閣
- (4) 今井 賢一(他)(編) 「日本の企業」東京大学出版会  
アベグレン・ストーク 「カイシャ」講談社  
小池 和男 「仕事の経済学」東洋経済新報社

成績評価

期末試験の他に、学生参加型の授業にするため、調査や発表をアサインしたり、討論に参加することを求める予定で、その成果や熱意も評価対象とする。ただしウエイトは未定。

その他

ミクロ経済学の知識が望ましく、少なくとも経済学原論ないしは同等の科目を履修していること。

## 社会政策 (前期)

講師 中村 健一

応用ミクロ経済学としての労働経済学という視点から、労働市場の諸現象を分析するためのモデルの学習を行う。授業は必要に応じて、私の講義や、参加者の発表、レポート提出などを弾力的に織り込んでいく予定であるので、意味のある学習のためには毎回の参加が必須である。具体的な内容としては前半にテキスト1. を用いてミクロ経済学の復習を行い、後半にテキスト2. の学習を行う。進行としては無理のない連続性を心掛けるが、短期間に初等的な水準からある程度高度な議論までをカバーするので、履修者には学習への強い意志が要請される。授業の細かいルールについては、第一回の講義で説明するので履修希望者は必ず出席すること。

教科書

1. 西村 和雄 「入門ミクロ経済学」岩波書店
2. 大橋・他 「労働経済学」有斐閣Sシリーズ

## 財政学 (後期)

講師 角野 浩

財政学は、現代の経済社会において重要な役割を果たしている公共部門の経済活動に焦点



を合わせて分析を行う分野である。公共部門は、国と地方公共団体からなる一般政府と公的企業を含んだ広い範囲を指しており、それ故に分析対象としては、これまでの市場中心から非市場的な経済活動にまで関心を広げ、公共経済学の分野に属する問題も考慮する必要がある。

本講義では、まず財政学に関する理論と制度および政策についての基礎的な内容の解説を行い、次に我が国の財政問題上の重要なトピックについて概観し、今後の財政運営のあり方について検討を加えていきたいと考える。主要項目は以下を予定している。

1. 財政学とは何か—総論—
2. 予算論
3. 財政支出論
4. 租税論
5. 公債論
6. 今日の財政問題～財政再建、税政改革、年金改革等について～

テキストおよび参考文献としては、牛嶋正『財政』（第2版）東洋経済新報社をさしあたりあげておく。

## 国際経済論

教授 佐竹正夫

国際経済論は、財やサービス、あるいは資本や労働の国際間の移動から生じる、長期、短期の問題をあつかう。中心は、財の移動—国際貿易—である。長期的な問題としては、各国の貿易構造—商品構成や貿易相手国構成—を決める要因は何か（なぜ日本の貿易構造—工業品を輸出して、燃料や原料を輸入する—は、他の先進諸国の貿易構造と異なっているのか。それは不正な保護政策の結果か。）、貿易は世界や各国に利益を与えるものか、また貿易と国内の産業構造や所得分配はどのような関係があるか、等がある。短期的な問題とは、貿易政策の変更（コメの自由化）や外生的なショック（石油ショック）がある時に、別の長期均衡に移動する過程での問題である。代表的な例は、自由化にともなう輸入競争産業の生産要素の摩擦的な失業である。これらの問題はミクロ経済学を援用して議論される。伝統的には完全競争モデルで考察が進められてきたが、近年不完全競争モデルも議論されるようになってきた。

国際経済学のもう一つの問題は、国際収支に関する問題である。国際収支とは何か、不均衡はどのように調整されるのか、為替レートはどのようにして決定されるのか……。これは、基本的にマクロ経済学を使って分析される。しかし、この問題については、国際金融論で議論されるので、本講義ではごく基本的な説明をするにとどめる。なお、この講義は今年度から2年次生から受講可能となったので注意されたい。

教科書：所・林原・佐竹・船津著 『国際経済学入門』（中央経済社）

## 貿易政策（前期）

助教授 船津秀樹

通商問題の本質を理解するために、近代経済学の基礎概念に基づいて、貿易政策の経済厚

生に与える影響について講義します。

### 0. シェクスピアと外国貿易

1. ウイリアム・アダムスとイギリス東インド会社
2. 江戸幕府はなぜ鎖国したのか？
3. 長崎出島とフリー・トレード・ゾーン
4. 独占企業と重商主義
5. アダム・スミスの自由貿易論
6. スミスの絶対優位概念と比較生産費の原理
7. 誰のための自由貿易論か？
8. 消費者主権と消費者余剰
9. 関税の部分均衡分析Ⅰ（完全競争企業）
10. 関税の部分均衡分析Ⅱ（独占企業）
11. 平和と自由貿易
12. 貿易保険の経済学
13. 国際貿易の二部門分析（ヘクシャー・オリーン・サミュエルソン・モデル）
14. 関税の一般均衡分析
15. 大不況とケインズ・ロビンズ論争
16. 雇用問題と保護貿易主義
17. ジェームズ・ミードの経済学と双対分析
18. ガットによる自由貿易体制と経済統合
19. 南北問題と貿易政策
20. 21世紀の世界経済と貿易政策

テキスト：所・林原・佐竹・船津著 『国際経済学入門』中央経済社、1991年  
その他の参考文献については、講義の際に、その都度、紹介します。

## 金融経済論

教授 今喜典

この講義では、わが国の金融経済の仕組みとその影響を理解するために必要な基本的な概念と分析のための用具の解説を行う。前半ではミクロ経済学的な考えを金融現象の解明に応用するというアプローチをとり、後半ではマクロ経済学的な視点から検討を行う。本年度は、とくに我が国の実態に即して、マクロ的な貨幣金融経済の動向と経済活動のコントロールについて重点的に講義する予定である。

### 講義概要

1. 貨幣経済の特質と金融の機能
2. わが国の金融組織と構造
3. 企業の金融
4. 銀行の役割
5. 金融市場



6. 金融と実物経済活動
7. 日本銀行
8. 日本の金融政策

テキスト：川口慎二・古川顕（編）『日本の金融政策』東洋経済新報社，1992（予定）。

参考文献：堀内 昭議 『金融論』東京大学出版会，1990。

今 喜典 『銀行行動の経済分析』東洋経済新報社，1987。

## 金融政策（後期）

講師 和田良介

この科目では、マクロ経済モデル、金融政策の手段と効果の具体例ならびに国際金融制度の発展の三つを取扱います。

### 1. マクロ経済モデル

金融政策の目的は雇用と物価の安定を図ることにあります。さて金融政策の効果については、マクロモデルによって理論的な結論が異なります。このように相異なるケインズ派、マネタリストおよび合理的期待のモデルを比較検討します。

### 2. 金融政策の手段と効果の具体例

金融政策の目的としては他に、為替相場や利子率の乱高下を防止することや、信用不安によるパニックの発生を防止することがあります。こういった一連の目的のために行われた金融政策の具体例から、金融政策の効果を考えます。

### 3. 国際金融制度の発展

19世紀の金本位制から現在の変動相場制までの国際決済方法の移り変りを概説します。次に銀行の国際化と金融政策の対応を考えます。

リーディング・リストを一回目の授業で配布します。試験は四回行い、内容は計算問題（40%）、記述式問題（50%）、選択肢問題（10%）の予定です。

## 国際金融論（後期）

助教授 渋谷 浩

激動する今日の世界経済の動きを正しく理解するために必要な国際金融理論の修得を目的とする。講義では、常に、実際の国際経済問題を念頭に理論を展開し、歴史的また政策的観点から国際金融に関する諸問題の分析・検討をおこなう。

講義内容

### I. 国際金融の基礎知識（理論編）

1. 国際資金決済と外国為替市場
2. 国際金融市場と金利裁定メカニズム
3. 国際収支と対外債権・債務
4. 為替レートの決定要因
5. 国際収支の決定要因
6. 開放経済の相互依存関係

### II. 国際通貨体制と国際経済問題（応用編）

1. 国際通貨制度の歴史と現状
2. 日米対外不均衡問題
3. 発展途上国の債務累積問題
4. EC統合の世界経済への影響
5. 東欧・前ソ連共和国の経済改革
6. 新しい国際通貨体制の模索

参考文献

深尾 光洋 『実践セミナー・国際金融』，東洋経済新報社，1990。

大野 健一 『国際通貨体制と経済安定』，東洋経済新報社，1991。

吉村 公雄・他『新銀行実務総合講座・[7] 国際金融』，金融財政事情研究会，1987。

P. Krugman and M. Obstfeld 『International Economics: Theory and Policy (Second Edition)』，HarperCollins Publishers Inc. 1991。

## 現代経済理論

助教授 加藤 睦 洋

経済理論の中から適当なテーマを選び講義する。他教官の授業と内容が重複しないよう心がけるが完全にという訳にはいかない。講義内容は原則として毎年度ごとに変えるつもりであるが、種々の都合で前年と同じテーマを扱う場合もある。但しその場合も、教科書や講義の具体的内容は変える。（要するに前年のノートがそのまま役に立つということはない。）

今年度の予定は次の如くである。

前期……マクロ合理的期待理論のお勉強。最初に3回程度でケインズ理論のおさらいをする。（中谷巖著『マクロ経済学入門』日経文庫を持っていると好都合。）その後志築徹朗・武藤恭彦著『合理的期待とマネタリズム』日本経済新聞社を教科書にして合理的期待モデルのお話をする。

後期……経済成長の理論のお勉強。時間的制約を考慮して基礎的な事項の解説が主体となる。一冊で間に合う適当な教科書がないので教科書なしで講義する。ハロッド・ドーマー・モデル、新古典派モデル、レオンティエフ・モデル、最適成長とターンパイク定理などに一通り触れたいと思っているが、詳細な数学的解説は時間の都合上省略せざるをえない。

注意……成績評価については常識的な線で行うので、気楽な気持ちで受講して下さい。



## 流通組織論

(前期) 教授 片桐 誠 士  
(後期) 講師 伊藤 一

この講義では、流通と商業にかかわる基礎的な理論をできるだけわかりやすく解説するとともに、歴史の大きな流れを把握することに主眼を置く。すなわち、前半では流通ないし商業を見る視角と理論フレームを学び、後半では流通ないし商業を、歴史的展開の上に位置づけて理解するとともに、その展開過程のなかから流通ないし商業の形態を具体的に規定する要因を見いだすように心がける。

主要な講義項目として以下のことを予定している。

序. 現代経済と流通

1. 商業の機能と構造
2. マーケティングと商業
3. 小売業態の展開と小売構造
4. 消費者行動と小売競争
5. 卸売商業の機能と構造
6. 商業政策の構造

テキスト：石原武政・池尾恭一・佐藤善信著「商業学」(有斐閣Sシリーズ)

なお、参考文献は追って適宜指示する。

## マーケティング (後期)

助教授 黄 磷

絶えず変化する市場環境に適応し、競争優位性を創造・維持する企業の戦略と行動という視点よりマーケティングについて講義する。

講義内容の概略はつぎのとおりである。①現代マーケティングの性格、基礎概念と枠組；②マーケティングの発生と展開；③マーケティング戦略と市場競争；④マーケティングの組織と管理；⑤マーケティング・リサーチと消費者行動；⑥マーケティング・チャネル；⑦グローバル・マーケティング。

理論と具体的ケースの両方を取りあげる。日本企業と欧米企業の比較などに留意して講義を進めたい。

テキストおよび参考文献などについては追って指示する。なお授業の進め方については開講初日に説明する。

## 消費者行動論 (前期)

助教授 高宮城 朝 則

この講義は、マーケティング活動の焦点であり、かつ戦略形成の基礎をなす消費者行動を理解するのに必要な基礎概念と分析方法について、以下の項目で講述する。

1. 消費者行動の研究系譜と基礎的分析枠組
2. 銘柄選択行動
3. 空間行動 (店舗選択・買物行動)

## 4. 消費者革新行動

## 5. マーケティング・リサーチの基礎

## 6. 近年のトピックス：消費多様化とマーケティング行動

本講義はマーケティングの基礎知識があることを前提として行う。したがって受講者は授業「マーケティング」を履修済みであることが望ましい。

なお、テキスト、参考文献については追って指示する。

## 国際マーケティング (後期)

助教授 穴 沢 眞

国際経営論 (多国籍企業論)、国際マーケティング論の基礎について述べた後、時間があれば、東南アジアの工業化と多国籍企業の関係性を考察する予定である。

講義内容

1. 国際経営論 (多国籍企業論)
2. 国際マーケティング論 (主にマーケティング・ミックス戦略について)
3. 工業化と多国籍企業
4. ケース・スタディ

参考文献

- ・江夏 健一 『多国籍企業要論』文眞堂 1985.
- ・鈴木典比古 『国際マーケティング』同文館 1989.

## 商業英語

非常勤講師 相 川 謙二郎  
(小樽女子短期大学助教授)

The pace of change in the mass market of late is really remarkable and drastic. Especially globalization and integration are now longer an objective but an imperative as markets open and geographic barriers become increasingly blurred and even irrelevant or obsolete.

Business survival today most likely depends on courage and imagination-the courage to challenge prevailing business models and the imagination to invent new markets.

John Stuart Mill, the distinguished economist after Adam Smith, says in his book "Hands on approach practice comes always first before any academic work can get along".

The importance of cross-fertilization of ideas in this respect should be appreciated. In fact, Business English is a very demanding subject, so you are required to expose yourself on this trend of the business world.

Contents :

- 1) Seeking overseas connections-market survey & credit inquiry
- 2) Proposing business & offers, Sales promotion, Approving credit



- 3) Conclusion of Business-Order & Contract (General Terms and Conditions of Business)
- 4) Execution of Contract-Shipment (Arrangement of Carrier, Insurance, Customs Clearance, Loading/Unloading, Shipping Documents)
- 5) Payment-Letter of Credit & Bill of Exchange-Negotiation with the Bank
- 6) Claims and Adjustment
- 7) Telecommunication English
- 8) Market Reports and various Ads.

Text: "English for International Business Communication" by Yoichi Usui, Asao Ohtsuka, & Yasushi Fukuda. issued at SEIBIDO.

## 保 険 論

助教授 中 浜 隆

前半で保険の基礎理論について解説します。後半では歴史的展開として保険業の生成・発展とわが国とアメリカにおける保険業の現状を取り上げます。

講義の主要な項目は以下を予定しています。

1. 保険の基礎理論
  - (1) 保険の種類と分類
  - (2) 保険の技術的構造
  - (3) 保険の経営
2. 保険の歴史
  - (1) 損害保険
  - (2) 生命保険・年金
3. 保険業の現状
  - (1) 損害保険
  - (2) 生命保険業

## 証 券 市 場 論 (後期)

助教授 井 村 進 哉

伝統的に商学講座における証券市場論は、金融業、交通・保険業とならぶ広義の商取引部門としての商品・証券の取引所を対象として、主に証券市場の技術的・制度的側面を論ずる研究領域として出発した。これが信用論や企業財務論などの視角を導入しながら証券経済論、証券経営論として独自の発展を見るのは戦後、それも1960年代以降のことである。

本講義担当者もまた、こうした証券市場論の発展に即して証券市場の経済的機能や経営問題の体系的理解につとめる一人であるが、当面の重点は証券経済論にある。

今日なお続く金融市場全体としての自由化、証券化、国際化の潮流は、それ自体が主要資本主義の経済実態の脆弱化、投機化、サービス化を反映するとともに、いわゆる一昨年以来の株価の大幅な下落や証券スキャンダルに見られるように「バブル経済」の弱さを露呈する結果となっており、これがまた金融制度改革の一つの焦点に危機管理政策を組み込まざるを

得なくすることになっている。

そこで今年度の講義では、おおむね以下の順序で、証券市場の経済的機能についての基礎的な概念を解説するとともに、金融の証券化現象に焦点をあてて現代の金融市場全体の構造変化と証券市場の地位の変貌について解説する。また今後本格化が予想される金融再編成とそのもとでの危機管理政策についても触れることになる。

なお、今年度は特定のテキストを指定せず、その都度参考文献を紹介するとともに、レジュメ・資料などを配布することになるので、出席が肝要である。

- I. 証券市場の経済的機能と矛盾……金融仲介論と擬制資本信用論……
- II. 証券市場の歴史的発展と証券化
- III. 金融・証券市場における危機管理政策

## 銀 行 論 (前期)

助教授 青 山 和 司

近年、銀行の不正融資事件がマスコミを賑わせているが、この背景には、株式や不動産に対する投機活動の活発化とその崩壊という経済問題がある。銀行がこうしたバブル経済の拡大に深く関わっていたことが明らかにされたわけである。

このように銀行は、融資を通じて社会の経済活動に大きな影響を与えるとともに、資金の支払決済機能を通じて経済取引を円滑に遂行するという役割を果たしている。本講義では、こうした銀行の諸機能・諸業務について以下のような順序で解説する予定である。

- I. 銀行と利子生み資本
- II. 銀行の業務
- III. 銀行と信用制度
- IV. 銀行の機構
- V. 銀行の国際業務
- VI. 金融の自由化と銀行

テキスト 鈴木 芳徳編著 『銀行論講義』新評論

参考文献 北原 道貫編 『銀行読本』東洋経済新報社

日本銀行金融研究所『わが国の金融制度』日本信用調査株式会社

その他の文献については、適宜紹介します。

## 経 営 学 原 理

教 授 篠 崎 恒 夫

### I 講義内容

経営学は、企業経営を研究対象とする学問である。企業経営は、資本と労働の動きを軸とした運動であるとともに、様々な利害関係の動きが蓄積されて今日の企業経営の姿を形成している。講義では、歴史的蓄積がどのような法則性の下に進められ、どの様な利害対立をはらんでいるかを明らかにする。

1. 経営学の認識課題
2. 経営学の基礎概念



3. 企業形態の展開
4. 経営管理論の形成
5. 経営経済学の生成
6. 近代管理論の展開
7. 人間関係論
8. 経営者行動と経営戦略
9. 経営組織論

## II 関連科目

以下の諸科目をすでに履修しているか、または、同時履修することが望ましい。  
心理学、哲学、歴史学、社会学、社会思想史、商学概論、経済原論Ⅲ、経済史概論、  
経営管理論、流通組織論

## III 参考書

今年度も学生の便宜を図ってノートプリント『講義要録』を用いるが、以下に主たる参考書を掲げておく。

- 稲葉 襄 『企業経営学要論』中央経済社  
馬場 克三 『経営経済学』改訂増補版、税務経理協会  
中村常次郎・高柳 暁編『経営学』第3版、有斐閣  
宮川 宗弘 『経営管理基礎論』日本評論社

## IV その他

今年度も3年次再履修者には、テーマに沿ったレポート提出を、卒業年次生には、教室でのレポート報告を要求する。

## 経営学説史

助教授 高橋 正 泰

アメリカで発展した経営学の展開を中心として、経営学の系譜にしたがい諸理論を検討する。その際、学史研究の方法と意義を十分念頭に置いて、アメリカにおいて経営学が成立したと考えられる科学的管理法から職能論を基礎とする一連の伝統的組織論、人間関係論、行動科学、システムズ・アプローチ、そしてコンティンジェンシー・アプローチにいたるまでの系譜を歴史的・社会的背景を含めて講義する予定である。

テキスト：高橋 正泰他共著『経営学の組織論的研究』白桃書房 1992年

参考文献：権 泰吉『アメリカ経営学の展開』白桃書房 1984年

車戸 實編著『新版 経営管理の思想家たち』早稲田大学出版部 1987年

## 企業形態論

教授 小田 福 男

各企業形態の「所有（出資）—支配—経営」の構造を解明する。

講義内容

序 企業形態論の概観

- 1 個人企業、合名会社、合資会社

- 2 株式会社
- 3 企業集団
- 4 支配構造に関する最近の論争
- 5 旧ソ連の企業形態

テキスト：未定

参考文献：講義の中で紹介する

## 経営管理論（後期）

助教授 鶴野 好 文

本コースでは、3年次以降の経営諸科学への理論的準備を与えることを目的として、中級レベルの経営管理の基礎を解説します。したがって、planning（経営戦略）、organizing（経営組織）、leading（リーダーシップ、動機付け）、controllingの管理過程全般が論じられます。また、トピックスとして、organizational planning, strategic planning, organizational design, organization-environment interface, leadership, group dynamicsがとりあげられます。

テキスト：John R. Shermerhon, Jr., *Management for Productivity* (Third edition), John Wiley & Sons Inc. : New York, 1989.

## 労務管理論

非常勤講師 高木 清  
(札幌学院大学教授)

講義内容： 労務管理がその生成と今日にいたる展開の中で、どのような概念的枠組をつくってきているのか、それらがいかなる管理技法と制度を形成してきているのか、そしてこれらの特質や機能とは何か、といった労務管理の基本的な事項について理解してゆきながら、現代わが国の大企業における労務管理がもつ問題点を明らかにしてゆきたい。

テキスト：指定しない。

参考書： 講義の中でその都度紹介するが、次の文献を予め紹介しておくことにしたい。  
長谷川廣『現代の労務管理』中央経済社、1989年および木元進一郎、他『激動期の日本労務管理』高速印刷出版事業部、1991年。

## 財務管理論（後期）

講師 中村 竜 哉

企業は生産要素を購入し、これを生産過程に投入して製品を産出し、販売する。これらの活動は「カネ」の支出と受取によってなされている。つまり、企業活動には「モノ」の流れとこれに対応する「カネ」の流れの2つが存在する。ゴーイング・コンサーンである現代企業においては、2つの流れは絶えず循環しているが、不確実性のもとでは「カネ」の循環は必ずしも質・量とも一定不変ではない。したがって、財務管理者は企業内の「カネ」の需給関係を適正に維持するために、「カネ」の調達と運用に関して、計画（planning）し統制（control）しなければならない。ここで必要となるのが財務管理者の指針となるべき財務



管理論であり、企業内の「カネ」の循環に関わる活動（企業財務活動あるいは企業行動の財務的側面）を分析対象とした経験則かつ、確固たる理論的裏づけのできた行動原則としての体系的な財務政策理論である。ゆえに、本講では史的・法的・制度的な実証分析の他、経済学の分析 tool を用いた市場分析も行う。講義項目は以下のとおりである。

1. 最近の企業財務の動向（セキュリタイゼーション、グローバル化、エクイティ・ファイナンス、M & A、リストラ、オフ・バランス取引、株式持合と日米構造協議、メインバンク制等）
2. 基本的分析 tool（エージェンシー理論、資本コスト論、ポートフォリオ理論等）
3. 企業評価のメカニズム（Capital Asset Pricing Model, Arbitrage Pricing Theory, Option Pricing Model）
4. 財務的意思決定（資金調達決定、投資決定、Borrowing & Buying or lease 決定、配当政策、資本構成決定、リスク・マネジメント等）

参考文献は適宜紹介するが、次の2冊を参照されたい。

若杉敬明著『企業財務』東京大学出版会、1988年。

刈屋武昭・佃良彦編著『金融・証券数量分析入門』、東洋経済新報社、1991年。

## 産業心理学

教授 和田 完

産業心理学の成立課程を検討しながら、その無体系的できわめて広範囲な研究領域を総括的に概観する。われわれは、これらの多岐に及ぶ領域から、産業精神衛生と呼ばれる分野が、なぜ近年問題となってきたかを研究し、その具体的な話題をいくつかとりあげる。とくに臨床心理学的テーマ、適性検査、社会病理学的問題等が強調されるだろう。

参考文献等については講義中に指示されよう。

## 国際企業論（前期）

助教授 李 濟 民

ボーダレス時代における主体としての国際企業をとりまく環境を多方面から分析し、真のグローバル企業とグローバル経営戦略についての理解を深める。

講義概要

- I. 国際貿易とグローバル企業
- II. 経営国際化とグローバル企業
- III. 国際金融とグローバル企業
- IV. グローバル企業と公的規制
- V. グローバル企業の戦略とマネジメント

テキスト：Alan M. Rugman et al., International Business: Firm and Environment, Mc Graw-Hill. 1985の予定

## 経営史（前期）

非常勤講師 北林 雅志  
(札幌学院大学助教授)

企業発展の歴史を国別比較を通して具体的に検討する。

- 1 経営史研究の対象
- 2 工場経営に先行する諸形態
- 3 産業革命
- 4 工場制度の成立
- 5 大企業の形成と発展

テキスト：山下幸夫編『経営史（欧米編）』日本評論社

## 簿記学 A（前期）

教授 山本 真樹夫

(1) クラス編成

各学年とも学生番号200までの者は簿記学Aに属する。

(2) 講義内容

簿記とは単なる記帳技術であり、コンピュータの利用によって無用な学問になりつつある。というような誤解があるかもしれない。しかし、簿記は現代企業の複雑な営業活動、投資活動そして財務活動に関する情報を適切に組織化し、経営管理に役立ち、企業内外の様々な利害関係者の意思決定に有用な情報に加工する最も基本的な企業情報システムである。簿記の重要性はますます高まりこそすれ、それが無用になることは決してない。さらに言えば、簿記は国際ビジネス言語でもある。

簿記を学ぶためには、基本原理を理解しなくてはならないのは当然であるが、同時に、基本原理にしたがった技術の修得も要請される。教科書を読み講義を聞くばかりでなく、自ら帳簿にむかい、電卓を打ち、ペンを走らせるという努力も要請される。

受講者は簿記・会計が個人にとって、企業にとって、さらに社会にとっていかなる役割を果しているのか、あるいは果すべきなのかについて、問題意識をもって受講してほしい。

(3) 評価

定期試験のほか、講義中に随時クイズを行う。それらを総合して評価する。

(4) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』（同文館）。なお左記テキストに準拠した演習書、久野光朗編著『簿記論演習』（同文館）も用意すること。

## 簿記学 B（前期）

助教授 松本 康一郎

[テーマ]

複式簿記の基本原理（必ずしも入門的内容にとどまらない）を理解し、会計関係諸科目の基礎を得ることを目的として進めます。



[範囲・内容]

1. 複式簿記の基本的メカニズム（とくに、単式簿記との比較において）
2. 企業複式簿記の基本的記帳手続（個人企業を対象として）
3. 帳簿組織の基本類型

[テキスト]

久野光朗編著『簿記論講義』（同文館，1982年）  
久野光朗編著『簿記論演習』（同文館，1992年）

[参考書]

安平昭二『簿記の理論と演習』第三出版  
安平昭二『簿記要論』同文館

[その他]

1. 本講義は、各学年とも学生番号201以降の2年次生以上を対象とする。
2. 本講義の履修上の注意については、4月最初の授業で詳しく述べますので、必ず出席すること。

簿記演習（後期）

教授 山本真樹夫

(1) 講義内容

簿記演習では、簿記学の講義で十分に解説できなかったテーマ、あるいは理論的に重要なテーマを採り上げて解説する。本年度は下記のテーマを採り上げる予定である。

- 1 商品売買取引の記帳（棚卸資産の評価）
- 2 特殊売買取引の記帳（損益計算の原理）
- 3 固定資産会計（減価償却論）
- 4 帳簿組織論
- 5 本支店会計
- 6 株式会社の会計（特に資本金会計）

(2) 評価

定期試験のほか、講義中に随時クイズを行う。それらを総合して評価する。

(3) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』（同文館）  
久野光朗編著『簿記論演習』（同文館）

会計学

教授 久野光朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、授業内容を大別すれば次のとおりです。

- § 1 総論  
§ 2 測定論  
収益、費用、資産、負債、資本

§ 3 伝達論

§ 4 各論

テキスト：太田・飯野、『会計学』（千倉書房，1983）

参考書—現在入手可能な標準的参考書：

- 黒沢 清『近代会計学』（春秋社）  
山下 勝治『会計学一般理論』（千倉書房）  
飯野 利夫『財務会計論』（同文館）  
武田 隆二『会計学一般教程』（中央経済社）  
青柳 文司『会計学の原理』（中央経済社）  
黒沢 清（主編）『体系近代会計学』（中央経済社）  
神戸大学会計学研究室編『第4版会計学辞典』（同文館）  
森田・宮本編著『会計学辞典』（中央経済社）

管理会計論（前期）

教授 中 善 宏

会計は、管理会計と財務会計の2つの領域に大別される。管理会計は、企業内部において経営管理者が担当する計画・統制機能のために必要な情報の提供を目的とする会計である。この会計は、意思決定会計と業績管理会計に区分されている。前者は、戦略的な、長期に渡る企業の基礎構造の決定に関わる問題を対象としており、典型的には設備投資計画や長期利益計画などを取り扱う。後者は、短期の企業目標の設定と管理者業績の評価に焦点がある。

今年度の講義は、最初に短期利益計画および予算管理を取り上げることにする。これらは、業績管理会計の主たる構成分野である。次いで設備投資の経済性評価にも触れる予定である。講義内容はおよそ次のようになる。

1. 管理会計の体系
2. 短期利益計画
3. 予算管理
4. 設備投資計画

教科書：溝口一雄編著「管理会計の基礎」（中央経済社 昭和62年）

原価計算論（前期）

助教授 福 島 吉 春

1. 講義内容

原価計算は19世紀末のイギリスにおいて、製造業における製品製造原価を計算する方法として成立したが、現在ではそれにとどまらず、財務諸表の作成や原価管理、さらには意思決定代替案評価のための財務データを提供するシステムになっている。

授業では、その内容を以下の順序で解説する。

- (1)基礎概念、(2)原価計算と工業簿記、(3)原価の費目別計算、(4)原価の部門別計算、(5)原価の製品別計算—総合原価計算と個別原価計算—、(6)標準原価計算、(7)CVP分析と直接原価計算、(8)代替案の評価と差額原価計算



なお簿記の知識があるものとして講義するので、簿記学を履修済みであることが望ましい。また授業中に何度か簡単な計算問題を解いてもらうが、その提出があまりにも少ない者は受験資格を失なうので注意されたい。

## 2. テキスト

小林 健吾『原価計算総論』(創成社, 1988)

## 3. 参考文献

岡本 清『原価計算』(国元書房), 小林 健吾『最新原価計算論』(中央経済社), 原価研究会編『原価計算テキスト』『ステップ式・原価計算演習』(以上同文館), その他各種簿記検定のための参考書および問題集(工業簿記・原価計算)が参考になる。

なお, 最初の授業でテキスト, 参考文献の解説, 講義内容など, 簡単なガイダンスを行う。『教授要目』を持参されたい。

## 外国人特殊講義 (Topics in Business) (夏季集中)

非常勤講師 Alfred Taudes

Businesses increasingly use computers for a variety of tasks, making the information systems (IS) sector more and more important for the economical situation of the firm. Therefore, it is becoming a necessity for management to understand and guide the computer use in the enterprise. This lecture aims at providing the student of Economics and Business Administration with the knowledge to fulfill this task. In particular, the following topics are covered:

- Ways of using computers in an enterprise
- EDP strategies
- The effect of computer use on work profiles, cost structure, organizational design, intra firm relations, market position etc.
- Methods for assessing the benefits of computer use
- Methods for assessing the development effort of an IS project
- Organizational tools for managing IS projects
- Organisational designs for the IS department
- EDP cost accounting

The teaching method consists of a review of relevant economic theories (agency theory, transaction cost theory, labor economics and hedonic models, etc.) and case studies. If possible, excursions to visit real-world information systems in Japanese companies should be included, too.

## 憲 法 (前期)

教授 結 城 洋一郎

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程と意義を学び, わが国の憲法については, 基本的人権を中心に具体的裁判例を参照しながら講義を行う。

### 講義内容

#### I 総論

- (1) 憲法とは何か
- (2) 自然権思想と国民主権原理

#### II 日本の憲法

- (1) 明治憲法から日本国憲法へ
  - (i) 明治憲法の特色
  - (ii) 憲法の変動
- (2) 日本国憲法
  - (i) 基本的人権の保障
  - (ii) 平和主義

テキスト: 清水 睦他『憲法講義 I』有斐閣

大須賀明他『憲法講義 II』有斐閣

参 考 書: 総論については, 杉原泰雄編『憲法学の基礎概念 I』, 同『憲法思想』(講座・憲法学の基礎 1, 4) 勁草書房

基本的人権については, 小林孝輔編『新版判例教室 憲法』法学書院

## 行 政 法 I

教授 秋 山 義 昭

具体的な事例を素材にしながら, 行政法の全体を体系的に講義する。行政法は, 憲法・民法等の知識を不可欠とするので, 受講者はこれらの科目についてすでに相当の成績で履修済みのこと。

テキスト: 遠藤・熊本・秋山・畠山『教材行政法判例』(北大図書刊行会)

参 考 書: 今村成和『行政法入門(第4版)』(有斐閣)

田中二郎『新版行政法上(全訂第二版)』(弘文堂)

室井ほか『行政法を学ぶ1・2』(有斐閣)

原田尚彦『行政法要論(全訂第二版)』(学陽書房)

秋山義昭『国家補償法』(ぎょうせい)

## 財 産 法 I (後期)

助教授 渡 辺 達 徳

私たち市民の財産・取引・家族生活などを規律する法が民法であり, その最も重要な基準として「民法典」が定められています。この講義は, 民法典の中で一般に財産法と呼ばれる領域~第一編総則, 第二編物権, 第三編債権~のうち, 総則及び物権法の解説を主な内容とするものです。この領域には, その後の民法の勉強を進めるうえでも, また, 民法以外の法



律を学ぶためにも、理解しておくべき基本的な制度・概念が多く含まれていることを念頭に置いて勉強を進めて下さい。

なお、講義では特定のテキストに沿って解説するかたちは採りませんが、開講時に参考図書を紹介を行うとともに、具体的な講義スケジュールを配布します。

## 財産法Ⅱ

教授 神田孝夫

民法典の第三編に規定されている債権につき講義します。債権の発生・移転・効力といった問題のほか、売買とか賃貸借といった諸君になじみのあるいろいろな契約がとり扱われます。身近かな問題が多いだけに財産法Ⅰよりは諸君の興味をひくはずで。もっとも、財産法Ⅰの単位がとれなかった人には、正直いって、きついでしょう。民法は、地道に勉強しないと、ものになりません。講義に真面目に出席することが、民法を理解する早道であることをお忘れなく。

教科書：我妻栄・有泉享著（水本浩補訂）『民法2 債権法』（一粒社）

六法全書：どこの出版社のものでも可、講義の際には必ず持参のこと。

## 民事訴訟法（後期）

助教授 町村泰貴

民事訴訟法という学問分野には、実体法が観念的に定めている権利義務・法律関係の存否を具体的な事件において判定し確定する手続である判決手続、存在が確定された権利を強制的に実現する手続である執行手続、判決手続に要する期間中に権利実現が不可能ないし困難となることを防止する手続である民事保全手続、それに経済的に立ちゆかなくなった企業や個人について清算と再建を公平に行う手続である倒産処理手続などが含まれる。本年度はこれらのうち判決手続を中心とし、執行・保全は必要な限度でのみ説明し、倒産処理法は省略する。使用する文献は下記の教科書・参考書のほか、六法が最低限必要である。

教科書：中野貞一郎ほか編『民事訴訟法講義（補訂第二版）』有斐閣大学双書

参考書：別冊ジュリスト114,115『民事訴訟法判例百選Ⅰ・Ⅱ』有斐閣

## 会社法

教授 青竹正一

会社法は、共同企業の典型的形態である会社組織の成立から消滅に至る諸段階における利害関係者（会社・社員または株主・会社債権者）の利益調整を行うことを主たる目的としている重要な法律です。講義は、このような会社法のうち最も重要な株式会社法を中心に、会社法が現実の企業活動においてどのような役割りを果たしているかを知ってもらうため、判例、書式・公告などの具体的素材を示しながら進めることにします。

テキスト：上柳克郎ほか編『会社法Ⅰ、Ⅱ（第3版）』（有斐閣）

別冊ジュリスト『会社判例百選（第5版）』（有斐閣）

河本一郎編『株式会社法教材（増補版）』（商事法務研究会）

## 商取引法（前期）

助教授 野田博

商法中、総則（商法第一編）および商行為（同第三編）の規定を中心に検討します。これは、企業組織および企業取引に関する通則的規定を含むものです。できるだけ多くの判例を取り上げ、それを通して理解を深めたいと考えています。

教科書：落合・大塚・山下『商法Ⅰ—総則・商行為』（有斐閣Sシリーズ）

参考書：『商法（総則・商行為）判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト、有斐閣）

## 有価証券法

講師 田邊宏康

有価証券と呼ばれる証券には、手形、小切手、株券、社債券、船荷証券、貨物引換証、倉庫証券などがありますが、このうち手形および小切手に関する法的な知識と考え方を身につけていただくことを目的に講義します。民法の理解が前提となるところが多いので、民法をしっかり勉強して受講してください。質問は歓迎します。

テキスト：上柳克郎＝北沢正啓他編『手形法・小切手法 商法講義(4)』（有斐閣）

参考書：ジュリスト別冊『手形小切手判例百選（第4版）』（有斐閣）

## 経済法（前期）

教授 和田健夫

現代資本主義社会における企業の経済活動と法との関係を講義する。内容は以下ととおり。

第1章 競争の概念と競争政策の目的

第2章 独占禁止法の目的と手法

第3章 独占禁止法の運用体制

第4章 独占の規制

第5章 カルテルの規制

第6章 取引の公正の確保

第7章 競争原理の限界

第8章 競争政策の実効性

第9章 経済規制法

第10章 技術保護法

テキスト

①和田健夫・1992年度経済法講義（unpublished.講義の時間に配布する）

②実方・厚谷・向田・和田・稗貫編・教材独占禁止法（第四版）青林書院

参考書

①実方謙二・独占禁止法（新版）有斐閣

②今村成和・独占禁止法入門 有斐閣

③正田 彬・全訂独占禁止法Ⅰ、Ⅱ 日本評論社



## 経済刑法(後期)

講師 白木 豊

刑法とは犯罪と刑罰に関する法で、いわゆる刑法典だけではなく数多くの特別刑法も含まれます。その刑法を扱う学問である刑法学は、大別して、各犯罪に共通する一般的成立要件を考察する刑法総論と、個々の具体的犯罪の成立要件を考察する刑法各論とがあります。経済刑法といえ、経済的犯罪を対象とした領域、すなわち刑法各論の中の1分野を重点的に扱うべきかもしれませんが、刑法各論はしばしば個々の条文の断片的な解釈に終始しがちで、それだけでは刑法というものの像を理解するには十分とはいえません。およそ犯罪はいつ成立し処罰はいつ許されるかという基本的視点を養うためには刑法総論も重要です。そこでこの講義では、刑法各論的な個別問題だけではなく、刑法総論にも力点を置くことにします。教科書等は、現在のところ未定。具体的な指示は初回の講義の際に行います。

## 無体財産法

教授 久々湊 伸一

最近では知的財産権法という言葉の方が使われ、定着しつつあるが、ともかく著作権法と工業所有権法が2本の柱である。工業所有権法は特許法・実用新案法・意匠法・商標法からなる。著作権法は文芸・学術・美術の分野の創作者を保護し、工業所有権四法は、商品に価値を付与する諸層(機能、外観、標章)の創作者等を保護する。前者は、コンピュータ・プログラム、ビデオレンタル、文献コピー等の問題があり、後者にはバイオ・テクノロジーの特許、ヨーロッパ特許、サービスマークの保護などの問題がある。

本年度は、著作権法に集中し、工業所有権については意匠法に力点を置いて概説したい。

テキスト：半田正夫・紋谷暢男編『著作権のノウハウ』〔新装第4版〕有斐閣

参考書：久々湊ほか著『著作権法』学陽書房

紋谷暢男著『無体財産権法概論』有斐閣

橋本良郎著『特許法』有斐閣

斉藤暲二著『意匠法概説』有斐閣

## 労働法(後期)

助教授 島田 陽一

「労働時間の短縮」、「過労死対策」、「外国人労働問題」、「育児休業法」等、労働法をめぐる諸問題は、日常生活のなかに多様な形態で存在しているといえよう。この講義では、このような状況をふまえて、労働法をできる限り、実例に即して紹介するつもりである。

現在のところ、特定の教科書を使用するつもりはないので、以下を参考文献として掲げておく。

参考書：菅野和夫『労働法第二版補正版』(弘文堂)

外尾健一『労働法入門第三版』(有斐閣)

別冊ジュリスト 労働判例百選第五版(有斐閣)

## 社会保障法(夏季集中)

非常勤講師 江口 隆裕  
(北海道大学助教授)

社会保障法は、国民生活に密着した新しい学問領域である。本講義では、医療保障、年金、社会福祉を中心とした社会保障法制について、その沿革を踏まえながら、その基本的な仕組み・考え方を説明するとともに、高齢社会の到来、国民生活の複雑・多様化といった状況の中で、どのような法的・制度的課題があるか、その解決の方向も含めて講義したい。

なお、履修者は、講義の際、六法全書を持参すること。

教材：講義の都度、資料を配布する予定。

参考書：荒木誠之『社会保障法読本』(改訂版)有斐閣

厚生省大臣官房政策課編『社会保障入門』中央法規出版

『社会保障判例百選(第二版)』有斐閣

## 環境法(前期)

助教授 藤原 正則

主に環境に対する私法的救済の手段としての不法行為について講義する。

本講義は財産法I・IIと併せて民法財産法のカリキュラムの一環でもあるので、本年度は公法的な規律・救済よりも民法上の不法行為に力点を置くこととなる。

テキスト：不法行為については、藤岡康宏他『民法IV 債権各論』有斐閣Sシリーズを挙げておく。その他については、開講時に紹介する。

環境法については、講義の中で指示する予定である。

## 国際法(前期)

助教授 中村 恵

### 1. 講義内容

今年度の講義は、講義を前期と後期の2期に分け、前期は、「国際司法裁判所」における国際裁判の仕組みについて解説した後、いくつかの判決例を紹介しながら、国際法の基本原則について検討します。後期は、前期でのケーススタディーを踏まえて、「国際社会と法」、「国際法の法源」、「国際法主体としての国家」等について、理論的な検討を行います。

### 2. テキストおよび参考文献

特定のテキストは、使用しません。参考文献については、その都度指示します。なお、講義中多数の条約を参照しますので、条約集を必ず持参して下さい。小田・石本編、『解説条約集』(三省堂)を、推薦しておきます。

## 比較法(後期)

教授 久々湊 伸一

社会科学の方法として、国際比較が重要になっているが、法律における国際比較は比較法であって、1つの科目となっているのである。これは法律が政治や経済よりも国際化しにくいことを示しているとも言える。したがって政治・経済の国際化が進展する中で、比較法の



重要性が増していることは明白である。

その比較法を意識し、総論と共に応用比較法を行いたい。

総論の内容は次のとおりである。

1. 比較法とはどのような学問か。
2. 隣接諸学科との比較。
3. 比較法の役割。
4. 比較法の方法。
5. 比較の発達。
6. 法圏論とは何か。等々。

テキスト：五十嵐清著『民法と比較法』一粒社

参考書：五十嵐清著『比較法学の歴史と理論』一粒社

K. ツヴァイゲルト/H. ケッツ著、大木雅夫訳『比較法概論』原論(上)東京  
大学出版会  
木下毅著『アメリカ私法』日米比較私法序説・有斐閣

## 国際機構論

助教授 中村 恵

### 1. 講義内容

今年度の講義は、講義を前期と後期の2期に分け、前期は、「国際連合憲章」上の主要問題について、講義形式で検討します。具体的には、憲章の解釈論を中心に講義を行います。後期は、国際連合がかかえる諸問題（法的なものばかりでなく政治的なものも含む）について、演習形式で検討します。具体的には、毎回数名の受講者に、各自が選択したテーマについて発表してもらい、全員で質疑応答を行います。後期については、毎回出欠を確認し、理由の如何にかかわらず15パーセント以上の欠席は、自動的に不合格となります。

なお、「国際機構論」の講義は隔年開講のため、平成5年度は非開講の予定です。

### 2. テキストおよび参考文献

特定のテキストは、使用しません。参考文献については、その都度指示します。なお、講義中多数の条約を参照しますので、条約集を必ず持参して下さい。小田・石本編、『解説条約集』（三省堂）を、推薦しておきます。

## 国際経済法

助教授 清水 章 雄

国際法のなかで国際経済関係の調整を目的とする部分及びそれと関連する国内法について、おおむね次の範囲で講義を行います。

### 1 国際経済法総論

### 2 国際通商法

- (1) 一般的レジームとしてのガット
- (2) 限定的レジーム
- (3) 保護主義

### (4) サービス貿易

### (5) 国際通商と独禁法

### 3 国際投資法

#### (1) 国際経済法における国際投資の定義

#### (2) 国際投資規制

#### (3) 国際投資の保護と保証

#### (4) 国有化

### 4 国際通貨法

#### (1) 国際通貨システム

#### (2) 地域的システム

### 5 開発の国際法

テキストとして、ロング著『ガットと経済摩擦』（敬文堂）を使います。さらに、高野雄一・小原喜雄編『国際経済条約集』（有斐閣）が講義及び試験に際して必要です。参考書としては、松下満雄著『国際経済法』（有斐閣）及び丹宗昭信・山手治之・小原喜雄編『国際経済法』（青林書院）が役に立ちます。

なお、「国際経済論」と「貿易政策」を並行して履修することを勧めます。

## 国際取引法

助教授 桑原 康 行

国際的売買取引とそれに付随して行われる国際的支払取引、国際的運送取引、国際的保険取引に関する法的諸問題について解説する。国際私法上の問題や紛争処理に関する問題についても説明する。

講義の順序は次の通り

### 1. 国際私法

### 2. 国際的法統一

### 3. 国際的売買

### 4. 国際的支払

### 5. 国際的運送

### 6. 国際的保険

### 7. 紛争処理

教科書：岩崎一生著『国際取引法要説』（同文館）

参考書：第1回目の講義の際に指示する。



## 管理科学通論

助教授 奥田和重

管理科学(マネジメント・サイエンス)はシステム科学と情報科学の二本柱からなるといわれており、この講義では一方の柱であるシステム科学について学ぶ。システム科学は管理科学だけではなく経済学、経営学、社会学、さらに生理学や心理学などまでもその対象とする横断的な学問である。しかしこれらの分野におけるシステム科学のアプローチはややもすれば還元論的、機械論的になりやすい。これを克服するためには、新しいシステム科学が求められる。本講ではこのような視点から、システムの概念を正確に把握し、社会科学におけるシステム科学の役割を理解することを目的とする。講義は、システム理論とシステム方法論を中心に行う。

講義中に小テストを前・後期それぞれ数回行う。夏・冬休みにはレポートを提出してもらう。開講時に講義に関する資料を配布する(資料は講義時以外では配布しない)。この資料がなければレポートの評価などにおいて不利になることもあるので、履修希望者は必ず出席するように。

教科書: プリントを配布する。

参考書: 芽陽一, 森俊介『社会システムの方法』, オーム社, (1985)

高原康彦『システム論の基礎』, 日刊工業新聞社, (1991)

浅居喜代治編著『現代システム工学の基礎』, オーム社, (1979)

## 管理科学 I

教授 若林信夫

### <前期>

表計算ソフトウェア(スプレッドシステム)の代表格である「Lotus1-2-3」を道具に、意思決定の科学、数理計画法、数理経済モデル、データベースシステムの考え方と応用を学ぶ。講義時間の前半は教室で講義を聞き、後半は情報処理センターの実習室で演習を行う。受講者は、情報処理 I の基礎的な知識がなくても「やる気」さえあれば合格できる。

### <後期>

前期は主としてパソコンを利用した管理科学の基礎的な学習であったのに対して、後期は、主として、汎用計算機のFACOM M760/6の上での実習を伴う。具体的には、論文清書システムとして重要なTex/LaTex, 統計解析システムのSAS, 数理計画システムのAMPS, シミュレーションシステムのGPSSを予定している。

教科書は未定。毎回、講義プリント1枚を配布する。

夏休みと冬休みに課題を出す。

定期試験は前期後期各1回行う。

## 管理科学 II

助教授 加藤修一

私達は、日常生活の中で絶えず意志決定を繰り返し、重ね積み上げその多くの行動のなかから共通した意志決定の手順をモデル化して、自分なりに有る程度の意志決定の手順—「法

を見いだし、効果的な処理をおこなっている。過去と似たような意志決定問題の場合には、蓄積された情報(これは、いわゆる経験則であり、カンといわれるもの)にてらし合わせて、決定しているわけである。これは、一個人のケースであるが、集団として種々のシステムからなる企業、社会、地域、国などは、より効率的、より幸福的な(?)状況の形成のための意志決定の問題群の解決機会は、すさまじく多い。管理科学は、この意志決定を行う場合にできるだけ科学的成果を援用する方法論で、その成果を学習することにより、究極的には、経験則に潜むと思われる法則性の抽出、個人のレベルにおわっているカンから普遍的要因を探り出すなど、意志決定の確実性を高めることにある。本講義では、ORなどに適用されている計量的な方法について、生活環境の質、地域計画学的な視点から進める。たんなる理論の紹介に終わらずできるだけ事例学習についても行う。

夏・冬休み後にレポート提出をしてもらう。後期定期試験がある。

1. わが国の都市、地域問題と21世紀への基本戦略

2. 計量的分析法について

・地域人口推定法

・産業立地分析

・地域産業関連分析(事業の波及効果: 波及生産, 波及所得, 雇用効果など)

・地域計量分析

・地域環境管理

・地域システム分析

・環境質の計量分析(緑の効用, 水辺の効用, 景観, ...)

・そのほか最近の定性的・定量的方法

3. 社会システムの評価

・効用理論, 多属性効用関数法, AHP(階層構造化)法, 構造分析, しなやかなシステムズアプローチなど。

4. 事例紹介(リニヤモーターカー導入可能性調査, 新千歳空港周辺開発調査, アフリカM国プロジェクト調査, 河川環境整備事業と地域効果, 観光行動と経済効果, ...)

教科書(前期, 後期): 山村悦夫「地域計画(1)—計画の分析—」, 技報堂。

参考書(前期, 後期): 荻原ほか「環境経済学の理論と応用」, 剏草書房。

: 刀根 薫「ゲーム感覚意志決定法 AHP入門」, 日科技連。

## 管理科学 III

(前期) 教授 戸島 熙

いま、何らかの問題の解決に

100の階乗100!の値

とか

$(a+b+c)^{10}$ を展開したときの $a^2 b^3 c^5$ の係数の値

が必要になったとしよう。どうしたらよいか? 実際に計算してみればよいが、そのためには単調な計算に長時間取り組まなくてはならない。そこで、コンピュータを利用することが



考えられる。しかし、「種と仕掛け」がなければコンピュータといえどもこれらの値を計算することは容易ではない。

この講義では「数式処理」という「種と仕掛け」を使用して、数理経済学や数理統計学の実際に意味のある（非数値的）問題の解決を試みる。

テキストとしては、

アーカイブ(archive), No.12, 数式処理入門から高度利用まで CQ 出版株式会社, 1990年を予定している。

受講者は情報処理センターのライセンスを更新しておいてほしい。また、3.5インチの2HDフロッピーを2枚用意し持参されたい。

講義は原則として情報処理センターで行うが、時には教室で行うこともあるので掲示や口頭の指示に注意してほしい。さしあたって第1回目の講義は教室で行う。

### 管理科学Ⅲ

(後期) 助教授 中村隆志

後期は確率システムの性能評価、信頼度評価等に用いられる。

- ・マルコフ連鎖
- ・待ち行列理論
- ・信頼性理論

について講義する。

テキスト：依田，尾崎，中川：「応用確率論」（朝倉書店）

### 管理科学特講Ⅰ（後期）

非常勤講師 浅利英吉

管理科学は多くの数理科学的手法からなる。この講義では、はじめにそれらの概要を説明する。ついで、それらの中から社会的によく利用されているものとして、今年度はモンテカルロ・シミュレーションと実験計画法について講義する。前者は現実にやってみるの難かしい物事を、その実行ルールにしたがって実際さながらに模擬試行して結論を導く方法である。後者は製品の試作実験や調査研究に用いられてわが国の高度科学技術の発展の原動力のひとつとなった手法である。講師執筆のプリントをテキストとして配布して講義し、適宜演習を行う。

### 会計情報論

助教授 山本清

情報化社会と言われて久しいが、情報が我々の経済活動において果たしている役割を分析するフレームワークは充分とはいえない状況です。

本講義では、情報が経済活動を含めた社会生活においてどのように機能しているか、また、どのような情報システムを設計すれば社会活動に効果的なインパクトを与えられるかについて分析する基本的枠組みを扱います。

具体的には、情報は意志決定の質を改善する点に価値があるという観点から、前期は

- ①意思決定問題の前提となる期待効用原理の仮定とその制約

- ②期待効用原理に基づく情報システムの分析

- ③情報のコストと価値

- ④意思決定者と情報評価者が異なる場合の情報分析

を扱い、後期にはこれらの基礎的知識を活用して、情報と組織との相互作用を情報の経済学と組織の経済学のトピックスを交えながら講義・演習を行います。具体的には、

- ①プリンシパル=エイジェント・モデルの概要

- ②複数エイジェントの場合

- ③多期間モデルへの拡張

- ④組織の業績評価への応用

- ⑤組織心理学等からの批判とモデルの制約

を予定しています。

参考書として

- ①デムスキー『情報分析の基礎理論』（千倉書房，1983）及び

- ②細江守紀『不確実性の情報の経済分析』（九州大学出版会，1991）を挙げておきます。

①は名著ですが絶版になっている可能性があります。また、②は数学に自信がある者に向っていると思いますが、情報の概念記述等に難解な点がありますので、講義では主としてプリント等を使用します。

### 応用数学（代数）

(前期) 助教授 行方常幸

(後期) 教授 沼田久

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に慣れること、線形代数学が経済学などにどのように応用されているかを知ることなどである。

前期では、高校時代でおもに学習した2次元ベクトル、2行2列の行列を一般のn次元ベクトル、m行n列の行列に拡張し、これらの計算を通じてベクトルの1次独立、行列の階数、ベクトル空間の次元、行列式等の概念を説明する。これらの概念を念頭に置いて中学時代から慣れている連立1次方程式の解法を見直すと、相乗効果により、行列の階数等の意味が更にはっきりする。

後期では先ず、行列の固有値という一見何の役にも立ちそうもない摩訶不思議なものを導入する。その後この固有値の御利益の数々を行列の三角化、対角化、非負行列のプロベニウス根等の話題を通じて感得する。この講義の締めくくりは経済学、オペレーションズ・リサーチ等で理論、計算の両面で重要で基本的な線形計画法である。

高等学校的な数学の得手・不得手とはあまり関係はないが、論理的能力または、ある程度の根気が必要である。講義すべき事柄が多く、講義中十分に演習する時間がないので、復習を各自で行っていただきたい。行列式、行列の階数、行列の固有値（固有ベクトル）を求めること、LPをシンプレックス法で解けること、等は単位取得の必要条件である。この必要



条件を満たさないで、試験を受ける等のいい加減な態度は慎んでいただきたい。

講義に出席することの利点を少しばかり列挙してみる。

- ①出席をとった場合、出席点がもらえる。試験の成績が合否のボーダーラインの時、この出席点が合否の別れ目となる。
- ②教科書のどこに重点をおいて学習を進めていけばよいか分かる。
- ③教科書のなかで試験に出ない部分、すなわち、講義で省略した部分分かる。
- ④上記の②③のため試験前の勉強の時、貴重な時間を無駄にしないですむ。
- ⑤教科書にのっていない内容を講義した場合、それを聴くことができる。

情報処理 I, 応用数学(解析)とともに、管理科学科の学生は必ず履修することが望ましい。  
教科書: 沼田 久, 行方常幸ほか著『線形数学(改訂)』(富士書院)

### 応用数学(解析)

助教授 行方常幸

管理科学, 経済学などを学ぶために必要である微分方程式, 差分方程式の解法を中心に講義する。微積分に不慣れな人のために前期の最初の時間に必要最小限の事を講義する予定である。時間の許す限り講義時間中に演習を行う予定であるが, その際, 分からないことは質問すること。分からない, 難しすぎる, 講義のスピードが速すぎる等の声を耳にする時もあるが, 難しい分からないことであるから皆で学習するのではないかと, 私は思っている。

また, 講義のスピードを遅くする方法は私が困るほど講義中に質問することである。時間が許せば, 上記の微分方程式, 差分方程式以外の話も行うつもりである。

講義に出席することの利点を少しばかり列挙してみる。

- ①出席をとった場合、出席点がもらえる。試験の成績が合否のボーダーラインの時、この出席点が合否の別れ目となる。
- ②教科書のどこに重点をおいて学習を進めていけばよいか分かる。
- ③教科書のなかで試験に出ない部分、すなわち、講義で省略した部分分かる。
- ④上記の②③のため試験前の勉強の時、貴重な時間を無駄にしないですむ。
- ⑤教科書にのっていない内容を講義した場合、それを聴くことができる。

「数学」は履修済みであるとして講義を進める。応用数学(代数)とともに履修することが望ましい。

教科書: 須田宏著『差分方程式・微分方程式』(培風館)

### 応用数学(統計 I)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト: 竹内清, 佃良彦編『経営統計学』(有斐閣)

### 応用数学(統計学 II)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト: 坂元慶行他著『情報量統計学』(共立出版)

### 情報処理 I A

(前期) 助教授 中村隆志

情報処理 I は A と B の 2 クラスに分かれており, 各学年とも管理科学科所属者が受講するのがこの A クラスである。

前期はパソコンの基本的な操作法と初歩的なプログラミング技法を修得することを目標とする。主な内容は次のとおりである。

- ・ワープロソフト(一太郎)による文書作成 2回
- ・キャンパス・メール(Mail Runner)利用法 1回
- ・Turbo Pascalによるプログラミング 約11回

テキスト: 黒瀬, 松尾: 『Turbo pascalプログラミング』(森北出版)

脇: 『一太郎Ver. 3を使いこなす』(講談社 ブルーバックス)

### 情報処理 I A

(後期) 教授 若林信夫

後期には, 主として, 情報処理センターの汎用大型計算機 FACOM M760/6 を利用して情報処理技術の基本用語, 基礎的な原理, 算法(アルゴリズム), プログラム言語について講義, 演習を行う。プログラム言語としては, FORTRAN77, Pascal, C, Lisp, SAS を選び, それらについて四則演算, 繰り返しの制御構造, 簡単なサブルーティン, 入出力の基礎を演習する。

教科書は指定しない。各自, 上記のいずれか一つの言語のエキスパートになれるよう自習書を選択すること。講義時には毎回1枚以上講義資料を配布する。

小テストを3回, 自習言語の冬休みレポート, 定期試験がある。試験は持ち込み可。

汎用機を利用するのでセンターからユーザーID(登録番号)を取得しておくこと。

また, センター発行の「利用の手引き」を入手しておくこと。

### 情報処理 I B

(前期) 助教授 奥田和重

情報処理 I は近年履修者が増えているので A クラスと B クラスに分けている。管理科学科以外の学科所属者が受講するのがこの B クラスである。本講義では, コンピュータを仕事や研究の道具として活用できるようにすることを目的とし, その利用法の基礎を学ぶ。前期の内容は以下のとおりである。

- (1) コンピュータの仕組み
- (2) ワープロソフト(一太郎)による文書処理
- (3) 表計算ソフト(Lotus1-2-3)によるデータ集計処理

この講義では実習を行うので, 3.5インチ2HDフロッピーディスクを1枚用意しておくこと。  
教科書: プリントを配布する。

### 情報処理 I B

(後期) 教授 杉本英二

前期でパソコンの操作法を学んでいますから, 後期はその応用です。講義のねらいは, 情



報処理技術の応用力をつけることです。以下の項目を用意しています。

- ワープロ、ロータスの応用
- コンピュータ通信と情報化社会
- 電子メールシステムと実習
- Turbo Pascal によるプログラミング (テキスト未定)

(履修条件) 各自が自習のための実習時間を、講義以外に1週間に1時間半ほど用意して下さい。講義中の実習だけでは、レポートの提出が出来ません。

## 情報処理 II

教授 杉本英二

人工知能の応用分野で使われている次の3つのテーマについて、解説する。

- 1) エキスパートシステム 2) Prolog言語 3) 自然言語処理

エキスパートシステムのテキストは①を使う。ここでは、知識表現・推論方式などについて概括的な理解が得られるようにする。人工知能分野の例題をプログラミングするためProlog言語を使う。これにはパソコンで動くRUN/PROLOGを使うので、自宅のパソコンでも利用できるだろう。テキストはあまり良いものではないが②。自然言語処理のテキストは③を使う。自然言語処理と言うのは、人間の言葉をコンピュータに理解させることを目標とする学問・技術である。授業は、テキストに沿って進むから学習は見通しが良いだろう。また、実習はProlog言語だけだから安心して下さい。

テキスト:

- ① 戸内順一「人工知能入門」啓学出版 ¥1,500
- ② 齊藤 孝「RUN/PROLOG」HBJ出版局 ¥1,600
- ③ 岡田直之「自然言語処理入門」共立出版 ¥2,230

(履修の条件) 実習は講義時間以外に各自で2時間/週を用意すること。というのは、授業でも最低限の実習はするが、それは各自が実習するための導入であって理解させるためのものではないからです。講義は年間45時間程度しかなく、その半分の時間を実習に当てたとしても20時間程度であり、それではプログラミングの理解には到底足りないからです。

## 情報処理 III

教授 戸島 熙

この講義では「AI (人工知能) のアセンブリ言語」といわれるLispを扱うが、その目的は2つある。ひとつはLispプログラミングに受講者が習熟することと、もうひとつはプログラミング言語の理論的諸問題をLispに即して解説することである。

テキストとしては

湯浅太一・萩谷昌己, Common Lisp入門 (岩波コンピュータサイエンス)  
岩波書店, 1986年

を予定している。

受講者は情報処理センターのライセンスを更新しておいてほしい。また、3.5インチの2HDフロッピーを1枚用意し持参されたい。

講義は原則として情報処理センターで行うが、時には教室で行うこともあるので掲示や口頭の指示に注意してほしい。さしあたって第1回目の講義は教室で行う。

## 情報処理特講 (後期)

非常勤講師 土谷 浩

この講座では、現在、世界でもっともひろく使用されている事務処理用のプログラム言語であるCOBOLを研究する。

この言語は、ひとつのプログラムがほとんどそのままの形式で、パソコンから超大型までのコンピュータにその機種を問わずに使用できるのが特長である。

また、この言語を学習することにより、一般企業で行われている情報管理の手法などを理解することができる。

なお、情報処理技術者試験にもCOBOLによるプログラムが出題されるし、高校の商業科などにおいても基本的な言語として学習されている。

主な内容は、基本的な入出力の手法、表を利用した処理、順ファイル、索引ファイル、および相対ファイルなどのファイルの処理方法である。

授業の形態は、講義と主としてパソコンを利用した実習が同じくらいの率で行われる。

テキストは、講義のときに配付する。



## 6 教 職 科 目

### 教育基礎論 I

助教授 上野 耕三郎

あなたがたは新聞を毎日読んでいますか？社会面であれ、家庭欄であれ、「教育」がとりあげられていない日は少ないぐらいです。今の日本では、あげたらきりのないほどの問題が「教育」問題として、あるいは「学校」教育問題として語られています。「いじめ」「校内暴力」「中退」「受験競争」等々、それらが語られるとき、必ずといってよいほど、「現在の学校の管理体制が……」「サラリーマン的教師が……」式の「評論」がついてまわっています。もうその種のものの言い方にはいささか飽き飽きしているのではないのでしょうか？

私は飽き飽きしているひとりなのですが、それは『もう「評論」には飽き飽きだ、今こそ「実践」を！』という意味ではありません。なぜならば「私はこうしていじめをなくした」「私は中退をこうして防いだ」という実践例もまたごまんとあるのですから。

私の「飽き飽きしている」という意味は、その種のものの言い方の空虚さでもいうものです。だから、それにかわるあらたな、ものの言い方を見つけることがこの授業でのねらいです。したがって、「こうすれば学校はよくなる」「こうすれば落ちこぼれがなくなる」というような「理想的学校」論あるいは「理想的教師」論を語ることはひとまず脇へおいておきます。というより、その種のものの言い方が批判の対象となることにもなります。

具体的には「いじめ」「校内暴力」「校則」「中退」などの問題をとりあげ、そこから「学校」「子ども」「発達」のありようを探っていくことにします。一年間の具体的な授業内容については最初の授業でプリントを配ります。必ず出席するように。

### 教 職 演 習 (後期)

助教授 土屋 文明

広義の「教育方法」が、講義内容となる。「教育方法」は、教授法(狭義の教育方法)、教育課程(カリキュラム)論、視聴覚教育(教育機器)論、生徒指導論、教育評価からなるというのが、一般的な考え方である。本年度は講義形式とし、教育技術、教材研究、視聴覚教育、教育評価等の問題について考えていくこととする。教材はプリントを使用し、プリント作成の際に参考・利用した主要文献は、紹介する。

### 商業科教育法 (前期)

非常勤講師 横川 義雄  
(札幌大学名誉教授)

日本商業教育「流通経済」「国際経済」「簿記と会計」「情報処理」「商業実践」と「課題研究」という6つの教育分野を中心として、とくに中堅管理者の能力育成の目標を導入した今日、新しい教育理念のもとに研究と指導の役割を演ずるものの育成をめざしたい。

(I) 日本の産業構造の経済学的分析と教育的価値観の変化

(II) 職業教育に関する現代的視点

—流通経済、簿記会計、情報処理教育の中に人間形成の特色を模索する—

### (III) 改訂学習指導要領の展開

- A) 後期中等教育のめざすもの—それは生涯学習教育の中での問題解決に向けて—
- B) 商業教科の Curriculum の編成について

• —基礎的教養教育科目と商業という専門科目の関連性を学年単位配分よりみる—

### (IV) 商業教育の新しい目標と科目の配分

- A) 商業教育の新しい目標にみる管理能力という「経営教育」の必要性
- B) 日米の商業教育の目標の比較分析
- C) 商業科目群の配分

「流通経済」「国際経済」「簿記と会計」「情報処理」の4つの分野からの特色

### D) 問題解決能力の育成

### (V) 学習指導の三つの課題

自発性の原理、生活化の原理、個別化・社会化の原理を通じ、商業教育推進のための教育条件の整備と学習指導の条件を理解させる。

### (VI) 学習指導の方法論

Lecture Method. Q & A. Recitation & Problem Solving M.

### (VII) 学習指導案の作成と教育実習について

テキスト：横川 義雄著 「経済学の発展理論」(増補版) 千倉書房  
河合 雲英編 「新商業教育論」 多賀出版

### 英語科教育法

助教授 高井 収

「英語科教育法」を理解するには言語学、心理学、教育学の基礎的知識が要求されます。前期にはそれらの分野が考察された言語習得理論を中心にして英語教育の本質や目的を検討し、後期にはその実践面を概観する予定です。授業はセミナー形式が多くなると思いますので学生諸君の積極的な参加が特に望まれます。

主な授業内容は次のとおりです。

1. 主な英語教授法の概観
2. 言語習得理論の理解
3. 学習指導案の作成とデモンストレーション

テキスト：H.D. Brown: Principles of Language Learning and Teaching  
(Second Edition), Prentice Hall.

### 道徳教育の研究 (後期)

非常勤講師 廣川 淑子

私達は、自然や身近かな人々や集団、社会や文化とのかかわりのなかで成長・発達してゆきますが、この過程で道徳的習慣や規則を学びとり、それを自己の願望や理想と関連づけながら、より普遍的な道徳を求めていこうとしています。講義では、道徳性の発達の過程を追い、それに即した道徳教育のあり方をさぐっていきたいと思います。

あわせて我国の近代学校における道徳教育のあり方をふまえて、現行教育課程における



「道徳」の位置を検討し、学校における道徳教育の役割、内容や方法について考察していきたいと考えています。

参考文献はその都度紹介しますが、文部省「中学校指導書 道徳編」(平成元年)は各自購入して下さい。

### 教育実践論 I (前期)

助教授 土屋文明

「生徒指導」が中心的な内容である。いま学校現場では、ひと頃ほどではないにしても、なかなか授業自体がなりたたなかったり、生徒指導全般がやりにくい状況があるといわれる。

これに対しては、粗くいうと、一方では生徒管理を強化する方策と、他方その逆に大幅に生徒の自主裁量を認め、その責任を多くもたせようとする方策が行われている。こうした問題をどのように考えればよいのか、模索していくことにしたい。教材はプリントを使用する。

### 教育実践論 II (後期)

助教授 土屋文明

「特別活動」が中心的な内容となる。「高等学校学習指導要領」第1章 総則では、「自ら学ぶ意欲」や「社会の変化に主体的に対応できる能力」の育成、また「個性を生かす教育の充実」がうたわれている。しかし、こうしたことは教師主導の教育活動が主に中心となる教科の授業の中では行われにくいという現状がある。そこで、生徒の自発的・自主的活動を時間・空間的に保障しようというのが特別活動のねらいとするところである。前半では、特別活動の歴史的な変遷と、新指導要領にある特別活動の中身について試みる。後半では、特別活動における教師の役割について考えていくことにしたい。教材はプリントを使用する。「教育実践論 I」の履修者が、講義対象者である。

### 職業指導

非常勤講師 松田光一  
(北海学園大学教授)

#### 職業指導講義内容

1. 職業について
2. 職業観の変遷
3. 職業指導の歴史
4. 職業的発達理論
5. 進路指導の管理と運営(1)
6. 進路指導の管理と運営(2)
7. 進路指導の実践(1)
8. 進路指導の実践(2)
9. 学歴と職業——学歴社会論をめぐって
10. 職業資格制度と教育機会の拡大
11. 学校における職業教育(1)職業高校の事例

12. 学校における職業教育(2)専修学校、職業訓練校の事例
13. 企業内教育訓練の推移
14. OJTとOff-JT
15. 技術革新と教育
16. 職場適応
17. 職業適正
18. 自己理解
19. 進路相談、カウンセリングの実際
20. 進路指導における個人理解の方法
21. まとめ

テキストは使用しない。

### 英語学概論

(前期) 助教授 下村五三夫

一般音声学と英語音韻論を教授します。講読資料は下村が予め用意します。特にガイダンスを行いません。最初の時間から講義をしますから、以下のトピックを参考に受講するかしないかを決めて下さい。最初の時間に出席した者のみ受入れます。出席はとりませんが、容認できない理由での遅刻と欠席は許しません。

1. 人類と音声——音声は何故線型なのか。
2. 音声分析と合成の歴史——踊り炎分析器からソノグラフまで。
3. 伝統的音韻論——音素と異音。
4. 生成音韻論——弁別素性と音韻規則。
5. 英語音韻論——生成音韻論で英語の音韻規則を構築する。

### 英語学概論

(後期) 助教授 津曲敏郎

後期では、英語の系統と歴史および現状を概観した後、英語とはどんな言語なのかを、発音、文法、語彙、文字などの面から見直してみる。欠席は理由の如何を問わず回数に応じて評点の際、減点される。遅刻や授業への実質的不参加も欠席に準じる扱いとなる。テキストは使用せず、必要に応じてプリントを用意する。

### 英語学 II

助教授 山本久雄

テキスト: *A University Grammar of English* by Randolph Quirk and Sidney Greenbaum.

本年度は第8章以降を取扱かう。単位認定に際しては出席と予習を重視する。遅刻は欠席と同じ扱いとする。



## 英文学概論

(前期) 教授 永原和夫

### 講義内容

1. 文学の本質と効用
2. 文学のジャンル
3. 文学の表現
4. モダニズムの文学

参考文献はその都度指示する。定期試験のほかにレポートを課す。出席を重視し、 $\frac{1}{3}$ 以上欠席する者は受験資格を失う。

## 英文学概論

(後期) 教授 菊池 昭

後期はアメリカ文学について講ずる。初めに、世界文学的観点からみたアメリカ文学の位置について述べ、ついでアメリカ文学をアメリカ文学たらしめている諸特徴について、文学形式、題材、技法等さまざまな方面から検討を加えつつ、アメリカ文学に対する理解と関心を導き出すことを目指す。

欠席をしないことが必要条件。4回以上欠席した者の成績評価はしない。遅刻は欠席と同じ扱い。

## 英文学 II

助教授 君羅久則

William Shakespeare, *Macbeth*. (研究社小英文学叢書)

シェークスピアの4大悲劇の1つを取り上げる。最初の授業時間から講義を行うので最初も含めて毎週きちんと出席することが必要である。

### 参考文献

C. T. Onions, *Shakespeare's Glossary* (Oxford; Kinokuniya Reprint, 1978).  
志子田光雄著「英詩理解の基礎知識」(金星堂)

## 英文学 III

助教授 杉村泰教

ウィリアム・ゴールディングの代表的な小説『蠅の王』をとりあげ、小説の読み方や批評の方法について研究する。批評に関しては、作品を読んだ後、文献のコピー等を使って解説を行う。

テキスト: William Golding, *Lord of the Flies* (Faber and Faber)

参考書: 斎藤 勇『英米文学辞典』(研究社)

## 英会話・英作文

外国人教師 Michael Carr

Withrow, *Effective Writing*, (Cambridge University Press)

This is a demanding course in oral and written communication, and it is restricted to earnest students. Attendance is strictly required, and only three

unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from weekly tests, participation in class discussions, and from compositions which must be typewritten.



## 7 研究指導

### 井上教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

International Economic History, 1820-1940.

19世紀初頭のイギリス産業革命期から20世紀20～30年代の両大戦間期にいたる国際経済史を研究主題とします。具体的には、この時期における国際貿易・移民・資本移動・国際金融などの発展・展開過程をフォローすることによって、19世紀的世界と20世紀的世界を比較してみたいと考えています。

#### 2. 指導要領

3年次と4年次前半までの約1年半の間、国際経済史に関する英文テキストを輪読します。3年次末までに卒業論文のテーマを決めて、レポートを提出してもらいます。4年次の後半からは卒業論文の本格的な作成準備に移ります。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

テキスト：A.G.Kenwood and A.L.Lougheed, *The Growth of the International Economy, 1820-1980, An Introductory Text*, London, 1984.

参考書は適宜指示します。

### 遠藤教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

計量経済分析

#### 2. 指導要領

3年次：テキストの輪読。統計的推定、検定のための計算機の利用。

4年次：下記テキストをひき続き輪読。卒業論文の作成。

#### 3. テキスト

3年次：未定

4年次：Gregory C. Chow, *Econometrics*, McGraw-Hill, 1983.

#### 4. 参考書

和合肇・伴金美「TSPによる経済データの分析」東京大学出版会, 1988.

### 今教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

金融論およびマクロ経済学

#### 2. 指導要項

・3年次はテキストの輪読。

・4年次は、ひき続いてテキストを輪読し、その後、卒業論文の作成。

・各自が報告し、それをもとに質問、討論を行う。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

未定

### 佐竹教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

貿易政策-自由貿易主義と保護貿易主義について。

#### 2. 指導要領

3年次は下記のような国際経済学、貿易政策の教科書の輪読。4年次は卒業論文の指導。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

岩田一政『国際経済学』新世社, 1990.

Vousden, N. *The Economics of Trade Protection*, Cambridge Univ. Press, 1990.

Bhagwati, J. *Protectionism* MIT Press, 1988.

### 栗田教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

経済学史-19世紀後半の経済学

#### 2. 指導要項

3年次は、A. マーシャルの『経済学原理』を主要テキストとして、報告・討論を行う。また、各自の選んだテーマにそって、春休みのレポートを提出してもらう。

4年次の前半は、テキストの講読を継続し、後半から卒業論文の作成に向けて、報告・討論を行う。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

A. マーシャル『経済学原理』馬場啓之助訳, 東洋経済新報社, 全4冊。

### 本間教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

経済発展と農業問題

経済が発展するにつれて農業の役割、産業としての位置づけが変化するが、それに伴っ



てどのような問題が発生し、それをいかに解決していくかを理論的・実証的に検討する。トピックスには世界の食糧問題、途上国での農業収奪および先進国での農業保護、ガットと農業、環境問題と経済発展などが含まれる。

## 2. 指導要項

3年次：各種文献の講読と討論。（報告者は与えられたテーマについてレポートを提出する。）

4年次：卒論指導。

## 3. 指導テキストおよび参考書

農業経済学、国際経済学、経済発展論などの分野からいくつかをとりあげる。

## 板谷教官担当研究指導

### 1. 研究主題

“公共経済学とゲームの理論”

公共経済学は“市場の失敗”，“政府の失敗”，公的部門の経済運営，民営化といった問題を対象とする。

ゲーム理論は経済分析の手法としてきわめて有力なものであり，公共経済学にもしばしば応用される。

### 2. 指導要項

3年次から4年次前半まで，テキストの輪読，

4年次後半より卒論の準備。

### 3. 指導テキストおよび参考書

①Kreps, D.M., *Game Theory and Economic Modelling* Clarendon Press, 1990.

②Cullis, J.C. & Philip R. Jones, *Microeconomics and the Public Economy*, Basil Blackwell, 1987.

## 船津教官担当研究指導

### 1. 研究主題

国際経済に関する実証的研究

1. フリー・トレード・ゾーンの経済分析

2. 貿易保険の機能について

3. 自由貿易と所得分配

### 2. 指導要項

3年次においては，自由貿易論に関する英文原書を輪読するとともに，計量経済学の手法を学ぶ。

4年次においては，上記の3つのテーマに関してグループ研究を行い，各自の関心に従っ

て卒業論文を作成する。

### 3. 指導テキストおよび参考書

Adam Smith, *An Snguiry into the Nature and Causes of The Wealth of Nations*, 1976. The Univ of Chicago Press.

J. Johnston, *Econometrie Methods* 2nd ed, 1972. Mc Graw-Hill.

## 山本(賢)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

ミクロ経済理論—財・サービスの需要・供給に関わる各経済主体の意思決定をもとに，経済現象に関する検証可能な仮説をどのように導出したらよいか，を考えていきます。

### 2. 指導要領

3年次：3. でのテキストによって，ミクロ経済理論とそこで用いられる数学的手法，論理構成を身に付ける。

4年次：卒業論文の作成。卒業論文については，他のメンバーの論文に対するコメントを求めます。

### 3. 指導テキスト

3年次では次のテキストを用いる。

Avinash K. Dixit; *Optimization in Economic Theory*, 2nd edition. (Oxford, U.K.: Oxford University Press, 1990).

## 篠塚教官担当研究指導

### 1. 研究主題

ミクロ経済理論

### 2. 指導要領

3年次ではミクロ経済理論の理解に必要な不可欠な条件付最適化の諸理論について学習する。テキストの輪読が活動の中心となる。各報告者は，ゼミでの報告および演習問題の解答を通じて，ミクロ経済理論に関する理解が満足すべき水準に到達していることを論証せねばならない。これは単位取得のための必要十分条件である。従って，ゼミへの出席それ自体は単位取得を保証しない。

4年次では，卒業論文の作成にむけて，各自が選択した主題について報告・討論を行なう。

### 3. 指導テキストおよび参考書

A. K. Dixit, *Optimization in Economic Theory*, Second Edition, 1990, Oxford University Press.

条件付最適化の理論を学ぶ動機づけ等の点で有用な参考書は以下のとおり。



須賀晃一著『経済分析入門Ⅰ,Ⅱ』,1991,東洋経済新報社。  
西村清彦著『経済学のための最適化理論入門』,1990,東京大学出版会。

### 中村(健)教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

労働経済学は応用経済学としてきわめて多岐に亘る主題を持っている。このゼミナールでは社会的要因,歴史的要因が強く働いているように見える現実の労働市場の諸現象に対して近代経済学が,どの様な分析を行い得て,何を知り得るかを考えることを目的としている。

具体的にはミクロ経済学やマクロ経済学の応用としての労働経済学の様々な話題を学び,卒業論文を書くことが内容となる。

#### 2. 指導要項

下記(項目3)のテキストを3年次に輪読し,その中の一つの話題を選びだして,4年次に卒論作成として理論的サーベイや実証分析を行って貰う。

使用テキストが多少の数学的能力を必要とするので,初等的教科書を用いた経済数学の訓練期間を設けたい。

#### 3. 指導テキスト

テキスト

FALLON,P.& D.VERRY. "THE ECONOMICS OF LABOUR MARKETS"  
(PHILIP ALLAN)

経済数学教科書

アーチボルド&リプシー「入門経済数学」(Ⅰ・Ⅱ)多賀出版

### 高宮城教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

マーケティングの理論的・実証的研究

#### 2. 指導要領

3年次:マーケティング論の基礎知識修得のために,まず基礎文献の輪読を行う。今年度は2冊のテキストを同時並行して読む予定である。またほぼ毎回テキストの内容に関する演習課題を出す。以上と並行して3年次後半にグループで研究を行うことを求める。

4年次:文献輪読・事例研究と並行して,卒業論文の作成指導を教室での報告・討論と個別指導により行う。

#### 3. テキスト

(1) J. ランバン『戦略的マーケティング』(嵯峨野書院)

(2) 田内幸一『ゼミナール マーケティング 理論と実際』(TBSブリタニカ)

(3) 嶋口充輝・石井淳蔵『現代マーケティング』(有斐閣)

(4) 田村正紀『現代の市場戦略』(日本経済新聞社)

3年次生はゼミ開始時に上記(1)および(2)のテキストを用意しておくこと。また4年次生については(4)の終了後,卒業論文の主題に応じてテキストを決定する予定である。

### 穴沢教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

東南アジアにおける日系多国籍企業の行動を国際経営の観点から考察すると共に,東南アジア諸国の工業化ひいては経済発展と多国籍企業とのかかわりをも検討する。

#### 2. 指導要領

3年次:テキストの輪読・討論。

4年次:テキストの輪読・討論並びに卒業論文作成指導。

#### 3. テキスト

3年次の1冊目は吉原英樹他『日本企業のグローバル経営』東洋経済新報社,1988。

2冊目以降はおって指示する。

### 中浜教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

現代保険業の理論的・実証的研究

#### 2. 指導要項

3年次:研究主題に関する文献の講読。

4年次:前期は研究主題に関する文献の講読,後期は卒業論文の作成指導。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

未定ですが研究主題に関するものを選定します。

### 青山教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

銀行・証券制度に関する研究

#### 2. 指導要項

3年次:テキストの講読と討論。

4年次:テキストの講読と討論および卒論指導。

#### 3. テキスト

次の文献を予定している。



### 篠崎教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

日本的生産方式と組織

- (1) 日本的生産方式の現代的意義を多面的批判的に研究する。
- (2) そのような状況の中で個としての労働者がいかなる行動をしているのかを併せ考  
える。

#### 2. 指導要領

3年次：経営学の基礎，社会科学的なものの考え方を身につける。

卒論テーマを決定する。

4年次：具体的な事例を取り上げて理論的な分析を試みる。

卒論の作成に取り組む。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

内田義彦著『資本論の世界』岩波書店

ブレーバerman著，富沢賢治訳『労働と独占資本』岩波書店

鎌田慧『自動車絶望工場』講談社文庫

大野耐一『トヨタ生産方式』ダイヤモンド社

R.J.Schonberger, *Japanese Manufacturing Techniques*, Free Press.

### 小田教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

「日本と旧ソ連の企業経営比較」；

現在，旧ソ連の企業経営は，ペレストロイカや昨年「民主主義革命」それに続くソ連邦解体によって大きく変わりつつある。市場経済への移行に適合的な企業形態が模索されている。例えば，国有企業の従業員集団による買い取り・株式会社化，協同組合の結成，中小私企業の自由化等々。そのような模索の中で，日本企業のあり方も一つの有力なモデルとして参考にされている。そうした状況において，今年は，日本企業の経営体制と旧ソ連企業の経営体制を企業形態論的視点（「所有-支配-経営の相互関連構造」視点）から比較検討する事を試みる。

#### 2. 指導要項

3年次-テキストの輪読

4年次-卒業論文の作成指導

#### 3. 指導テキストおよび参考書

Paul R. Lawrence et al. *Behind the Factory Walls: Decision Making in*

### 鶴野教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

企業の組織行動，組織行動の理論を取り扱います。

コンティンジェンシー理論により蓄積された研究成果をまず学習してもらった後，実際の組織行動，及び組織構造のデータを収集してもらい，さらにそれを多変量解析を使って分析してもらいます。

#### 2. 指導要項

3年次及び4年次の前半：テキストを講読します。

4年次の後半：卒業論文の作成の指導をします。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

Judith R.Gordon, *Organizational Behavior*, (Second Edition) Allyn and Bacon Inc.: Boston, 1987.

岩田暁一，『経済学のための統計的方法』（第2版）．東洋経済新報社。

竹内啓監修，『SASによるデータ解析入門』東京大学出版会。

以上のテキストを予定しています。

### 李教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

グローバル経営戦略に関するclassicalな文献の論読を土台に，最近国際経営戦略の主要課題の一つである「国際的企業協調戦略」のrationaleについて研究する。

#### 2. 指導要項

3年次：英語の文献の論読及び討論

4年次：卒業論文の作成

#### 3. 指導テキストおよび参考書

① James C.Baker, et al., *International Business Classics*, Lexington Books, 1988.

② Farok J. Contractor and P. Lorange, *Cooperative Strategies in International Business*, Lexington Books, 1988.

### 久野教官担当研究指導

#### 1. 研究指導

会計学（財務会計）



参考までに小生の現在の関心領域を示せば次のとおりです。

アメリカ会計史  
会計原則構造論  
財務諸表分析論  
インフレーション会計論

## 2 指導要領

### 3年次：

和書による基本的会計理論の修得と英書による読解力の養成

### 4年次：

卒業論文の指導——各ゼミナリストの発表に基づく質疑応答と助言

## 3 指導テキストおよび参考書

3年次の4月から使用する最初のテキストは武田隆二、『会計学一般教程（第2版）』（中央経済社，1991）であるが，その他の参考書については，必要に応じて紹介する。

## 山本(真)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

簿記論および財務会計論。私自身は，会計測定論および会計情報論に興味をもっている。

### 2. 指導要項

3年次前半：邦語文献の講読およびレポート（会計学の基礎の修得）。

3年次後半：外国語（英語）文献の講読。

4年次前半：上記の継続。

4年次後半：卒業論文の作成指導。

### 3. 指導テキストおよび参考書

邦語文献：飯野利夫，『財務会計論（改訂版）』（同文館），および『会計法規集（最新版）』（中央経済社）

外国語文献：未定，ゼミ生と相談して決定します。なお1991年度は，Robert N. Anthony and James S. Reece, *Accounting: Text and Cases*, 8th ed. R.D.Irwin/Toppan, 1989.

## 松本教官担当研究指導

### 1. 研究主題

簿記，財務会計論，および国際会計論

### 2. 指導要領

上記3つの研究主題について，数冊の文献の輪読および討論を重ねる。なお，長期休暇期間には，会計に係わる指定図書を読んでもらいます。4年次生については，卒業論文の

作成を最終目的として，各自の選択したテーマについて，発表と討論を重ねます。

## 3. 指導テキストおよび参考書

上記の研究主題ごとに，主として次の文献を取り上げる予定でいます。

〈簿記〉久野光朗編著『簿記論演習』同文館

〈財務会計論〉若杉明『クイックマスター 企業会計』東洋経済新報社

吉田寛『改訂 制度会計論』税務経理協会

〈国際会計論〉野村健太郎・平松一夫監訳『国際会計入門』中央経済社

## 中教官担当研究指導

### 1. 研究主題

管理会計論

財務諸表分析

卒業論文のテーマとして財務諸表分析を選択する場合には，とくに，統計学と情報処理の学習が必要になる。

### 2. 指導要領

3年次：管理会計および原価計算に関する基礎的な知識を習得するために教科書的な文献を輪読する。英語文献を取り上げる予定である。

4年次：各自の選択した卒業論文のテーマにそって指導する。

## 福島教官担当研究指導

### 1. 研究主題

原価計算および管理会計

### 2. 指導要領

3年次の前半では基本的な原価計算あるいは管理会計のテキストによって基礎知識を身につけ，その後半から4年次にかけて英語文献の輪読によって理解を深める。ひきつづき卒業までに，各自選択したテーマで卒業論文を執筆する。

いずれの段階においても，単なる知識の修得にとどまらず，討論を通じて研究主題特有の発想をつちかうことを目標にする。

### 3. テキスト

使用するテキストは未定で，後日ゼミ生と相談して決めるが，たとえば邦文テキストとしては辻厚生編著『管理会計の基礎理論』（中央経済社，1985），また英文テキストとしてはD.T. De Coster, E. S. Schafer and M. T. Ziebell, *Management Accounting: A Decision Emphasis*, 4th ed., 1988 ないし A. R. Drebin and H. Bierman, *Managerial Accounting: An Introduction*, 3rd ed., 1978などを考えている。



#### 4. 留意事項

ゼミ生には旺盛な研究意欲とともに地道な学習努力を要求する。

### 片桐教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

商業・流通の理論的・実証的研究

#### 2. 指導要項

3年次：商業・流通論の基礎知識を修得するために基礎的な文献を輪読する。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

最初は以下のテキストを予定しているが、ゼミ進行のなかで基礎文献等適時指示する。

徳永豊「アメリカの流通業の歴史に学ぶ」(中央経済社)

### 田中教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

公認会計士、税理士およびその他の会計スペシャリストに必要な簿記、会計学、原価計算および税務会計(特に法人税法)の基礎と応用について。

#### 2. 指導要領

テキストの論説、討論と解説を中心として。

#### 3. 指導テキストおよび参考文献

井上達雄・新井清光編著「検定簿記講義」(商業簿記2級, 1級, 会計学), 中央経済社  
番場嘉一郎・岡本 清編著「検定簿記講義」(工業簿記2級, 1級, 原価計算1級) 中央経済社

武田隆二著「簿記一般教程」(改訂版), 中央経済社

武田隆二著「会計学一般教程」中央経済社

飯野利夫著「財務会計論」(改訂版), 同文館

岡本 清著「原価計算」(四訂版), 国元書房

山上一夫著「法人税法解説」税務研究会出版局

#### 4. 留意事項

予習・復習は完全に実施すること。予習をしていない者は、ゼミナールに出席してはいけない。

### 和田(完)教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

産業精神衛生

職場の心理的、物理的環境が、そこで働く者の精神的健康に与える諸影響について臨床心理学的立場から考察する。

#### 2. 指導要項

3年次：臨床心理学的知識の学習

4年次：早期に卒論のテーマを決定し、それに関連する専門的知見の修得に当てる。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

原則として教室で用意する。

### 結城教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

近代立憲主義並びに現代憲法学における基本問題。

#### 2. 指導要項

3年次：課題とテキストの項目を分担し、報告と討論を行う。

4年次：卒論の作成と報告。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

未定。

### 秋山教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

テーマ：「国家賠償法の判例研究」

ねらい：違法な公権力の行使や欠陥のある公の施設に起因する損害賠償請求訴訟から、興味を引く事例を集め、具体的なケースの検討を通して、行政法の一般理論と判例法理を研究する。

#### 2. 指導要項

毎回一人報告、それに基づくコメントとディスカッション。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

判例時報を使用する予定、具体的にはゼミの際に指示する。

### 神田教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

民法学における重要問題の研究。

(財政法の領域を中心とする。但し、学生の希望があれば家族法の部分をもとりあげる。)

#### 2. 指導要領

重要判例もしくは事例問題の検討をとおして、民法の全体像、運用の実際を理解すると



ともに、民法学上の現代的課題を研究する。

毎回2名から研究の結果を報告してもらい、それをうけて全体でその当否を論議し問題点を究明する。毎回、全員から各自の回答の要旨を提出してもらう。

### 3. 指導テキストおよび参考書

テキストは検討中。なお、「民法の争点I, II」および「民法判例百選I, II, 第II版」(いずれもジュリスト別冊)は、副本として用いることが確実なので予め購入されたい。

## 藤原教官担当研究指導

### 1. 研究主題

民法学上のテーマを中心とする私法上の法制度の検討を通じて、法律的な思考能力のトレーニングをすることが目標。

### 2. 指導要領

3年次：下記のテキストを用いて民法上の基本的な制度を学ぶ。

4年次：昨年(浅木ゼミナール)と同様のテキストを用いて金融法務を学ぶ。だから本年度は担保法が中心となる。後半は卒論の準備に力点が置かれることになると思われる。

なお、3年次生については、毎回一個のテーマについてレポートを提出することが義務である。添削の上次週返却する(これは、教師の義務)。

### 3. 指導テキストおよび参考書

3年次：「民法判例百選I, II, 第III版」(ジュリスト別冊)をテキストとする。  
他の参照文献は追って指示する。

4年次：昨年どおり。

## 中村(恵)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

「国際法上の基本問題」

### 2. 指導要領

3年次：国際法に関する外国語文献の輪読および国際法判例の研究。

4年次：卒業論文作成指導。

### 3. 指導テキストおよび参考書

文献および判例の検索方法を指導した後、各自が選択したものを使用する。

## 青竹教官担当研究指導

### 1. 研究主題

会社法の研究

### 2. 指導要項

会社法に関する具体的問題および判例をテキスト・参考書より取り上げて報告・討論してもらい、会社法が実際の企業活動とどのようにかかわっているかを知ってもらうことをねらいとする。

なお、4年次の後半は卒論作成を中心とする。

### 3. 指導テキストおよび参考書

(1) 上柳・鴻・竹内編『会社法演習』(有斐閣)

(2) ジュリスト別冊『会社判例百選(第5版)』(有斐閣)

## 町村教官担当研究指導

### (3年次)

福永有利=井上治典『民事の訴訟』筑摩書房を用いて、民事訴訟法の基本的理解を体得するとともに、法的問題の解決に必要な文献判例等の資料検索方法の訓練を行う。

後期以降は未定だが、参加者の希望を加味して方針を決定する。

### (4年次)

ルーチンワークとして新堂幸司ほか編著『考える民事訴訟法(第三版)』弘文堂を用いた演習を継続する。そして随時、卒業論文に向けての研究発表を実施する。

## 和田(健)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

カルテル規制の研究

### 2. 指導要項

上記のテーマで2年間研究する。各自に研究課題が与えられ、順次研究報告をしてもらう(年に4~5回)。

4年次の夏休み前から同時進行で卒論指導を行う。

### 3. 指導テキスト・参考書

・和田健夫編・カルテル規制(*unpublished.*), その他多数の個別論文。

・経済法の講義で指示された文献を参照せよ。

## 島田教官担当研究指導

### 1. 研究主題

変容する労働社会と労働法

国際化、情報化の波を受けて、労働法は大きな変容期を迎えています。本ゼミでは、こ



の現代労働法の流れを、特に国際比較の視点をふまえて、動的に把握することを目指します。この作業をふまえて、現代日本における妥当な労働法解釈論、立法論を探っていきたいと思います。

## 2. 指導要領

①判例研究 過去の重要判例および最新の裁判例を教材として、労働法の仕組み、解釈論を学びます。

②労働立法研究 育児休業法等、最近の労働立法についてその制定過程、内容等を研究します。

③比較法制研究 3年 R. BLANPAIN, E. KÖHLER "Legal and Contractual Limitations to Working-Time in the European Community Member States" (1988).

4年 R. Dore, "Japan at Work". (継続)

なお、4年次後半は、卒業論文作成の指導をおこないます。

## 3. テキスト

別冊ジュリスト 労働判例百選 (第五版)  
判例教材、英文教材等は都度指示します。

## 久々湊教官担当研究指導

### 1. 研究主題

知的財産権の研究

(テーマ例)

著作権法関係：コンピュータ、プログラム、ビデオレンタル、キャラクター商品、タイプフェース。

工業所有権法関係：バイオ特許、欧州特許、電子特許出願、短ライフサイクル意匠の保護、サービスマーク。

その他：トレード・シークレット。

### 2. 指導要項

3年次：著作権法の判例研究を通して著作権法の概要を把握する。

4年次：広く知的財産権の中から卒論のためのテーマを選択し、前期はテーマとの関連で判例又は文献を選定して研究発表し、討議を受ける。

### 3. 指導テキストおよび参考書

著作権判例百選 (別冊ジュリスト)。(開講までに入手のこと)

## 清水教官担当研究指導

### 1. 研究主題

## 「国際経済法」

国際経済法という分野は、国際法のなかで国際経済関係の調整を目的とする部分とそれに関連する国内法を研究対象とすると考えられる。この研究指導においては、そのなかでも国際貿易の公的な規制に関する法律問題を取り上げる。中心的な課題は、ガットという法的枠組における貿易摩擦問題の取扱いと日本法、米国法、カナダ法、EC法等における関連問題の検討である。

## 2. 指導要領

3年次及び4年次前半：適当な指導テキスト(英文)を講読しつつ、ガットの紛争処理手続きにおいて扱われた具体的な事例等を検討する。

4年次後半：卒業論文作成の指導を行う。

## 桑原教官担当研究指導

### 1. 研究主題

国際取引法上の諸問題

国際的売買・国際的支払・国際的運送・国際的保険・国際私法に関する諸問題。

### 2. 指導要項

3年次および4年次前半：下記指導書の輪読。

4年次後半：卒業論文作成指導。

### 3. 指導テキストおよび参考書

指導書：高桑他編『国際取引法』(青林書院)

Schmitthof's Export Trade 9th ed.

参考書：澤田他編『国際取引法講義』(有斐閣)

## 若林教官担当研究指導

### 1. 研究主題

「管理科学の基礎的研究」

・生産在庫輸送計画とエキスパートシステム

・現代ゲーム論理の基礎と応用

・ハイパーメディアと印刷術

・データベースと暗号学

・UNIX と MS-DOS

### 2. 指導要領

・管理科学の幅の広いものの見方や考え方を養う

・英語論文・テキストの輪読と情報処理センターでの演習

・卒業論文の作成上の指導、プレゼンテーション



・NEXTワークステーションの利用

3. 指導テキストおよび参考書

Robert Sedgewick *Algorithms*, Addison-Wesley.

### 戸島教官担当研究指導

1. 研究主題

数式処理システムおよびそれを効率よく走らせるためLisp処理系（インタプリタとコンパイラ）の研究と開発。

2. 指導要項

数式処理システムはREDUCEを対象とし内部構造を解読する。

Lispに関しては、Basic, Pascal, Cなどで記述された小規模なLispインタプリタを対象にその機能を拡張しそれらの上でLispで記述されたLispコンパイラを走らせる。コンパイラは新しく開発するものか既存のものを使用する。

3. 指導テキストおよび参考書

必要に応じてその都度指示するが、次の文献はLispプログラミングを行う者にとっては必読書のひとつである。

Winston and Horn, *LISP* (2nd ed.), Addison-Wesley, 1984.

なお、REDUCEについては

Anthony C. Hearn, *REDUCE User's Manual Version 3.4*, RAND, 1991.  
が基本である。

### 沼田教官担当研究指導

1. 研究主題

オペレーションズ・リサーチ (OR) とその関連分野

ORや品質管理 (QC) の考え方を身につけ、広く手法を学び、適用対象について考察する。

2. 指導要領

3年次：英文のテキストにより、基本的な勉強をする。英語の専門書を読む訓練でもある。

4年次：できるだけ早期に卒論のテーマを決め、現実問題に則した勉強をする。

3. 指導テキストおよび参考書

William P. Cooke, *Quantitative Methods for Management Decisions* (McGraw-Hill, 1985, International Student Edition.)

4. ゼミ所属の条件

イ. 管理科学概論履修済みのこと。

ロ. 応用数学 (代数) に合格すること。

ハ. 情報処理 I 不合格の場合はゼミを辞退してもらう。

### 杉本教官担当研究指導

1. 研究主題

情報処理と人工知能

次のサブテーマを中心に学習・研究します。

1) 情報処理技術



- 2) コンピュータの基本構成
- 3) ニューメディアと戦略的情報システムの動向
- 4) 人工知能とエキスパートシステム
- 5) 人間の言語情報処理システム (主に、日本語意味理解システム)

## 2. 指導要領

3年次生は、上記5つのサブテーマについて、基本的な理解を養う。

プログラミングは主に4年生の指導で行う。

4年次生は、サブテーマの中から興味のあるものを選び卒論研究とする。

## 3. 指導テキストおよび参考書

ウルマン, エイホ「データ構造とアルゴリズム」

柴谷, 影山, 田守「言語の構造」

その他、必要な資料は配布、または指示します。

## 加藤教官担当研究指導

### 1. 研究主題

地域計画科学及び意志決定にかかる数量化技法などの研究：計画科学の方法論、とりわけ魅力ある地域形成に向けて策定される計画そのものと、その計画づくりの際に適用される種々の数量化技法についてできるだけ具体例を用いて学習する。輪読方式 (和・英併用)。また、社会情報の収集・処理・並びに効果的利用のあり方などについても触れる。

注) より現実的、操作性を考えるため極端に難解な数学的アプローチはとらない。

### 2. 指導要項

卒論のテーマ及び使用テキストなどは適宜相談して決定する。

3年次：調査研究資料を含めた使用テキストを決め輪読方式で研究し、地域開発プロジェクト策定のなかで適用されている技法の研究を中心に行い、議論を通して卒論テーマ設定に向けた絞り込みを行う。3年次末を目途に卒論テーマを決める。

4年次：各自の卒論の作成・報告を行う。

前年度、3月度に決定している卒業論文のテーマについて以下の項目に従って整理していく。

- 1) 目的 (計画情報の創出の視点から)
- 2) 課題・論点
- 3) 三ポイント表現 (くだけた表現-就職面接対応用)
- 4) キーワード, キャッチフレーズ
- 5) 想定しうる目次
- 6) ユニーク性 (自分の卒論の売り込む点, 目玉)
- 7) アイデアの必要性
- 8) 適用計量化技法

- 9) データの存在
- 10) プログラムソフトの有無 (ソフト開発が目的でない)
- 11) 野外調査の必要
- 12) 関係官庁との関係
- 13) 作業量 (全体, 議論, アンケート, インタビュー調査)
- 14) 想定しうる作業行程
- 15) やりがい度
- 16) 文献検索・整理
- 17) 期待される具体的成果 (3点)
- 18) 今後の応用的展開性
- 19) 就職分野との関連からの応用的展開性
- 20) 今後の研究課題 (後輩への「卒論」の課題継承)

### 3. 指導テキストおよび参考書

特にないが、以下のものを適宜参考にする場合がある。

- (1) 計画科学, 開発計画などにかかる調査研究レポート。
- (2) 各国学会論文 (英) など。

## 中村(隆)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

応用待ち行列理論

### 2. 指導要領

3年次：テキストの輪読とコンピュータ・シミュレーション

4年次：卒業論文作成指導

### 3. テキスト

未定

## 奥田教官担当研究指導

### 1. 研究主題

生産システムに関する研究

物 (一般的な品物に限らず情報やサービスを含む) を製造するシステムである生産システムを対象にした生産計画, 生産実施, 生産管理の理論的研究を行う。

### 2. 指導要項

3年次：テキスト輪読, 文献紹介を通じて各自の卒論のテーマを選択する。

4年次：卒論のテーマに関する文献紹介および研究報告を行い卒業論文を作成する。

### 3. 指導テキスト



人見勝人：入門編生産システム工学，共立出版，(1991)

F.J.Gould et al.:Introductory Management Science,Prentice-Hall

4. ゼミ所属の条件

管理科学概論を履修済みのこと

管理科学通論,応用数学(代数),応用数学(解析),情報処理Iを履修していること。

### 行方教官担当研究指導

1. 研究主題

決定者が複数の場合の意思決定問題を扱うゲームの理論の基礎的研究

○非協力ゲームにおける均衡点

○特性関数型協力ゲームにおける種々の解(コア,安定集合,シャープレー値,仁,r値等)

2. 指導要項

テキストに沿って基礎理論の理解を深めてもらい,各自興味あるところをさらに調べ卒業論としてまとめてもらう。ゼミ中には,理論の細かい部分よりもその大まかな流れを例を通じて理解してもらう。

3年次:テキストの講読,演習

4年次:テキストの講読,演習及び,卒業論文の作成

3. 指導テキストおよび参考書

3年次:"Game Theory" 2nd ed. by Guillermo Owen 1982.

4年次:"Game Theory with Applications to Economics"  
2nd ed. James W. Friedman 1990.

### 山本(清)教官担当研究指導

1. 研究主題

非営利組織における情報システムと業績評価

2. 指導要領

3年次:テキストの輪読と討議

4年次:卒業研究

3. 指導テキストおよび参考書

テキスト, Neil Carter, Rudolf Klein and Patricia Day, How Organizations Measure Success-The Use of Performance Indicators in Government, Routledge, 1992 他

### 清水川教官担当研究指導

1. 研究主題

統計学

2. 指導要項

統計手法の使い方を学ぶ

3. 指導テキストおよび参考書

未定

### 永原教官担当研究指導

1. 研究主題

英米小説及び文芸批評

2. 指導要領

3年次:毎週短編小説一編を読み,発表・討論を行って文学研究の基礎を養い,あわせて現代文芸批評についても指導する。

4年次:各自の研究テーマについて卒業論文(英文40枚程度)作成を最終目的として報告と討論を中心にする。

3. 指導テキストおよび参考書

Brooks & Warren. *Understanding Fiction*

E. M. Forster. *Aspects of the Novel*

Wayne C. Booth. *The Rhetoric of Fiction*

原田敬一訳,「MLA新英語論文の手引」(北星堂)

### 君羅教官担当研究指導

1. 研究主題

英文学(シェークスピア及び英詩)

2. 指導要領

3年次:毎週英詩数編を読み,発表・討論を行い,英詩の分析法を中心に文学批評・研究の育成をする。

4年次:前半は3年次と同じ内容を受け,後半からは各自の研究テーマについて卒業論文(英文40枚程度)を最終目的として報告と討論を中心とする。

3. 指導テキストおよび参考書

C. Brooks & R. P. Warren, *Understanding Poetry*, 4th ed. (Holt, Rinehart and Winston, 1976)

F. T. Palgrave, *The Golden Treasury* (Oxford University Press).



原田敬一訳『MLA 新英語論文の手引き』（北星堂）。  
志子田光雄『英詩理解の基礎知識』（金星堂）。

### 杉村教官担当研究指導

1. 研究主題  
文芸批評
2. 指導要領  
3年次：現代の文芸批評を比較検討し、小説の様々な読み方を考える。  
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。
3. 指導テキストおよび参考書  
Terry Eagleton, *Literary Theory: An Introduction* (Basil Blackwell, 1983)  
岡本・川口・外山編『現代の批評理論』全3巻（研究社出版）  
原田敬一訳『MLA英語論文の手引（第3版）』（北星堂）

### 山本(久)教官担当研究指導

1. 研究主題  
生成文法理論
2. 指導要項  
3年次：毎週生成文法理論に関する論文を読み、生成理論の基礎を養成する。  
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心とする。
3. 指導テキストおよび参考書  
Andrea Radford. *Transformational Grammar*.  
原田敬一訳『MLA新英語論文の手引き』（北星堂）

## 8 一般教育ゼミナール

### 数 学

助教授 兼 岩 龍 二

今年は昨年からひきつづいて参加するという学生がいないので、テーマ・テキスト共未定です。集まった人達の希望を容れてどういふことを勉強するかを決めたいと思います。学年・既履修科目は問いません。ゼミの形式は輪読ゼミで、報告者に先生になってもらってテキストをわかりやすく解説してもらいます。参加希望者は4月24日(金)17:00に小生の研究室（新研究棟4階459）に集まって下さい。またこういうことを自分は勉強したいという具体的なものをお持ちの方はテキスト等の資料をそのとき持ってきて下さい。

### 数 学

助教授 池 田 薫

ロシアの数学者V. アーノルドの名著「古典力学の数学的方法」を読んで微分幾何学の勉強をしましょう。この教科書は力学という身近な話題から出発して現代微分幾何学を理解するのに必要な多様体のシンプレクティック構造にまで言及しています。日頃見過ごしがちなささいな自然現象のうらに隠された“美しい”数学の話がエピソードとして教科書の随所に盛り込まれています。予備知識はいりません。当ゼミ受講希望者は4月20日(月)PM4:30に旧研究棟532号室まで来て下さい。



## VII 平成4年度開講科目(夜間主コース)の講義要目

### 目 次

1 一般教育科目	149
2 外国語科目	151
3 保健体育科目	154
4 基礎教育科目	157



# 1 一般教育科目

## 哲 学

教授 渡 辺 祐 邦

現代のような激動の時代においては、確固たる思想的基準をもたない人はたちまち変転する外界の波に吞まれて自己を見失ってしまいます。それがどういう基準であってもいいのですが、哲学は他人の考えをただ正確に記憶して再現すれば良いのではなく、自分の体験を通じて自分の言葉で表現されねばなりません。

本講義はこの目的のために現代最大の思想家と言われるアドルノの著作を読むとともに、皆様にも日常体験した問題について書いたり、しゃべったりしてもらいます。たとえば、昨年度、学生が自主的に選んだテーマには、環境破壊、臓器移植、脳死問題、大学生イコール遊ぶ人か？、人生のうちの時間の価値などでした。

こういう問題について年間3回以上の発表をおこない、学年末には自分の考えをきちんと筋道を立てて話すことができるように、また他人の発表を聞いて、疑問点をまとめて質問したり、反対意見を堂々と言えるように訓練します。

テキスト：テオドール・W・アドルノ著、渡辺祐邦 訳、『三つのヘーゲル研究』、(河出書房新社)

## 心 理 学

非常勤講師 渡 辺 誠  
(小樽女子短期大学助教授)

知覚、人間行動の原動力としての動機づけ、知能、パーソナリティ、あるいは集団場面での行動や社会の中での適応と不適応といった問題を中心に、心理学の基本的な知見と考え方を学ぶ。なるべく多くの心理学実験や事例を紹介し、それらに基づいての説明を中心とした。

テキストは使用しないが、参考文献については講義の際に、その都度紹介する。

## ド イ ツ 文 学

教授 中 川 勇 治

ドイツ文学の史的展開を概観し、各時期の代表的な作品を紹介します。聴講者が——たとえ、数冊であろうとも——自ら作品を読む意欲をもやされるよう期待します。文学の受容とは、読者が作品そのものと対決することに尽きるからです。なお、導入として文芸ジャンル一般について説明をおこない、理論的な考察の基礎を準備する予定です。

参考までに、ドイツ文学とは直接に結びつきませんが、伊藤整の『小説の方法』を恰好な文学入門としておすすめします。

## 社 会 思 想 史

教授 倉 田 稔

昼間コースと殆ど同じ形式・内容・水準で行う。

講義形式で行う。大人数クラスである。



授業内容は次の予定である。

序

1. 中央ヨーロッパ  
特に権力掌握以後のナチズム
2. 西欧とアメリカ
3. ソ連  
特にスターリニズム確立以降
4. アジアと日本
5. 第2次世界戦争

ただし、進行具合では途中で終ることもありうる。

参考テキストとして

拙書『社会経済思想史文献(2)』

## 生 物 学

非常勤講師 金 沢 甫

いまや大腸菌も人も木や草も基本的には同じようなしくみで子孫をのこし、生命を維持し、生活していることが明かになってきている。生物学はこのしくみをより詳細に、より深く解明しようとして、多種多様の方面と方法から取り組んでいる。

限られた時間のなかで、それらの全体像を概観することだけでも容易ではない。そのため、ここでは、われわれの身体をはじめ、身近にみられる生命の営みの基礎的な現象や遺伝のしくみを中心にして、「人間の生物学」とでもいうことを述べていく予定である。それらを通じて、自然科学の思考性や論理性もつかいがい知ってもらいたいとも思っている。

なお、臨海実習を行って、ウニ胚の初期発生を観察することを予定している。

## 2 外国語科目

### 英 語

- E11A 非常勤講師 西村千稔  
(小樽女子短期大学教授)

大学で学ぶ方法論のうち、ニュークリティズムの context と contrast の習得を授業の目的として、テキストを分析します。

注意事項：どのような理由があっても、実施授業時間数の三分の二以上出席しなければ、定期試験の受験資格を失います。遅刻3回で欠席1回とみなします。

テキスト：江草 久司注解『サローヤン短編集』 成美堂 1,200円

- E12A (前期) 非常勤講師 伊藤義生  
(藤女子大学教授)

現時点でテキストは未定であるが、平易な英文で書かれた小説を講読する。予習は必須であり、毎授業時に分担発表が課せられる。出席率は評価に決定的に影響する。詳細は開講時に説明する。

- E12A (後期) 非常勤講師 布施英憲  
(藤女子大学教授)

テキスト：藤塚武雄編『The Young King and other stories』英潮社新社

- (1) Oscar Wildeの短編小説をゆっくり丁寧に読む。
- (2) 英語らしい生きた口語表現形式の理解と習得につとめる(120題)。
- (3) TOEFLのテープを使用して、英語聴解力について理解を深める。
- (4) 英語のreading と語彙・イディオムの習得を重視する。
- (5) 冬期休暇中に自学自習してもらう課題もあります。

- E11B 非常勤講師 宮町誠一  
(小樽女子短期大学助教授)

旧ソ連邦の崩壊により戦後の二極構造が解消され、世界は新たな秩序造りに向けてその胎動を始めている。様々な変化、混乱のさなかで日本とアメリカとの関係は今後の新世界構築に当たって、多方面に渡って大きな影響を与えかねない。今後の日米関係、及び21世紀の世界を考える時、アメリカに関する一般的な「神話」を克服した、より客観的、他面的な理解が求められるといえる。

ノルウェーのアメリカ研究者であるSirevag氏の著作を通じて、「自由と平等の国」というアメリカ神話を検討し、歴史的背景をふまえ、社会構造と教育の観点から現代アメリカに



迫りたい。

必要に応じて授業内容に関連する英文雑誌、新聞からの記事を紹介する。出席を重視し、毎時間英和辞典あるいは英英辞典必携。

テキスト Torbjorn Sirevag 著『American Patterns』(成美堂) 1,150 円

・E12B

非常勤講師 坪谷 雍子

Text : Hall Edward T.

The Dance of Life (Doubleday)

The best writing of Hall will explore your rapid and creative reading.

Class attendance is "must".

You will be graded by your class attendance and weekly report.

### ドイツ語 I

助教授 鈴木 将史

教科書：常木実著『新訂・常木初級ドイツ文法読本』(同学社)

平易な読本を用いた講読の授業を行います。教科書にはない練習問題も時折交えながら、ドイツ語の初歩的な応用力を養います。何事もそうですが、語学は特にスタートが肝腎、前半で不用意に欠席すると命取りになるケースがままあるので、気を付けて下さい。また継続も非常に大事で、1日に10数分でも教科書を開く癖をつけてしまうと、後半の勉強が各段に楽になります。

### ドイツ語 I

助教授 大塚 譲

一緒に楽しくドイツ語の勉強をしましょう。折に触れて言葉の背景を成す現代ドイツについてやや体系だった説明をします。初回到授業に参加する上での必要事項を説明いたしますので必ず出席して下さい。

テキスト：諏訪 功・重藤 実共著『800 語で学ぶ 基本コース・ドイツ文法』同学社刊  
1,300円

### フランス語 I

講師 尾形 弘人

身体を総動員してフランス語に挑戦しましょう。フランス語独特のリズム、メロディーをまずつかみ、そして徐々にテンポを上げていくようにします。

用書：丸山圭三郎著『丸山フランス語文法読本』(早美出版) ¥1,400

### 中国語 I

助教授 木之内 誠

中国語は、巨大な隣国の言葉として、私たちにとってのある意味で宿命的な重大さ、重要さをもっている。しかし、一部の文字を日本語と共有するとはいえ、その習得は、決して他の言語と比べてたやすいとはいえない。この授業では、使える生きた言葉をめざして、舌と耳を使ったトレーニングを着実に積み重ねていく。初めは発音を中心とした教科書にじっく

り取り組み、後期では講読的な教科書も使う予定。

教科書：植田渥雄著『会話で学ぶ中国語』(金星堂)

辞書：岩波中国語辞典(岩波書店)、簡約現代中国語辞典(光生館)、標準中国語辞典(白帝社)などが初・中級段階用として推薦できる。詳しくは授業開始時に説明する。

教材の録音テープ、中国映画ビデオなど各種の視聴覚素材が、L. L. 教室に備えられているので、各自十分活用してもらいたい。



### 3 保健体育科目

#### 保健体育理論 (前期)

教授 浅沼義英

大学生活やこれからの長い人生を健康で充実して過してゆくには、長期的にみた“体力”と“実践力”の養成が必要である。この体力とは、体が壮健であるだけでなく、同時に精神の強さと安定性を培って、活動力と創造性を高めてゆくことである。現代人の健康を脅かす原因は広い目でみると、生活習慣の誤り、社会生活環境の変化、自然環境の悪化などにある。病気を予防するためには、医学的な知識やその実践はひじょうに有効であるが、これだけではなく、積極的に健康の増進を図ってゆくライフスタイルがこれからは大切になってくる。このような状況と対策についてじっくりと考えてゆくには、大学時代が最もふさわしい。そこで、保健の基礎的な事項として次のような内容を取りあげる。

- ・予防医学の一般的な知識・成人病の青年期からの予防。
- ・食物と栄養の重要性。現代における問題点。
- ・生活のリズムと青年期の精神衛生。
- ・アルコール飲用の理解。タバコなどの習慣性の薬物。
- ・新たな感染症、公害、汚染などによる現代の病気。
- ・運動を中心にした能動的な健康増進法。

各講義で小感想文を書いていただきます。出席は成績の評価に加味されます。

#### 保健体育理論 (前期)

教授 田野有一

近年、急速に浸透しつつある労働時間の短縮、それに伴う余暇の増大、めざましい技術革新による労働作業形態の著しい変化、情報の氾濫と多様化によるストレス・・・、今や大きな社会問題を引き起こしている。この陰には、次第に運動不足に陥っている現代人の姿があり、動物が静物化しつつある現象が浮んでくる。これは高度経済成長を遂げた先進国国民特有の姿でもある。

これらの事実から、自ら運動・スポーツを実施する必要性について、大学生としてのレベルに合わせた知的理解と実践力を身につけるために、本講座では、以下に掲げる内容を講義する。

#### 1. 科学的トレーニングの理論と実際

- ① トレーニングの基本的な考え方
- ② トレーニングの原理と原則
- ③ 各種トレーニングの理論と実際

#### 2. 体育・スポーツする心にまつわる諸問題

- ① 運動の心理的効果について
- ② 発育・発達と心理について
- ③ 運動に対する心理的適応について

### 3. 現代社会と体育・スポーツ

- ① 社会の変貌と新しい体育・スポーツ
- ② 社会体育の概念と行政について
- ③ レクリエーション活動とレジャー問題

#### 体育実技 I

助教授 花輪啓一

助教授 中川喜直

#### 1. 履修方法について

- 1) 体育実技は必修科目であり、各自は所定(決定)のクラス(時間)に出席しなければならない。1年次では前期、後期をそれぞれ履修し、2年次では前期・後期のいずれかを履修する。
- 2) 1年次、2年次ともに前期・後期それぞれ『種目別(コース別)クラス制』であり、履修途中でのクラス変更は認められない。夜間主では2コースが開講されており、前期・後期でコースが入れ替わる。

#### 2. 共通実施種目について

- 1) 各クラスとも、オリエンテーション・体力診断テストが実施される。
- 2) 夏期休業中に実施される「水泳集中授業」、冬期休業中に実施される「スキー集中授業」は、『種目別(コース別)クラス』が解体され、各自がいずれかを選択し、履修(種目)決定ののち、班別(技能別)指導体制で実施される。
- 3) 水泳、スキーとも各自、単日(終日)集中授業形式(昼間と合併で行う)
  - ・水泳…本学室内(温水)プールにて実施する。  
4班(技能別)指導体制で実施する。
  - ・スキー…『キロロリゾート』スキー場(予定)にて実施する。  
7班(技能別)指導体制で実施する(非常勤講師4名が加わる)

#### 3. 種目別(コース別)クラス・担当教官

##### 1) 1年次…前期、後期とも開講

・水曜日第7講時…

IAクラス(前期…軽スポーツ 担当…中川)

(後期…レクリエーション 担当…花輪)

IBクラス(前期…レクリエーション 担当…花輪)

(後期…軽スポーツ 担当…中川)

#### 4. 体育実技履修カルテについて

- 1) 履修にあたっては、学生課への履修届とは別に、『体育実技履修カルテ』の提出が必要となる。このカルテには各自の写真(一葉)を貼付するので準備すること。履修ク



ラス決定後は、クラス担当教官によって履修内容・履修状況・合否判定等が記載され、担当教官が捺印し、次期クラス担当教官へ引き継がれる。

#### 5. 受講内容調査について

- 1) 毎講時、出欠・遅刻・早退・見学等を調査する。総授業時数の3分の2以下の者は、評価対象から除外されるので注意すること。
- 2) 身体上の理由により、1カ月以上（連続4回以上）にわたって受講できない場合は、医師の診断書の提出が必要となる。
- 3) 見学を希望する場合には、授業開始前にクラス担当教官へ申し出て許可を得ること。

#### 6. その他

- 1) 本頁に記載されていない具体的事項については、オリエンテーション時に説明するので、必ず出席すること。その他の諸連絡はすべて掲示によるので、充分注意すること。

### レクリエーション

助教授 花輪 啓一

自己への『気付き』をテーマに、遊び、走る、飛ぶ、蹴る、投げる、スポーツ・ゲームなどのワーク（身体活動）を通して、現在の自分自身の「からだ（体力・健康）」の状態にたいして再認識する。また、グループ・ワークではコミュニケーションを大切に、普段あまり考えたことのない『心の問題（ストレス）』について触れる。このように、体験学習を通して『心身への気付き』に焦点を絞り、各ワークでの楽しさの中から Total Health Promotion（心とからだの健康づくり）について考える。

### 軽スポーツ

助教授 中川 喜直

軽スポーツでは、それぞれがさまざまなスポーツを体験し、楽しみながらできるスポーツを見つけてもらうことに目標をおいていきます。2, 3週ごとに学生の希望に従っていく予定で、実際にできる種目は次の通りです。

例えば、バレー、バスケット、バトミントン、ドッチボール、ユニホック、フリスビー、水球、卓球、エアロビクス、サロンフット、綱引き、ボディビル・トレーニングなどがあげられます。授業の行進内容については、男女混合のグループ制をとり、グループが中心となって授業を進めるようになります。

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論

(前期) 助教授 篠塚 友一

入門レベルの経済学について講義する。主要内容は以下のとおり。

1. ゲームのルール
2. 合理的選択と個別利益
3. 経済的均衡と需要・供給の理論
4. 協力による利益
5. 効率的協力に対する障害
6. 衡平
7. 多数者間交換による利益：法、組織、および市場
8. 純粋競争の古典的モデル
9. 政府による市場介入：古典的異議
10. 独占力：古典的異議
11. 課税と公共支出：古典的ヴィジョン

教科書：E. S. Phelps, Political Economy An Introductory Text, 1985, W. W. Norton & Company, Inc.

### 経済学概論

(後期) 講師 中村 健一

後期では知識、手法とも前期との連続性を考慮して進めたい。内容としては、前期で講義されたマイクロ経済学の基礎的知識を用いて応用経済学のトピックスを取り上げ、それらの話題を生かすような形でマクロ経済学の入門的講義に接続したいと考えている。

内容予定

1. 最適化行動の復習
2. 家計と労働供給
3. 課税と家計の行動
4. 企業と投資
5. 課税と企業行動
6. 労働市場の諸問題
7. 企業と労働者
8. 競争市場の理論の復習
9. マクロ経済と貨幣
10. マクロ経済と政府
11. ケインズ経済学

参考書：PHELPS.E., 'POLITICAL ECONOMY' NORTON R. バロー 『マクロ経済学』（多賀出版）



## 商学概論

(前期) 教授 片桐 誠 士

(中期) 助教授 高橋 正 泰

(後期) 教授 渡辺 和 夫

この科目では商業・経営・会計に関する総論的な内容を講義する。それぞれの分野ごとに3名が分担しているので、受講者は各分野の相互関係に絶えず注意を払うようにしていただきたい。各担当者の講義目的はつぎのとおりである。

### I 商学部門 (4月～6月末)

担当 片桐誠士

自然発生的な分業を基礎とする社会では、経済発展にともない生産と消費の懸隔はますます拡大する。商業は、ともかく生産と消費の懸隔をうめ、需給調整機能を果たしてきたのである。資本制経済のもとでは、こうした流通機能を遂行するいくつかの流通活動が、それを専門的に遂行する専門業者として自立化する。すなわち、運送、保管、包装、保険、広告等々が、商業の分化として専門化し独自の部門を形成する。広義の商業の分化と純化が進展する。ひいては資本制経済の生成発展の過程で、広義の商学各部門の学問体系がいかなる必然性をもって生れてきたり、発展せしめられて今日の体系をなすようになったのかを明らかにする。

### II 経営学部門 (7月～10月末)

担当 高橋正泰

今日の産業社会において企業は決定的な役割を担っており、その企業経営の成否は単に企業だけでなく、社会全体にとっても重要である。したがって、企業は経済システムとしてのみならず、その経済的目的を達成するために社会的環境や他の様々な変化に適応することが企業には求められている。また、この経営に関する理論は、私企業だけでなく全ての協働組織体に不可欠なものである。この視点に立って、経営学を体系的に理解してもらうことが第一の目的である。そして、さらにこの講義から自分なりの問題意識をもってもらうことが重要である。

### III 会計学部門 (11月～2月末)

担当 渡辺和夫

会計学というのは主として企業の経営状況を計数的に把握することと関わっている。計数的に把握するといっても、全てが会計の対象となるのではなく、通常、それらは複式簿記の原理にのっとっている必要がある。会計学は複式簿記という特殊な技術を基礎に成立しているのである。したがって、会計学の学習に複式簿記の理解は欠かすことができない。しかし、ここでは会計学の概要を知ってもらうことが目的であるから、複式簿記の技術的な側面はできるだけ避けたいと考えている。それよりもむしろ、会計の社会的な役割をしっかりと理解することが大切である。われわれの身近には会計情報が多く存在している。そうした会計情報がなぜ必要なのか、それらの限界はどこにあるのか、それらを活用するにはどうしたらよいか、といったことを的確に理解することが重要である。

## 法学概論

(前期) 助教授 渡辺 達 徳

(後期) 教授 和田 健 夫

われわれが社会生活を営むために必要なルール、つまり社会規範の一つである「法」の仕

組みや機能などについて講義します。法律に初めて接すると、かた苦しい条文や、解釈と称する独特の技術になじめなかったり、違和感を覚えたりすることもあるでしょう。しかし、法学とは、法規を暗記するものでなく、「法」というフィルターを通して人間社会を考えるものです。したがって、法の考え方を身に付けることは、ほかの社会科学を学んでいくためにも有益といえましょう。

前期は主として「私法」と呼ばれる領域、後期は「公法・社会法」領域を中心として講義する予定ですが、具体的な講義予定及び参考文献については開講時にお話しします。

## 社会情報学概論

(前期) 教授 沼田 久

コンピュータや通信衛星、各種のAV機器など情報技術の進歩は、現代社会を大きく変え、情報社会と呼ばれるようになってきました。それはまた、巨大なエネルギーと進んだ生産技術が駆使される、複雑な相互関係をもった社会です。環境との相互作用も大きな問題となっています。このような時代に生きるには、それなりのものの考え方に目を開く必要があります。この授業では

- (1) 情報技術の発展と、社会の情報化の進展を概観する。
- (2) 複雑な関係の中にある仕事を、無理なく進めるための考え方と手法の初歩。
- (3) データから情報を得るための若干の手法。

を講義する予定です。

教科書(前期): 沼田 久『増訂 マネジメント・サイエンス』(富士書院, 1991)

## 社会情報学概論

(後期) 助教授 加藤 修 一

[後期・前半]

経験的断片、新知識、獲得情報をどの様に処理して有益な情報とするか問題解決の方法を含めて整理する。演習もなるべく行う。概要は以下のものとなるが、必ずしも以下の内容に限定しない。適宜良いものを取り入れる。

1. はじめに  
情報化/問題とは?/問題解決手法など/
2. 問題解決にむけた情報の抽出とその方法について  
新QC7+「1」について/言語データの整理法など
3. 情報「化」のための新QC七つ道具  
新QC七つ道具とQC七つ道具/有益な情報の基礎となる/  
種々のデータの作り方/雑然・もやもやの整理と問題の骨格をつくる/  
手段への展開はどうやって行えば良いか/  
実行計画をどう作成すれば良いか/
4. プラス「1」の意味  
階層構造分析法(AHP法)について/
5. 実例にもとづくAHP法の手順紹介



比較する時に使用するアンケート用紙/  
自分にとって最良の代替案を選ぶ/

### 社会情報学概論

(後期) 助教授 山本 清

[後期・後半]

ここでは情報に関連する基礎的知識の習得を目的にした講義を行います。具体的には以下のような内容を予定しています。

- ①情報の概念と意思決定との関係
- ②情報のコストと価値
- ③経営情報システムの発展と課題
- ④情報通信システムの概要と将来展望

なお、参考書として (財)日本情報処理開発協会『情報化白書』(コンピュータ・エージ社)を使用します。

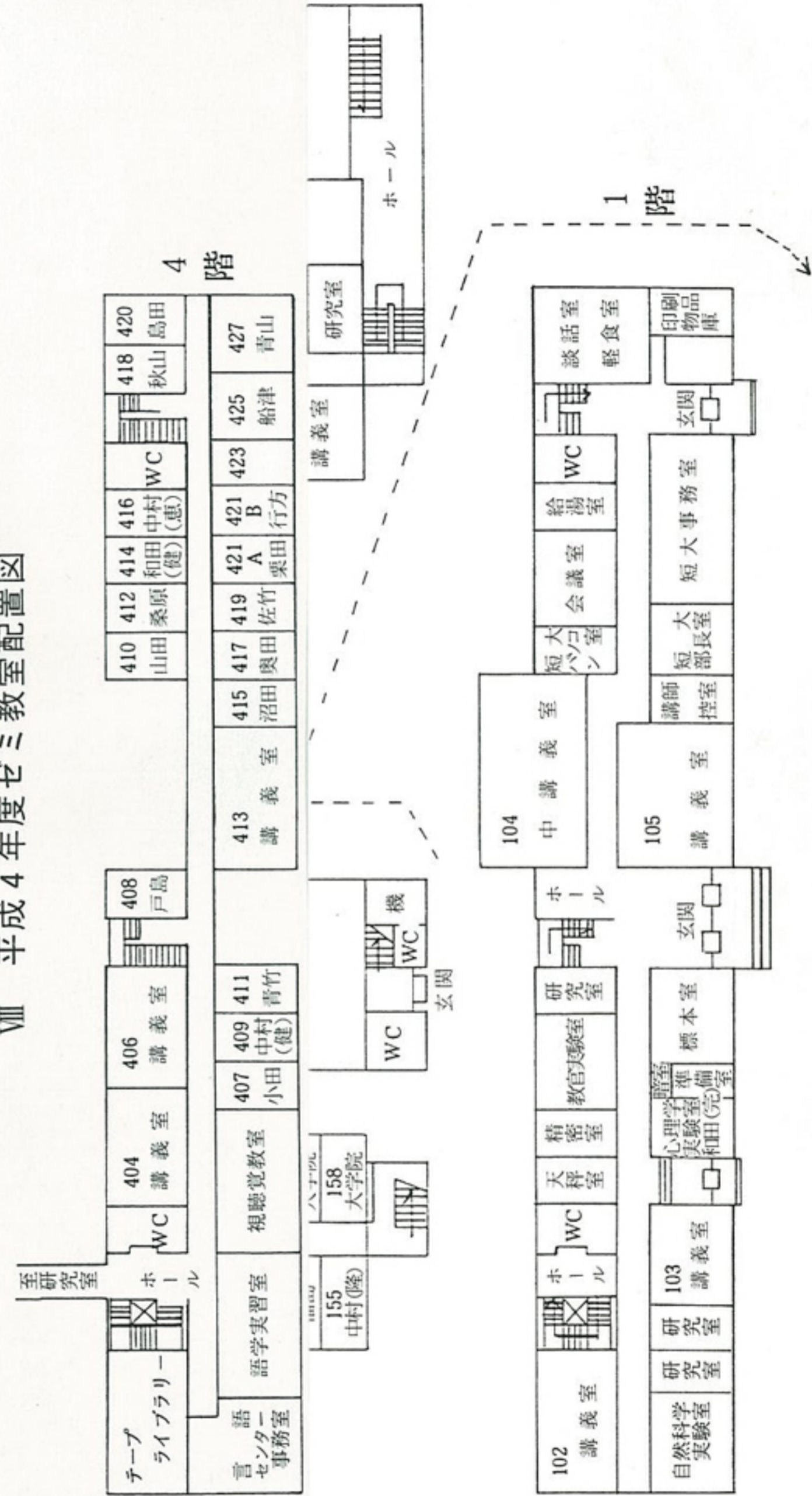
### 数 学

助教授 池田 薫

この講義では主に実数変数の微分、積分に関する基礎的な話しをする。予備知識としては高校1年で学習する数学I程度を仮定する。講義の際には教科書の練習問題をやってもったりこちらから質問したりするので十分に予習して臨んでもらいたい。なお、時間に余裕が出来たら解析学の進んだ話題、すなわち偏微分方程式論や超関数論についても講義をする予定である。

テキスト：渡部隆一著『解析入門』(培風館)

VIII 平成4年度ゼミ教室配置図





Ⅷ 平成4年度ゼミ教室配置図

